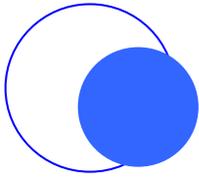


資料および個人別成果



博物館概要等に関連する資料

○主な収蔵資料

1) 主な購入資料

[化石]

オフサルモサウルス

ドイツ・メッスル産化石一式

ポプロフォネウス

アメリカマストドン全身骨格

ヒプセロサウルス卵化石

ユーステノプテロン

ケニア産人類・哺乳類化石レプリカ一式

[地質・岩石・鉱物]

兵庫県産鉱物

石鉄隕石

隕鉄

[動物]

オオヒクイドリ剥製

鳥類剥製

甲殻類剥製

軟体動物含浸標本

貝類含浸標本

鳥類生態写真

魚類生態写真

[昆虫]

タマバエ科他標本 (ママエフコレクション 8,500 点)

ノミ・チョウ類標本 (阪口コレクション 50,000 点)

チョウ類標本 (宮脇コレクション 6,060 点)

(台湾・中国産 1,300 点)

チョウ類他標本 (小林コレクション 11,000 点)

チョウ・甲虫類標本 (江田コレクション 272,600 点)

シロチョウ科標本 (熊谷コレクション 2,581 点)

フタオチョウ類標本 (佐藤コレクション 1,766 点)

甲虫類標本 (泉コレクション 2,400 点)

(高橋コレクション 7,248 点)

ハナムグリ類標本 (億田コレクション 3,000 点)

[植物]

兵庫県産木材樹幹

外国産木材樹幹

屋久杉輪切り(年輪)標本

種子標本(種子コレクション)

2) 主な受贈資料

[化石]

神戸層群産植物化石 4,627 点(堀冶三朗氏)

神戸層群産植物化石 4,085 点(高岡得太郎氏)

日本産中生代貝類化石 890 点(市川浩一郎氏)

高知県唐ノ浜層群産鮮新世化石 251 点(仙頭鷹雄氏)

備北・勝田層群産中新世化石 187 点(岸本眞五氏)

兵庫県養父市産化石 800 点(長岡桂介氏)

[地質・岩石・鉱物]

生野鉱山鉱石 7 点(シルバー生野)

鉱石・鉱物・岩石標本 300 点 (工藤智巳氏)

[動物]

貝類標本 10,000 点(菊池典男氏)

鳥類標本 620 点(西堀静江氏)

鳥類標本 130 点(柴田嘉三氏)

鳥類標本 14,000 点(小林登美子氏)

鳥類標本 1,800 点(坂根 干氏)

無脊椎動物標本 100 点(土井敏男氏)

トラ本剥製 1 点(伊丹検察庁)

[昆虫]

ハエ類等標本 10,300 点(田中粹氏)

チョウ類等標本 14,000 点(柴田篤弘氏)

チョウ類等標本 5,700 点(山本廣一氏)

チョウ類等標本 11,000 点(小林登美子氏)

チョウ類標本 13,132 点(佐藤英次氏)

カリバチ類タイプ標本 367 点(常木三澄子氏)

ハチ類標本 36,569 点 (羽田年也氏)

ハバチ類標本 14,000 点(猪股光子氏)

ゴミムシ類標本 5,700 点(大倉孝子氏)

ハネカクシ科等標本 114 点(林 靖彦氏)

ゾウムシ科標本 2,221 点(中村剛之氏)

昆虫標本 8,600 点(橋本直也氏)

チョウ類標本 4,000 点(小坂利明氏)

チョウ類標本 4,000 点(池田比呂志)

[植物]

蘚苔・地衣類標本 25,000 点(中西田鶴子氏)

シダ類標本 4,000 点(稲田政子氏)

高等植物標本 20,000 点(細見末雄氏)

頌栄短大高等植物標本 250,000 点

○平成 28 年度の受贈資料 (受付順)

維管束植物標本 725 点 (丸岡道行氏)

維管束植物標本 190 点 (矢内正弘氏)

維管束植物標本 1,071 点 (小林禧樹氏)

維管束植物標本 238 点 (中澤博子氏)

羽田コレクション (ハチ) 36,569 点 (羽田年也氏)

岩田業績集第一編(水棲昆虫) 1 点(西村登氏)

クワガタムシ科ホロタイプ標本 2 点(鈴木勝彦氏)

維管束植物標本, 図書 7 点 (岡田博氏)

日本産甲虫標本 6 点 (保科英人氏)

馬田勲コレクション (外国産蝶類の標本等) 800 点 (花城 清枝氏)

日本産マルガタアブ属標本 6 点 (米津晃氏)

維管束植物標本 91 点 (東馬加奈氏)

維管束植物標本 188 点 (望月讓治氏)

(以上)

○情報システム

当館は、従来の自然史博物館の機能に加えていくつかの新しい考え方を持っています。その中で重要な考え方の一つは、利用者に対する自然科学に関する情報発信基地としての機能です。

この機能を実現するためには、博物館自体が自然環境情報を収集・管理し、そうした情報を効果的に活用して館内外へ情報の提供を行える体制づくりが必要です。そのため、博物館情報システムを利用して、博物館の利用者に対して博物館の持つ情報と機能の提供を行います。

なお、博物館の情報システムは以下の6つのサブシステムで構成されています。

1) システム構成



① 収蔵品管理システム～ひとはくデータベース～

約161万点の収蔵品を管理するシステムで、収蔵品データベース、マルチメディアデータベース、資料データベースの3つのデータベースから成り立ち、これらをあわせて、「ひとはくデータベース」と呼んでいます。

博物館の収蔵品(標本の管理単位)の属性データ及び静止画像・音・動画等のマルチメディアデータや収蔵品以外の各種画像や資料データをデータベース上で管理するシステムです。データベースへの登録や検索は、館員の端末から Web ブラウザを利用して行います。



② 展示情報システム

博物館で保有する豊富な情報を一般来館者が興味を抱くような形で提供することを目的とするシステムです。

ひとはくデータベースと連携し、文字情報だけでなく、静止画像、音、動画など、データベースに蓄えられているさまざまな情報を有機的に組み合わせるマルチメディアリンク機能を有し、館内各所に設置した情報端末に表示します。

なお、情報端末に掲出する情報は職員や研究員の各端末から Web ブラウザで操作でき、展示情報の更新のスピードアップを実現しています。



③ 普及広報システム

平成8年度より館内に独自のWebサーバを設置し、インターネットによる情報発信を実施しています。現在の発信内容は、新着情報、ひとはくブログ、博物館について、セミナー・学習素材、展示情報などの基本情報の提供に加え、資料データベースの公開、館員の活動内容など、内容の充実を図っています。独自に整備したシステムとして、運営支援システムで管理しているセミナー情報からWEBページのセミナー一覧表の自動ページ構築とアップデート機能をもっています。



④ 研究支援システム

収蔵品、画像等のデータを地図上に投影することで、自然の理解、自然環境調査や研究成果の発信及び環境教育を促進するための優れたツールである地理情報システムをはじめ、ホロンビアホールなどの講演をセミナー室等にも配信するライブ配信機能や顕微鏡カメラの精細な映像や博物館で作成したビデオ映像などをモニター等により来館者に提供する等、研究内容の効果的な発表や来館者の理解度の向上に役立っています。



⑤ 運営支援システム

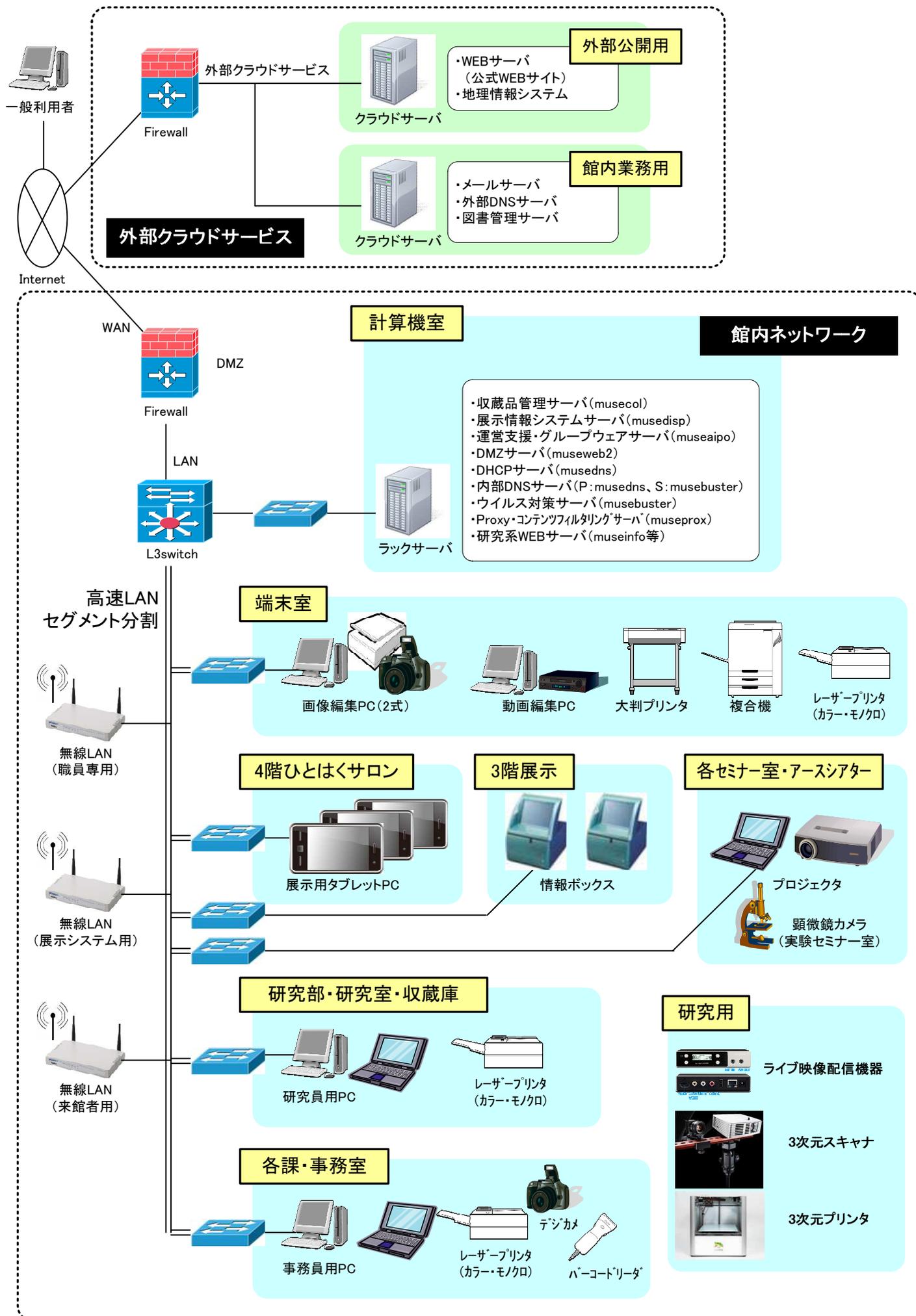
グループウェア機能をはじめ、各種イベント、セミナー情報や受講者管理、団体受付や入館者管理など、館員の端末から WEB ブラウザを利用して、情報を一元的に把握できる館内情報表示システムを構築しています。このシステムにより、情報の共有化・統一化が可能となり、確認作業等が短時間で確実に行われ、来館者へのサービスが向上するとともに、事務の効率化、省力化を図っています。



⑥ 図書文献管理システム

博物館の図書室、レファレンス図書、研究室等で所蔵する12万を超える図書・文献等を管理するシステムです。館内の端末から利用できるほか、レファレンス図書については、インターネットからも利用できます。

2) システム概要図



〇条例等

兵庫県立人と自然の博物館 設置及び管理に関する条例 (平成4年3月27日 条例第25号)

(沿革)

平成7年7月18日条例第24号改正 平成15年3月17日条例第7号改正
平成16年3月26日条例第7号改正 平成18年9月28日条例第53号改正
平成19年3月16日条例第9号改正 平成22年3月19日条例第6号改正
平成24年3月21日条例第5号改正 平成26年3月20日条例第8号改正

(設置)

第1条 自然の摂理、生命の尊厳及び人と自然との調和した環境の創造に関する県民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、兵庫県立人と自然の博物館（以下「博物館」という。）を置く。

(位置)

第2条 博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目とする。

(業務)

第3条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。
- (2) 博物館資料に関する講演会、講習会、映画会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (3) 博物館資料に関する研究等のために博物館の施設を利用させること。
- (4) 博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- (5) 自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 貴重な野生植物の種の保存を行うこと。
- (7) 自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。
- (8) 他の博物館、大学、研究機関等との相互協力を行うこと。
- (9) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な業務

2 教育委員会は、博物館の施設を、その目的を達成するために支障のない限り、その目的以外の目的のために利用させることができる。

(職員)

第4条 博物館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(観覧料)

第5条 博物館に展示している博物館資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納めなければならない。

2 博物館資料を特別に展示している場合における観覧料は、前項の規定にかかわらず、別表第2に定める額の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。

3 教育委員会は、博物館資料を特別に展示している場合における観覧料について、前項に規定する額により難いとき、同項の規定にかかわらず、当該観覧料の額を展示の内容等に応じて定めることができる。

一部改正〔平成19年条例9号〕

(特別観覧料)

第6条 博物館に展示し、又は保管している博物館資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、教育委員会の許可を受け、1点1回につき、3,100円の範囲内で教育委員会規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(入館の拒否)

第7条 教育委員会は、博物館に入館しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒否することができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、若しくは迷惑となる行為をするおそれがある者又はそのおそれのある物品、動物その他これらに類するものを携帯する者
- (2) 施設、設備又は展示品を損傷するおそれがあると認められる者（遵守事項等）

第8条 博物館に入館した者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 展示品（教育委員会規則で定める物を除く。以下同じ。）に触れないこと。
 - (2) 展示品の近くでインキ等を使用しないこと。
 - (3) 許可を受けずに展示品の模写、模造、撮影等を行わないこと。
 - (4) 所定の場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
 - (5) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる行為をしないこと。
- 2 教育委員会は、博物館に入館した者が、前項の規定に違反したとき、又

は博物館の管理に必要な指示に従わないときは、その者に対して、退館を命ずることができる。

(施設の利用)

第9条 別表第3に掲げる博物館の施設を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受け、同表に定める使用料を納めなければならない。

2 教育委員会は、前項の利用の許可を受けた者が博物館の管理上支障がある行為をするおそれがあると認めるとき、又は当該施設を他人に転貸したと認めるときは、同項の利用の許可を取り消し、又は当該施設の利用を制限し、若しくは停止することができる。

一部改正〔平成19年条例9号〕

(原状回復の義務等)

第10条 博物館を利用する者は、その責めに帰すべき理由によりその施設、設備、博物館資料又は植栽物を滅失し、又は損傷したときは、これを原状に回復し、又はこれに要する費用を負担しなければならない。

(観覧料等の免除)

第11条 教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、第5条の観覧料、第6条の特別観覧料及び第9条第1項の使用料の全部又は一部を免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第12条 既に納めた観覧料、特別観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

(博物館協議会)

第13条 博物館に、博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第1項の規定により、兵庫県立人と自然の博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員15人以内で組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験のある者

4 委員の任期は、2年とし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、委員は、再任されることができる。

一部改正〔平成24年条例5号〕

(補則)

第14条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理並びに協議会の組織及び運営に関して必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第3条第1項第7号、第5条、第6条、第11条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）及び第12条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）の規定は、平成4年10月10日から施行する。

(委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

2 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和35年兵庫県条例第24号）の一部を次のように改正する。

第1条に次の1号を加える。

(77) 人と自然の博物館協議会

別表第1に次のように加える。

人と自然の博物館協議会	会 長	日 額	13,500円
	副会長	日 額	11,500円
	委 員	日 額	11,000円

別表第2に次のように加える。

人と自然の博物館協議会の委員	職員旅費条例中8級の職務にある者相当額
----------------	---------------------

附 則（平成7年7月18日条例第24号）

(施行期日)

1 この条例は、平成7年8月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日前に第2条から第5条まで、第11条及び第12条の規定による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第2条から第5条まで、第11条及び第12条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3 この条例の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

附 則（平成 15 年 3 月 17 日条例第 7 号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。（後略）

附 則（平成 16 年 3 月 26 日条例第 7 号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。（後略）

附 則（平成 18 年 9 月 28 日条例第 53 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成 19 年 3 月 16 日条例第 9 号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。（後略）

附 則（平成 22 年 3 月 19 日条例第 6 号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。（後略）

附 則（平成 26 年 3 月 20 日条例第 8 号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。（後略）

（経過措置）

4 施行日前に第 9 条、第 14 条、第 18 条、第 20 条、第 47 条、第 48 条、第 50 条、第 52 条及び第 53 条の規定による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第 9 条、第 14 条、第 18 条、第 20 条、第 47 条、第 48 条、第 50 条、第 52 条及び第 53 条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表第 1（第 5 条関係）

区分	観覧料(1人につき)		備 考
	個人	団体	
一般	210 円	150 円	1 「大学生」とは、大学及びこれに準ずる学校の学生をいう。 2 「高校生」とは、高等学校及びこれに準ずる学校の生徒をいう。 3 「団体」とは、20 人以上の場合をいう。 4 中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童並びに就学前の者が観覧する場合は、無料とする。
大学生	150 円	100 円	
高校生	100 円	70 円	

全部改正（平成 22 年条例 6 号）

別表第 2（第 5 条関係）

区分	特別展示観覧料 (1人につき)		備 考
	個人	団体	
一般	2,000 円	1,600 円	1 「大学生」とは、大学及びこれに準ずる学校の学生をいう。 2 「高校生」とは、高等学校及びこれに準ずる学校の生徒をいう。 3 「団体」とは、20 人以上の場合をいう。 4 中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童並びに就学前の者が観覧する場合は、無料とする。
大学生	1,500 円	1,200 円	
高校生	1,000 円	800 円	

全部改正（平成 22 年条例 6 号）

別表第 3（第 9 条関係）

区分	使用料			備 考
	開館前から12時まで	13時から開館時まで	開館後～閉館時まで	
ホール	5,700 円	7,200 円	12,900 円	1 平日に利用する場合は、左欄に掲げるそれぞれの額の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。 2 「平日」とは、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日以外の日をいう。
利便施設	使用料及び手数料徴収条例（平成 12 年兵庫県条例第 12 号）別表第 1 建物使用料の款専用使用の項の規定の例により算定した額（一般競争入札又は指名競争入札に付して、予定価格の制限の範囲内の価格をもって申込みをした者のうち、価格その他の			

	条件が県にとって最も有利なものをもって申込みをした者に対して利用を許可する場合にあっては、当該入札の落札者の申込みに係る価格に相当する金額	
附属設備	別に教育委員会規則で定める額	

全部改正〔平成 15 年条例 7 号〕、一部改正〔平成 16 年条例 7 号・18 年 53 号・19 年 9 号・22 年 6 号・26 年 8 号〕

兵庫県立人と自然の博物館 管理規則

（平成 4 年 3 月 27 日
教育委員会規則第 8 号）

〔沿革〕

平成 4 年 10 月 26 日教育委員会規則第 19 号改正

平成 15 年 3 月 25 日教育委員会規則第 7 号改正

平成 16 年 3 月 26 日教育委員会規則第 14 号改正

平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 11 号改正

平成 22 年 3 月 31 日教育委員会規則第 6 号

平成 23 年 3 月 29 日教育委員会規則 8 号

平成 26 年 3 月 28 日教育委員会規則第 7 号改正

（趣旨）

第 1 条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例（平成 4 年兵庫県条例第 25 号。以下「条例」という。）第 14 条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館（以下「博物館」という。）の管理に關して必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第 2 条 博物館の開館時間は、9 時から 17 時までとする。

2 博物館の観覧時間は、10 時から 17 時までとする。ただし、16 時 30 分以降は、入館させないものとする。

3 前 2 項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、開館時間又は観覧時間を変更することができる。

（休館日）

第 3 条 博物館の休館日は、次の各号に掲げる日とする。

(1) 月曜日。ただし、月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日に当たるときは、その翌日（当該翌日が同法に規定する祝日に当たるときは、その翌々日）とする。

(2) 1 月 1 日から同月 4 日まで及び 12 月 28 日から同月 31 日までの日

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

（観覧料の納付）

第 4 条 条例第 5 条の規定により博物館に展示されている博物館資料を観覧しようとする者は、観覧料を納めて観覧券の交付を受けなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認める場合には、あらかじめ観覧券の交付を受け、観覧を終了した後納付することができる。

2 観覧券の発売時間は、10 時から 16 時 30 分までとする。ただし、観覧時間を変更した場合には、観覧時間の開始時刻から終了時刻の 30 分前までとする。

（特別展示観覧料）

第 5 条 条例第 5 条第 2 項に規定する特別展示の場合の観覧料は、教育委員会が定める。

（特別観覧の許可等）

第 6 条 条例第 6 条の規定により特別観覧をしようとする者は、特別観覧許可申請書（様式第 1 号）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の特別観覧許可申請書の提出があった場合において、特別観覧の許可を決定したときは、特別観覧許可書を申請者に交付するものとする。

3 条例第 6 条に規定する教育委員会規則で定める特別観覧料の額は、別表第 1 のとおりとする。

（展示品の利用）

第 7 条 条例第 8 条第 1 項第 1 号に規定する教育委員会規則で定める物は、レファレンスルームに展示する博物館資料とする。

（施設の利用の許可等）

第 8 条 条例第 9 条第 1 項の規定により博物館の施設を利用しようとする者は、当該施設を利用しようとする日の 5 日前までに、兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書（様式第 2 号。以下「利用許可申請書」とい

- う。)を教育委員会に提出しなければならない。
- 2 前項の規定にかかわらず、利便施設を利用しようとする者は、教育委員会が指定する期間に、兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用許可申請書(様式第3号。以下「利便施設利用許可申請書」という。)に、利便施設の利用計画を記載した図面その他教育委員会が必要と認める書類を添付して提出しなければならない。
- 3 教育委員会は、利用許可申請書又は利便施設利用許可申請書の提出があった場合において、利用の許可を決定したときは、兵庫県立人と自然の博物館利用許可書(以下「利用許可書」という。)を申請者に交付するものとする。
- 4 利便施設に係る利用許可書の交付を受けた者は、その利用の内容を変更しようとするときは、あらかじめ兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用内容変更承認申請書(様式第4号。以下「利便施設利用内容変更承認申請書」という。)に、既に交付を受けた利用許可書その他教育委員会が必要と認める書類を添えて、これを教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。
- 5 教育委員会は、利便施設利用内容変更承認申請書を受理した場合において、当該申請の内容がやむを得ないものであると認めるときは、これを承認するものとする。この場合においては、第3項の規定を準用する。
- 6 利用許可書の交付を受けた者は、その者の住所又は氏名(法人及び団体にあっては、所在地又は名称)を変更したときは、速やかにその旨を教育委員会に通知しなければならない。
- (利用等の許可の基準等)
- 第9条 教育委員会は、第6条第1項の特別観覧許可申請書、前条第1項の利用許可申請書又は同条第2項の利便施設利用許可申請書の提出があった場合において、次の各号のいずれかに該当すると認めるときには、条例第6条又は条例第9条第1項の許可をしないものとし、その理由を付して当該申請をした者に文章で不許可の通知をするものとする。
- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
 - (2) 博物館の施設又は設備を損傷するおそれがあるとき。
 - (3) 集团的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になるとき。
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上支障があるとき。
- 2 第6条第2項又は前条第3項の場合において、教育委員会は、博物館の管理上必要があるときは、当該許可に条件を付すことができる。
- (使用料の額)
- 第10条 条例別表第3の規定により教育委員会規則で定める額は、別表第2に定めるとおりとする。
- (特別観覧料及び使用料の納付)
- 第11条 特別観覧許可書及び利用許可書の交付を受けた者は、直ちに、特別観覧料及び使用料を納付しなければならない。
- 2 前項の規定にかかわらず、利便施設について条例第9条第1項の許可を受けた場合であって、当該許可の期間が翌年度以降にわたるときは、翌年度以降の使用料は、毎年度、当該年度分をその年度の初めに納付するものとする。
- (観覧料等の免除)
- 第12条 条例第11条の規定により教育委員会が観覧料(特別展示観覧料を含む。)、特別観覧料及び使用料(以下「観覧料等」という。)の全部又は一部を免除することができる場合及びその場合における免除の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。
- (1) 65歳以上の者が、その身分を証する書面を提示して観覧するとき。観覧料(特別展示観覧料を含む。)の2分の1に相当する額
 - (2) 教育委員会が特別の理由があると認めたとき。観覧料等に相当する額のうち教育委員会が必要と認める額
- (観覧料等の還付)
- 第13条 条例第12条ただし書の規定により教育委員会が観覧料等の全部又は一部を返還することができる場合及びその場合における返還する額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。
- (1) 観覧料等を納めた者が、その責めに帰することができない理由により観覧、特別観覧又は施設の利用ができなくなったとき。観覧料等に相当する額
 - (2) 使用料を納めた者が、次に掲げる期日までに施設の利用の取消しを申し出た場合において、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるとき。
- ア 利用の日の7日前までのとき。当該使用料の全額
- イ 利用の日の3日前までのとき(アに該当する場合を除く。)。当該使用料の2分の1に相当する額
- 2 条例第12条ただし書の規定により観覧料等の返還を受けようとする者

は、兵庫県立人と自然の博物館観覧料等還付請求書(様式第5号)を教育委員会に提出しなければならない。

(寄託又は寄贈)

第14条 博物館に博物館資料の寄託又は寄贈をしようとする者は、教育委員会に申し出て、その承認を受けなければならない。

(権限の委任)

第15条 教育委員会は、条例及びこの規則の規定により教育委員会の権限に属する事務を教育長に委任する。

2 教育長は、前項の事務の一部を館長に委任することができる。

(補則)

第16条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理に関して必要な事項は、教育長が定める。

附 則
(施行期日)

この規則は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第2条第2項及び第3項(観覧時間に係る部分に限る。)、第4条から第6条まで、第9条(特別観覧許可書及び特別観覧料に係る部分に限る。)、第10条(観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。)並びに第11条(観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。)の規定は、平成4年10月10日から施行する。

附 則(平成4年10月26日教育委員会規則第19号)

この規則は、平成4年11月1日から施行する。

附 則(平成15年3月25日教育委員会規則第7号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成16年3月26日教育委員会規則第14号)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月30日教育委員会規則第11号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成22年3月31日教育委員会規則第6号抄)

(施行期日)

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。(後略)

附 則(平成23年3月29日教育委員会規則第8号抄)

(施行期日)

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則(平成26年3月28日教育委員会規則第7号抄)

(施行期日)

1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日前に第2条から第4条まで、第6条及び第7条の規定による改正前のそれぞれの規則の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第2条から第4条まで、第6条及び第7条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表第1(第6条関係)

区 分	特別観覧料(1点1回につき)		
熱 覧	150円		
模写・模造	2,100円		
撮 影	学術研究を目的とする場合	学術研究以外を目的とする場合	
	単色	150円	1,000円
	原色	310円	2,100円

- 備考 1 博物館資料で、一式、一組等で一資料とするものは、それらを1点とする。
- 2 普通個別の博物館資料は、各個を1点とする。
- 3 撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

別紙第2(第9条関係)

1 ホールを平日に利用する場合の使用料

利用時間	9時から12時まで	13時から17時まで	9時から17時まで
金 額	4,500円	5,800円	10,300円

2 附属設備の使用料

附属設備	金額
持込み電気器具用コンセント	1キロワットにつき 260円

持込み電気器具用コンセント (録音器具を持込む場合)	持込み器具1式につき 2,100円
持込み電気器具用コンセント (録画器具を持込む場合)	持込み器具1式につき 3,100円
持込み電気器具用コンセント (ミキシングセットを持込む場合)	持込み器具1式につき 5,100円

備考 持込み電気器具用コンセントを利用する場合の1キロワットとは、持込み電気器具の定格消費電力量の1キロワットをいい、当該定格消費電力量の合計量に1キロワットに満たない端数があるときは、これを1キロワットとする。

様式第1号
(第6条関係)

特別観覧許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所(法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名(法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話 ー ー 番

次のとおり申請します。

品 目	点 数	所 有 者	備 考
観 覧 希 望 日 時	年 月 日 時から 時まで		
研 究 の 方 法	熟 覧 模 写 模 造 撮 影		
研 究 の 目 的			

様式第2号
(第8条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所(法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名(法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話 ー ー 番

次のとおり申請します。

利 用 目 的	
利 用 室 名	
附 属 設 備 の 名 称	
期 間	年 月 日 時から (日 時間) 年 月 日 時まで
利 用 者 数	
※ 使 用 料	円
※ 備 考	

(注) ※印の欄は、申請者において記入しないでください。

様式第3号
(第8条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所(法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名(法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話 ー ー 番

次のとおり申請します。

利 便 施 設 の 用 途	
利用許可を受けようとする利便施設	
利用許可を受けようとする期間	年 月 日から 年 月 日まで
※ 使 用 料	円
※ 備 考	

(注) 1 ※印の欄は、申請者において記入しないでください。
2 自動販売機の設置のために利用の許可を受けようとする場合には、利便施設の用途の欄に、設置する自動販売機の台数を付記してください。

様式第4号
(第8条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用内容変更承認申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所(法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名(法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話 ー ー 番

次のとおり申請します。

変 更 の 内 容	事 項	変 更 前	変 更 後
	利便施設の用途		
利用許可を受けようとする利便施設			
利用許可を受けようとする期間	年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日から 年 月 日まで	
変 更 の 理 由			

(注) 自動販売機の設置のために利用の許可を受けようとする場合には、利便施設の用途の欄に、設置する自動販売機の台数を付記してください。

様式第5号
(第13条関係)

兵庫県立人と自然の博物館観覧料等還付請求書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所(法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名(法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話 ー ー 番

次のとおり請求します。

許可の年月日及び番号	年 月 日 第 号
返 還 請 求 の 内 容	※還付金の内訳
利 用 等 の 日 時	年 月 日 時から (日 時間) 年 月 日 時まで
既 納 付 額	円
返還を受けようとする理由	
※ 還 付 率	パーセント
※ 還 付 額	円

(注) 1 ※印の欄は、申請者において記入しないでください。
2 領収書等納付したことを証する書類を添付してください。

兵庫県立人と自然の博物館協議会(平成4年3月27日)の組織及び運営に関する規則(教育委員会規則第9号)(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例(平成4年兵庫県条例第25号)第14条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館協議会(以下「協議会」という。)の組織及び運営に関し

て必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(補則)

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が兵庫県立人と自然の博物館長と協議して定める。

附 則

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

兵庫県立人と自然の博物館の管理に関する規程

(平成4年3月31日)
教育長訓令第2号

(趣旨)

第1条 この訓令は、兵庫県立人と自然の博物館管理規則(平成4年兵庫県教育委員会規則第8号。以下「規則」という。)第16条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館の管理に関して必要な事項を定めるものとする。

(権限の委任)

第2条 教育長は、規則第15条第1項の規定により委任された事務のうち、規則第5条及び第12条第2号に規定する事務以外の事務を館長に委任する。

附 則

この訓令は、平成4年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月30日教育長訓令第4号)

この訓令は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月30日教育長訓令第2号)

この訓令は、公布の日から施行する。

教育委員会 行政組織規則

(抜粋)

(平成4年3月31日)
教育長訓令第2号

(沿革)

昭和59年2月28日教育委員会規則第5号、4月1日第6号、61年4月1日第10号、9月9日第14号、62年4月1日第6号、63年4月1日第5号、5月6日第11号、平成元年4月1日第4号、4年3月31日第11号、6年3月31日第3号、7年5月22日第10号、8年8月5日第9号、9年3月31日第6号、11年3月25日第4号、12年3月29日第8号、13年3月30日第3号、14年3月29日第11号、15年3月25日第4号、16年3月25日第5号、9月10日第17号、11月19日第18号、17年2月22日第5号、3月30日第6号、9月30日第14号、18年3月31日第5号、12月26日第14号、19年3月30日第5号、20年3月28日第3号、21年3月31日第11号、22年1月29日第3号、3月31日第7号、23年3月29日第5号、4月1日第10号、10月7日第12号、24年3月30日第7号、25年3月29日第7号、10月29日第13号、26年3月28日第4号改正

第1章 総則

(目的)

第1条 この規則は、兵庫県教育委員会(以下「教育委員会」という。)の権限に属する事務を処理するための組織について必要な事項を定め、もつて教育行政事務の適正かつ能率的な遂行を図ることを目的とする。

(機関の分類)

第2条 前条の組織を構成する機関を分けて、本庁、地方機関、県立学校、教育機関及び附属機関とする。

(機関の定義)

第3条

4 教育機関とは、法第30条の規定により、法律又は条例の定めるところにより設置されたもので、県立学校以外のものをいう。

5 附属機関とは、地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定により教育委員会の附属機関として設けられた審議会、委員等をいう。

(行政機能の発揮)

第4条 各機関は、相互の連絡を密にし、すべて一体となつて教育行政機能の発揮に努めなければならない。

(規定の範囲)

第5条 各機関の設置、内部組織、事務分掌及び職制は、法令又は条例に定めがあるものを除き、この規則で定めるものとする。

2 法令又は条例の規定により設置された機関の名称、位置、所管区域及び職制についても必要な事項については、この規則に掲げるものとする。

(組織の特例)

第6条 教育長は、臨時又は特別の事務で、この規則で定める組織により処理することが不適当なものについては、本部、室、委員会等を設置し、又は職員を指定し、若しくは所要の地に駐在させて、処理させることができる。

第5章 教育機関

第10節 県立人と自然の博物館

(位置)

第70条の2 兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例(平成4年兵庫県条例第25号)第1条の規定により設置された県立人と自然の博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目である。

(業務)

第70条の3 県立人と自然の博物館においては、次に掲げる業務をつかさどる。

- (1) 自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。
- (2) 博物館資料に関する講演会、講習会、映画会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (3) 博物館資料に関する研究等のために県立人と自然の博物館の施設を利用させること。
- (4) 博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- (5) 自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 貴重な野生植物の種の保存を行うこと。
- (7) 自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。
- (8) 他の博物館、大学、研究機関等との相互協力を行うこと。
- (9) 前各号に掲げるもののほか、県立人と自然の博物館の目的を達成するために必要な業務

(組織)

第70条の4 県立人と自然の博物館に、次の1部、3課及び3研究部を置く。

事業推進部
総務課
情報管理課
生涯学習課
自然・環境評価研究部
自然・環境マネジメント研究部
自然・環境再生研究部
(事業推進部の事務)

第70条の5 事業推進部においては、第70条の8に定める事務のほか、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 博物館資料の展示及び普及教育に関すること。
 - (2) 大学、他の研究機関との相互協力に関すること。
 - (3) 自然、生命及び環境に関する学術研究集会、研究会等の開催、国内外の大学等との共同研究及び研究成果の公表等に関すること。
 - (4) 自然、生命及び環境に関する調査研究成果の提言に関すること。
 - (5) その他県立人と自然の博物館の目的を達成するための調査研究に関すること。
- (総務課の事務)

第70条の6 総務課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 公印の管掌に関すること。
 - (2) 文書の收受、発送、保存等に関すること。
 - (3) 職員の進退及び服務に関すること。
 - (4) 給料その他の諸給与に関すること。
 - (5) 児童手当に関すること。
 - (6) 会計経理に関すること。
 - (7) 県立人と自然の博物館の管理に関すること。
 - (8) 人と自然の博物館協議会に関すること。
 - (9) 県立人と自然の博物館の業務の企画及び総合調整に関すること。
 - (10) 前各号に掲げるもののほか、他課及び研究部の所掌に属しないこと。
- (情報管理課の事務)

第70条の7 情報管理課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 県立人と自然の博物館における情報管理システムの整備に関すること。
- (2) 自然、生命及び環境に関する情報の管理に関すること。
- (3) 文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料の整理及び保管に関すること。
- (4) 情報機器の管理に関すること。
- (5) 情報機器の利用に関する指導及び助言に関すること。

(生涯学習課の事務)

第70条の8 生涯学習課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の主催及びその開催の援助に関すること。
- (2) 県立人と自然の博物館の広報に関すること。
- (3) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (4) 自然、生命及び環境に関する研究団体等に関すること。
- (5) 県立人と自然の博物館の利用許可に関すること。
- (6) 県立人と自然の博物館の利用に係る生涯学習活動及び学校教育活動の支援に関すること。

(自然・環境評価研究部の事務)

第70条の9 自然・環境評価研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 地形学、地質学、岩石学、古生物学、形態学、種生物学、進化生物学、生物地理学、系統分類学、指標生物学等自然・環境評価研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く。)
- (2) 自然・環境評価研究の分野の調査研究に関すること。

(自然・環境マネジメント研究部の事務)

第70条の10 自然・環境マネジメント研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 群集生態学、個体群生態学、行動学、動物社会学、生態系生態学、都市工学、建築学、造園学、環境工学、住居学等自然・環境マネジメント研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く。)
- (2) 自然・環境マネジメント研究の分野の調査研究に関すること。

(自然・環境再生研究部の事務)

第70条の11 自然・環境再生研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 植物社会学、応用生態学、資源植物学、環境教育学、保全植物学等自然・環境再生研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く。)
- (2) 自然・環境再生研究の分野の調査研究に関すること。
- (3) 貴重な野生植物の種及び群落の保全に関すること。

第6章 附属機関

第71条 法令並びに附属機関設置条例(昭和36年兵庫県条例第20号)第2条及び附則第4項の規定により設置された附属機関の名称、担任事務及び庶務をつかさどる課及び室は、次のとおりである。

名称	担任専務	担当課
人と自然の博物館協議会(組織)	博物館法第20条第1項の規定による博物館の運営に関する諮問及び博物館の事業計画等についての館長に対する意見に関する事務	社会教育課

第72条 前条の附属機関の組織に関しては、法令又は条例に定めるもののほか、別に教育委員会規則で定めるところによる。

第7章 職制

第3節 教育機関の職制

(教育機関の長)

第79条

3 県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館に、館長を置く。

5 所長、校長、館長及び園長は、上司の命を受け、教育機関の事務(県立嬉野台生涯教育センターの所長にあつては、県立婦人研修館の事務を含む。)を統括し、所属の職員を指揮監督する。

6 県立特別支援教育センター、県立但馬やまびこの郷(さと)及び県立嬉野台生涯教育センターの所長並びに第2項から第4項までに規定する職は、非常勤とすることができる。

(館長及び副館長)

第79条の2 県立嬉野台生涯教育センターに、館長を置き、県立美術館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館に、副館長を置くことがある。

2 館長は、所長の命を受け、県立婦人研修館の事務を掌理する。

3 副館長は、館長の命を受け、所属の職員を指揮監督するとともに、館長

の職務を補佐する。

(副所長等)

第79条の3

4 県立図書館、県立嬉野台生涯教育センター、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、次長を置く。

6 副所長、副校長、次長及び副園長は、所長、校長、館長(県立嬉野台生涯教育センターの館長を除く。)又は園長の職務を補佐し、教育機関の所掌する事務を整理し、所属の職員の担任する事務を監督する。

(部長等)

第79条の4 前3条に定めるもののほか、次の表の左欄に掲げる職を、

職名	組織	職務
部長	県立教育研修所、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館の部並びに県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園の研究部	上司の命を受け、部又は研究部の事務を掌理し、又は処理する。
課長	課	上司の命を受け、課の事務を処理する。
学芸員	県立美術館、県立歴史博物館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
研究員	県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

それぞれ同表の中欄に掲げる教育機関の組織に置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

(所長補佐等)

第80条

2 前4条及び前項に定めるもののほか、県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、館長補佐を置くことがある。

4 所長補佐及び館長補佐は、所長、校長、館長又は園長及び副所長、副校長、次長又は副園長の職務を補佐する。

(主任指導主事等)

第80条の2 前5条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職名	職務
主幹	上司の命を受け、教育機関の事務のうち、困難の度が高い事務を掌理し、又は処理する。
主任指導主事	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
主任社会教育主事	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
主任調査専門員	上司の命を受け、埋蔵文化財の調査に関する特殊の専門的職務を処理する。
指導主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
社会教育主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
課長補佐	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
主査	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
主任付	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

(主任研究員)

第80条の4 前7条に定めるもののほか、必要に応じ、県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職名	職務
主任研究員	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

(技師)

第80条の5 前8条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、技師を置き、その職務は、第74条の2第2項に規定するとおりとする。

(その他の職)

第80条の6 前9条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、別表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

(補職)

第80条の7 第79条から第80条の5までに規定する職は、事務職員等のうちから、前条に規定する職は、事務員又は技術員のうちから、教育委員会が命ずる。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項に規定するもののほか、補職についての特例を定めることができる。

(職務代理)

第81条 所長、校長、館長（県立嬉野野生涯教育センターの館長を除く。以下この条において同じ。）若しくは園長に事故があるとき、又は所長、校長若しくは館長が欠けたときは、副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長を置く場合にあつては副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長、（副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長があわせて2人以上置かれている教育機関にあつては、所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長）が、その他の教育機関にあつては所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した職員が、その職務を代理する。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

職 名	職 務
自動車運転員	上司の命を受け、乗用、作業用諸自動車の運転業務に従事する。
操機員	上司の命を受け、起重機、揚水装置等の操作及び保守業務に従事する。
機関員	上司の命を受け、ボイラー操作業務に従事する。
電話交換員	上司の命を受け、構内電話交換設備の操作業務に従事する。
試験研究技術員	上司の命を受け、動物飼育作業の試験研究又は指導業務の補助に従事する。
主任保安員又は保安員	上司の命を受け、庁舎、施設等の警備及び保全業務に従事する。
用務員	上司の命を受け、庁舎等の清掃、使送等の雑作業に従事する。
文書事務員	上司の命を受け、文書の使送、整理等の業務に従事する。

ことができる。

2 知事は、基金の有利かつ効率的な運用のためその他の財政上の必要があると認めるときは、第2条の規定にかかわらず、基金の全部又は一部を県債管理基金に積み立てることができる。一部改正〔平成11年条例43号・19年2号〕

(補則)

第6条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関して必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則（平成11年10月8日条例第43号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成14年3月27日条例第32号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成14年4月1日から施行する。（後略）

附 則（平成15年3月17日条例第37号）

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成17年3月28日条例第15号）

この条例は、兵庫陶芸美術館の設置及び管理に関する条例（平成17年兵庫条例第14号）の施行の日から施行する。

附 則（平成19年2月28日条例第2号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成19年3月16日条例第25号）

この条例は、平成19年4月1日から施行する

兵庫県立人と自然の博物館 美術品等取得基金条例

(昭和46年3月25日
条例第16号)

(沿革)

平成11年10月8日条例第43号、14年3月27日第32号改正、15年3月17日第37号改正、平成17年3月28日第15号改正、平成19年2月28日第2号改正、3月16日第25号改正

(設置)

第1条 兵庫県立美術館の美術品及び美術館資料、兵庫県立歴史博物館、兵庫県立人と自然の博物館及び兵庫県立考古博物館の博物館資料並びに兵庫陶芸美術館の陶芸美術品等（以下「美術品等」という。）を円滑に取得するため、美術品等取得基金（以下「基金」という。）を設置する。一部改正〔平成14年条例32号・15年37号・17年15号・19年25号〕

(基金の額)

第2条 基金の額は、5,000万円とする。

2 基金から生ずる収入は、基金に積み立てるものとする。

3 必要があると認めるときは、予算の定めるところにより基金に追加して積み立てることができる。

4 前2項の場合において、基金の額は、積立額相当額を増加した額とする。

(運用)

第3条 知事は、基金をもつて美術品等を取得することができる。一部改正〔平成15年条例37号〕

(管理)

第4条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他確実有利な方法により保管するものとする。一部改正〔平成19年条例2号〕

(繰替運用等)

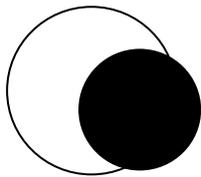
第5条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用し、又は歳入歳出予算の定めるところにより、その歳入に繰り入れて運用する

兵庫県立人と自然の博物館協議会委員名簿

平成29年3月現在

区 分	役 職	氏 名	備考
学校教育関係者	三田市立学園小学校長	畑 宏喜	
〃	神戸市立有野北中学校長	磯辺 次雄	
〃	県立北摂三田高等学校長	竹中 敏浩	
社会教育関係者	県立歴史博物館長	藪田 貫	
〃	関西学院大学教授 (兵庫県社会教育委員)	橋本 真紀	
〃	姫路市立手柄山温室植物園長	松本 修二	
学識経験者	多摩美術大学教授	楠 房子	
〃	大阪府立大学大学院教授	上甫木 昭春	
〃	兵庫県立大学副学長	浅田 尚紀	
〃	三田市長	森 哲男	
〃	関西学院大学教授	角野 幸博	
〃	キッズプラザ大阪企画運営グループプランナー	石川 梨絵	
〃	神姫バス株式会社	粕谷 朋未	
公募委員		辰巳 淳子	
公募委員		田中 今子	

(順不同・敬称略)



個人別成果報告に関する資料

No. 1

●館長

中瀬 勲 NAKASE, Isao

兵庫県立大学名誉教授。

昭和23年大阪府生。大阪府立大学大学院農学研究科修士課程修了。農学博士。

兵庫県立丹波の森公苑長，兵庫県立淡路景観園芸学校顧問，日本造園学会，日本都市計画学会，環境情報科学センター，日本学術会議等所属。

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 多自然居住地域でのまちづくりに関する実践的研究
2. ランドスケープ計画・設計論

■共同研究

基盤研究（A）（一般）「幼年期における科学的素養醸成のための科学コミュニケーションに関する学際的研究」，研究分担者。

基盤研究（A）（一般）「共生社会に向けた科学系博物館を実現する情報アクセシビリティ・モデルの構築」，研究分担者

■論文・著書

中瀬勲(2016.6)「地域創生を考える」，ランドスケープ研究 80 巻 4 号，34-35。

■その他著作

中瀬勲(2016.6)「新たな日常の開拓を」，情報誌「丹波の森」No.53，（公財）兵庫丹波の森協会，2。

中瀬勲(2016.7)「エシカル消費」，「しみん基金・KOBENews」Vol.39，認定NPO法人しみん基金・KOBENews，1。

中瀬勲(2017.1)「岩槻先生 おめでとうございます！」，情報誌「丹波の森」No.54，（公財）兵庫丹波の森協会，2。

■学会役員など

日本造園学会，校閲委員。

日本造園学会，代議員。

日本都市計画学会，学術研究発表論文・一般研究論文審査部会，委員。

環境情報科学センター，環境情報科学論文集査読委員会，委員。

兵庫自治学会，評議員。

日本造園学会 CPD プログラム認定委員会，委員。

環境情報科学センター，第一企画委員。

日本造園学会，関西支部，顧問。

兵庫県立淡路景観園芸学校，顧問。

日本学術会議，日本学術会議連携会員。

■賞罰

兵庫県立大学功績賞

第34回北村賞

兵庫県教育功労者表彰（知事表彰）

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

中瀬勲，2016.10，「ルフェーブル氏&館長と行く！日本庭園Fuzei（風情）ツアー」，講師，ルフェーブル氏&館長と行く！日本庭園Fuzei（風情）ツアー，（18名）

中瀬勲，2016.11，一般セミナー「中瀬勲館長 庭園スペシャル講座『日本庭園の美学』」，博物館。（18名）

中瀬勲，2016.11，一般セミナー「中瀬勲館長 庭園スペシャル講座『日本庭園の伝統的技法』」，博物館。（17名）

中瀬勲，2016.12，一般セミナー「中瀬勲館長 庭園スペシャル講座『世界の庭園と庭づくり』」，博物館。（19名）

館外講演

中瀬勲，2016.4，「里山の楽しみ」，講師，森の自然塾（基調講演），（45名）

中瀬勲，2016.4，「森の楽しみ方」，講師，森の自然塾講義，（45名）

中瀬勲，2016.4，「出番ですよ。マナビストの皆さん！～地域活性化は待たなし～」，講師，三木市高齢者大学講座，（175名）

中瀬勲，2016.5，「これからの社会教育施設のあり方」，講師，兵庫県公民館連合会定期総会，（165名）

中瀬勲，2016.5，「未来の子どもたちへ仲間とつながる高槻の環境—これからの参画と市民協働—」，講師，たかつき市民環境大学開講前公開講座，（70名）

中瀬勲，2016.5，「参画と協働」の意味と創生塾での学びに期待するもの」，講師，ふるさとひょうご創生塾，（20名）

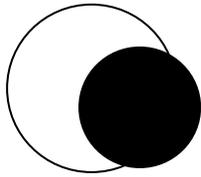
中瀬勲，2016.5，「環境資源を活かしたまちづくり—生態系サービスの視点から—」，講師，たかつき市民環境大学，（24名）

- 中瀬勲, 2016.5, 「あいな里山公園の秘めた魅力を引き出す」, 講師, 明石海峡公園神戸地区 あいな里山公園開園記念セミナー基調講演, (200名)
- 中瀬勲, 2016.6, 「丹波からの地域創生」, 講師, 丹波の森大学, (60名)
- 中瀬勲, 2016.7, 「沖縄に国立自然史博物館を! ~島嶼ネットワークの可能性を探る~」, パネリスト, シンポジウム実行委員会, (300名)
- 中瀬勲, 2016.8, 「兵庫県のため池保全の取り組みについて」, 講師, ひょうごため池保全推進フォーラム, (700名)
- 中瀬勲, 2016.8, 「地域創生フォーラム」, コーディネーター, 丹波の森大学公開講座, (60名)
- 中瀬勲, 2016.9, 「語ろう! 土砂災害の強い六甲山麓づくり」, 講師, 六甲山フォーラム, (600名)
- 中瀬勲, 2016.10, 「緑・造園空間にみる持続的マネジメントの知恵」, 講師, 第16回コンクリート構造物の補修・補強・アップグレードシンポジウム, (公財) 日本材料学会, (150名)
- 中瀬勲, 2016.10, 「『ひろげよう 育てよう みどりの都市』全国大会」, 司会・進行, 一般社団法人 日本公園緑地協会, (600名)
- 中瀬勲, 2016.11, 「造園1」(全2回), 講師, 神戸市シルバーカレッジ, (80名)
- 中瀬勲, 2016.11, 「日本の伝統的な自然観と持続可能な社会」, 講師, 北摂 SATOYAMA 国際セミナー(基調講演), (300名)
- 中瀬勲, 2016.11, 「地域づくりにかかる公民館の役割」, 講師, 但馬公民館連合会研修会, (60名)
- 中瀬勲, 2016.11, 「造園2」(全2回), 講師, 神戸市シルバーカレッジ, (80名)
- 中瀬勲, 2016.11, 「日本庭園の伝統と海外での多様な展開」企画展 日本文化を育んだ自然 Workshop, 自然史レガシー継承・発信実行委員会, (30名)
- 中瀬勲, 2016.12, 「地域づくりと環境学習施設」, 講師, 「環境学習施設を考える会」設立総会(記念講演), (90名)
- 中瀬勲, 2016.12, 「環境ことはじめ」, 講師, 自然環境を考える講演会, 枚方市環境保全課, (60名)
- 中瀬勲, 2016.12, 「出番ですよ。マナビストの皆さん! ~地域活性化は待ったなし~」, 講師, 加東市高齢者大学, (60名)
- 中瀬勲, 2016.12 「地域資源マネジメント研究科特別講義」, 講師, 兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科 博士後期課程開設記念式典, (19名)
- 中瀬勲, 2017.1, 「公園マネジメントとボランティア」(全2回), 講師, (公財) 札幌市公園緑化協会特別公開セミナー, (120名)
- 中瀬勲, 2017.2, 「マネジメントの時代ー参画・協働の視点からー」, 講師, たかつき市民環境大学講座 (20名)
- 中瀬勲, 2017.2, 「地域連携を主軸にした パークマネジメントによる公園ストックの活性化」, 講師, (一社) 日本公園緑地協会 全国都市公園整備促進協議会意見交換会(関西), (60名)
- 中瀬勲, 2017.2, 「ひょうご環境担い手サミット~『ワクワク』が人をつなぎ、地域の環境課題を解決する原動力になる~」, コーディネーター, ひょうご環境担い手サミット, (246名)
- 中瀬勲, 2017.2, 「自然と共に生きる地域づくり」, 講師, いきいき学舎・フレミラ「環境・自然コース」, フレミラ宝塚, (40名)
- 中瀬勲, 2017.2, 「街づくりと造園学」, 講師, いきいき学舎・フレミラ「環境・自然コース」, フレミラ宝塚, (40名)
- 非常勤講師**
- 2016.4-2017.3, 「共生地域創生論」, 兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科(淡路緑環境キャンパス).
- 2016.5, 「楠薫園復活作戦 part1 ~日本の最先端・神戸のランドスケープ~」, 兵庫県立神戸高等学校.
- 2017.1, 「ランドスケープデザイン論」, 国立大学法人 名古屋工業大学.
- キャラバン・主催アウトリーチ事業
- 2017.1, ひとく Kids キャラバン, 三木市立志染保育所, 三木市.
- 2. シンクタンク事業**
- 行政等支援
- 委員会等 (計 135 件)**
- 1993.3- (公財) 兵庫丹波の森協会, 理事.
- 1994.10- 姫路市環境審議会, 会長, 姫路市.
- 1996.4- (公財) 兵庫丹波の森協会, 丹波の森研究所, 所長.
- 1996.7- 兵庫県立丹波の森公苑運営委員会, 委員, (公財) 丹波の森公苑.
- 1997.8- 建設省近畿地方建設局, 自然環境アドバイザー, (国土交通省) 建設省.
- 1998.8- (財) ひょうご環境創造協会, 環境アドバイザー.
- 1999.4- (財) 都市緑化技術開発機構, 研究顧問.
- 2000.6- (社) 大阪自然環境保全協会, 里山保全アドバイザー.
- 2001.8- 関電公害防止協議会, 委員長, 兵庫県・姫路市・関西電力株式会社.
- 2002.3- (財) 日本グラウンドワーク協会, 評議員.
- 2002.5 兵庫県立有馬富士公園運営・計画協議会, 会長, 兵庫県県土整備部.

- 2002.12- 兵庫県環境審議会，委員，兵庫県生活文化部（県民政策部）。
- 2003.2- コミュニティ・ガーデン・ネットワーク，理事，（財）都市緑化基金。
- 2003.6- （社）日本公園緑地協会，研究顧問。
- 2003.10- 兵庫県高大連携等推進協議会，委員長，兵庫県教育委員会。
- 2004.6- （財）日本グラウンドワーク協会東海・近畿・北陸ブロック会議，委員，（財）日本グラウンドワーク協会。
- 2004.7- 島本町環境保全審議会，会長，島本町。
- 2004.7- グリーンスクール審査委員会，委員，兵庫県教育委員会。
- 2004.12- 国営事業環境配慮アドバイザーグループ，アドバイザー，近畿農政局。
- 2005.1- 兵庫県立甲山森林公園管理運営協議会，委員長，兵庫県阪神南県民局。
- 2005.4- 阪神北ビジョン委員会，アドバイザー，兵庫県阪神北県民局。
- 2005.5- 神戸市建設局指定管理者候補者選定委員会，委員長，神戸市。
- 2005.7- 大門寺整備委員会，委員，宗教法人大門寺。
- 2005.8-2017.3 兵庫県立丹波の森公苑，公苑長，（公財）兵庫丹波の森協会。
- 2005.8- 丹波 OB 大学，学長，兵庫県立丹波の森公苑。
- 2005.8- 共創の森，塾長，兵庫県立丹波の森公苑。
- 2005.9- ひょうごガーデンマイスター認定委員会，委員，（社）兵庫みどり公社。以降継続中
- 2006.2- 事業評価監視委員会，常任委員，西日本高速道路株式会社。
- 2006.4- （財）公園緑地管理財団，研究顧問。
- 2006.5- 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会公苑長杯，実行委員長，丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会実行委員会。
- 2006.5- 丹波の森子ども環境塾『エコキッズクラブ』，塾長，（公財）兵庫丹波の森協会。
- 2006.10- 内ヶ池整備に関する検討委員会，委員長，大阪府，高槻市。
- 2007.1- 丹波年輪の里運営協議会，委員(長)，兵庫県立年丹波年輪の里。
- 2007.4- 神戸市公園緑地審議会，委員，会長（2011.4- ），神戸市。
- 2007.4- 神戸市公園緑地審議会運営部会，部会長，神戸市。
- 2007.6- 丹波市恐竜を活かしたまちづくり協議会，委員，丹波市。
- 2007.6- 西播磨風景づくり支援センター，登録，兵庫県西播磨県民局。
- 2007.6-2017.3 しみん基金・こうべ助成事業審査委員会，委員，特定非営利法人しみん基金・こうべ。
- 2007.7- 丹波恐竜化石にかかる事業連携推進会議，会長，県立人と自然の博物館，丹波県民局，丹波市。
- 2008.1- 野生動物保護管理運営協議会，会長（2010.1 から），副会長，兵庫県農林水産部。
- 2008.1- 野生動物保護管理運営協議会，WLM 推進部会，部会長（代行），兵庫県農林水産部。
- 2008.4- 丹波縄文の森塾，塾長，（公財）兵庫丹波の森協会。
- 2008.4- やしろの森公園運営協議会，委員，やしろの森公園協会。
- 2008.6- 恐竜を活かしたまちづくりプロジェクトチーム，座長，兵庫県丹波県民局。
- 2008.6- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議，委員，兵庫県阪神南県民局。
- 2009.1- 丹波の森大学，学長，（公財）兵庫丹波の森協会。
- 2009.5- 県立三田祥雲館高等学校に係るスーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会，委員，兵庫県教育委員会。
- 2010.2- たんば恐竜・哺乳類化石を活かしたまちづくり推進協議会，副会長。
- 2010.2- 円山川水系自然再生推進委員会，委員，近畿地方整備局，兵庫県但馬県民局。
- 2010.5- 兵庫の貴重な自然改訂委員会，委員，兵庫県農政環境部。
- 2010.6- ひょうごの貴重な自然再生プロジェクト選定委員会，委員，兵庫県農政環境部。
- 2010.5- 新名神高速道路 大阪府域自然環境保全検討委員会，委員長，西日本高速道路株式会社。
- 2010.12- 新名神高速道路 兵庫県域自然環境保全検討委員会，委員長，西日本高速道路株式会社。
- 2011.5- （公財）兵庫県園芸・公園協会が指定管理者となっている公園等の管理運営にかかる自己評価システム検討委員会，委員長，（公財）兵庫県園芸・公園協会。
- 2011.5- 生物多様性ひょうご基金審査委員会，委員，（財）ひょうご環境創造協会。
- 2011.6- 生物多様性ひょうご戦略推進委員会，委員，兵庫県農政環境部。
- 2011.8- 西播磨花の郷選定委員会，委員長，兵庫県西播磨県民局。
- 2011.8- ひょうごの生物多様性保全プロジェクト選定委員会，委員長，兵庫県農政環境部。
- 2011.8- 名勝慶野松原保存整備委員会，委員，南あわじ市。
- 2011.9 中央環境審議会瀬戸内海部会企画専門委員会，委員，環境省。
- 2011.9 東日本大震災ひょうごまちづくり専門

- 家バンク登録，（公財）兵庫県まちづくり技術センター。
- 2011.10 あわじ環境未来島構想推進協議会，アドバイザー，兵庫県淡路県民局。
- 2011.10 あわじ環境未来島構想推進協議会企画委員会，委員長，兵庫県淡路県民局。
- 2011.10- 日本学術会議，連携会員，日本学術会議。
- 2011.11 あわじ環境未来島構想推進事業審査会，委員，兵庫県淡路県民局。
- 2012.1- （公財）兵庫県園芸・公園協会が指定管理者となっている公園等の管理運営にかかる評価・検証委員会，委員長，（公財）兵庫県園芸・公園協会。
- 2012.3 兵庫県立丹波年輪の里運営協議会，委員長。
- 2012.4 （公財）兵庫県園芸・公園協会，理事，（公財）兵庫県園芸・公園協会。
- 2012.4 長期ビジョン審議会公募委員選考会議，委員，兵庫県企画県民部。
- 2012.7 播磨新宮～山崎間自然環境保全検討会，委員長，西日本高速道路株式会社。
- 2012.8 環境基本計画検討小委員会，委員，兵庫県農政環境部。
- 2012.9 （仮称）関西広域連合環境保全計画に関する有識者会議，委員，関西広域連合。
- 2012.9 神戸市建設局自転車等駐車場整備・管理運営事業者選定委員会，委員長，神戸市。
- 2012.9-2017.3（新）森の円卓会議，会長，兵庫県立丹波並木道中央公園，（公財）兵庫県園芸・公園協会。
- 2012.10 長期ビジョン審議会環境優先社会・多彩な交流社会分科会，部会長，兵庫県企画県民部。
- 2012.10 加古川流域懇談会，委員長，国土交通省近畿地方整備局。
- 2013.1- 鶴殿ヨシ原の環境保全に関する検討会，委員，NEXCO 西日本。
- 2013.4 神戸市建設局指定管理者選定評価委員会，委員長，神戸市。
- 2013.4 やしろの森公園運協会，評議員，やしろの森公園協会。
- 2013.4 姫路市生物多様性地域戦略検討会，委員長，姫路市。
- 2013.4 神戸市公園緑地審議会，委員長，神戸市。
- 2013.4 北近畿豊岡自動車道（豊岡北～豊岡南）環境影響評価技術検討委員会，委員長，国土交通省近畿地方整備局。
- 2013.4 神戸市建設局自転車等駐車場事業者選定委員会，委員長，神戸市。
- 2013.5- 新名神高速道路鶴殿ヨシ原の環境保全に関する検討委員会，委員，西日本高速道路株式会社。
- 2013.6- あわじ環境未来島構想推進事業審査会，委員，兵庫県淡路県民局。
- 2013.6- 尼崎市公園緑地審議会，会長，尼崎市。
- 2013.6- 淡路花博 15 周年記念事業企画委員会，委員，淡路花博 15 周年記念事業実行委員会。
- 2013.6- 淡路花博 15 周年記念事業エネルギーと暮らし部会，アドバイザー，淡路花博 15 周年記念事業実行委員会。
- 2013.6- 姫路市生物多様性地域戦略検討会，会長，姫路市。
- 2013.6- 兵庫県環境審議会，委員，兵庫県。
- 2013.7 中央環境審議会瀬戸内環境保全小委員会，専門委員，環境省。
- 2013.7 地域再生大作戦顕彰委員会，委員，兵庫県。
- 2013.7 評価・検証委員会，委員長，（公財）兵庫県園芸・公園協会。
- 2013.7 新名神高速道路大阪府域自然環境保全検討委員会，委員長，西日本高速道路株式会社。
- 2013.7 神戸市道路公社設置駐車場管理運営業務委託業者選定評価委員会，委員長，神戸市道路公社。
- 2013.7 三田市まちづくり基本条例進捗管理委員会，委員，三田市。
- 2013.10 日本科学未来館運営評価委員会，委員，日本科学未来館。
- 2013.12 六甲山フォレストプロジェクト・ブレインストーミング，委員，神戸市。
- 2013.12 加陽湿地と中筋の未来を考える懇談会，アドバイザー，豊岡市。
- 2014.1 淡路花博 2015 花みどりフェア県民提案事業審査委員会，委員長，淡路花博記念事業実行委員会。
- 2014.4 女性研究者活動支援事業外部評価委員会，委員，武庫川女子大学。
- 2014.4 ふるさとひょうご創生塾企画運営委員会，委員長，（公財）兵庫県生きがい創造協会。
- 2014.4- 阪神北地域ビジョン委員会，アドバイザー，阪神北地域ビジョン委員会。
- 2014.6 兵庫県立明石公園サービスセンター物販・飲食店出店者選定委員会，委員長，（公財）兵庫県園芸・公園協会。
- 2014.7- 総合企画委員会，委員，（公財）ひょうご科学技術協会。
- 2014.7 淡路花博 2015 花みどりフェア国際シンポジウム「パークマネジメントの未来」実行委員会，副委員長，（一財）日本造園修景協会。
- 2014.10 兵庫のゆたかさ研究会，委員，副座長，兵庫県企画県民部。

- 2014.10 (一財)公園財団, 研究顧問, (一財)公園財団.
- 2014.11 尼崎の森中央緑地整備計画検討委員会, 委員長, 兵庫県阪神南県民センター.
- 2014.11.- 野生動物保護管理運営協議会, 委員, 農政環境部.
- 2014.12 ため池の保全に関する条例検討委員会, 委員, 兵庫県農政環境部.
- 2014.12.-大阪府日本万国博覧会記念公園運営審議会, 委員, 大阪府府民文化部府民文化総務課.
- 2015.4.- 鳴門海峡の渦潮世界遺産学術調査検討委員会, 委員, うず潮世界遺産登録学術調査推進協議会.
- 2015.5.- 兵庫県地域創生戦略会議・地域活力向上ワーキングチーム, 委員, 兵庫県企画県民部地域振興課、地域創生課.
- 2015.5.- ため池の保全等に関する総合推進方針検討会, 委員, 兵庫県農政環境部農村環境室.
- 2015.6.- 兵庫県立施設ネーミングライツスポンサー選考委員会, 委員, 兵庫県企画県民部企画財政局新行政課.
- 2015.8.- 地域再生大作戦地域再生プロジェクトチーム, 構成員, 兵庫県丹波県民局.
- 2015.9.- うずしお科学館改修検討委員会, 委員, うず潮世界遺産登録学術調査事業推進協議会.
- 2015.10.- 三田市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定懇話会, 委員, 三田市企画財政部企画広報課.
- 2015.10.- 未来に残したい西播磨の貴重な生き物100選選定委員会, 委員, 兵庫県西播磨県民局県民交流室環境課.
- 2015.10.- 尼崎21世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県県土整備部まちづくり局公園緑地課.
- 2015.12.- 未来に残したい西播磨の貴重な生き物100選懇話会, 構成員, 兵庫県西播磨県民局県民交流室環境課.
- 2016.1.- 民間提案等による都市公園ストック有効活用方策推進プロジェクト 有識者会議, 委員, (一社)日本公園緑地協会.
- 2016.2.- 丹波ふれあいフェスティバル実行委員会, 委員, 丹波県民局県民交流室県民課.
- 2016.2.- 丹波地域ビジョン委員審査会, 委員, 兵庫県.
- 2016.4.- うずしお科学館リニューアル改修に係る設計・施工業務プロポーザルに係る審査委員会, 委員, 南あわじ市プロポーザル審査委員会.
- 2016.4.- 県立但馬ドーム指定管理者候補者選定委員会, 委員, 兵庫県産業労働部政策労働局労働福祉課.
- 2016.5.- 豊岡市公の施設指定管理者選定審査会, 委員, 豊岡市政策調整部財政課.
- 2016.5.- ため池の保全等に関する全県検討会, 委員, 兵庫県農政環境部農村環境室.
- 2016.7.- 三田市総合計画審議会, 委員, 三田市地域戦略室政策課.
- 2016.11-2018.3 フィールドミュージアム等構想策定委員会, 委員, 九州国立博物館.
- 2016.10-2017.3 県立三木市総合防災公園区域変更に関する「意見を伺う会」, 委員, 兵庫県北播磨県民局加東土木事務所.
- 2016.11.- 明石城 城と緑の景観づくり検討委員会, 委員, 兵庫県県土整備部まちづくり局公園緑地課.
- 2016.12.- 国営明石海峡公園淡路地区基本計画改定委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.
- 2017.1.- 県政150周年記念事業企画委員会, 委員, 兵庫県企画県民部政策創生部地域振興課.



個人別成果報告に関する資料

No. 2

●自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ/
埋蔵自然遺産研究グループ

佐藤裕司 SATO, Hiroshi

自然・環境評価研究部
地域環境地質研究グループ
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 教授。

昭和32年大阪府生。神戸大学大学院理学学術研究科修士課程修了。学術博士。日本第四紀学会，日本陸水学会，日本藻類学会，日本珪藻学会，日本環境教育学会等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 事業推進部門

事業推進部長

2. 研究開発部門

部門研究調整担当，会計担当

3. プロジェクト

恐竜特化プロジェクト 代表者

加東市との連携と環境学習事業への支援。代表者

篠山層群脊椎動物発掘調査事業。分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 過去100万年の海水準変動に関する研究
2. 兵庫県における人類紀の環境変遷史に関する研究
3. 淡水産および汽水産藻類の多様性と水環境保全に関する研究
4. 自然史リテラシーの涵養のための環境教育プログラム開発

■論著書

Maegakiuch, K., Hyodo, M., Kitaba, I., Hirose, K., Katoh, S. and Sato, H. (2016) Brief sea-level fall event and centennial to millennial sea-level variations during Marine Isotope Stage 19 in Osaka Bay, Japan. *Journal of Quaternary Science*, 31 : 809-822.

Kitaba, I., Hyodo, M., Nakagawa, T., Katoh, S., Dettman, D. and Sato, H. (2017) Geological support for the Umbrella Effect as a link between geomagnetic field and climate. *Scientific Reports*, 7, doi:10.1038/srep40682.

■研究発表

吉住正斗・廣瀬孝太郎・兵頭政幸・佐藤裕司 (2016) 中期更新世の大阪湾における海水準変動に対する珪藻群集の変化。日本珪藻学会第37回大会，神戸大学，神戸（5月）

吉住正斗・廣瀬孝太郎・兵頭政幸・佐藤裕司 (2016) 海洋酸素同位体層序とよい対応を示す大阪湾の

中期更新世の海水準変動。日本地球惑星科学連合2016年大会，幕張メッセ，千葉（5月）

田中郁子・兵頭政幸・上野友輔・北場育子・佐藤裕司 (2016) 房総半島マツヤマブリュンヌ地磁気逆転境界における高解像度珪藻化石群集解析。日本地球惑星科学連合2016年大会，幕張メッセ，千葉（5月）

田中郁子・兵頭政幸・上野友輔・北場育子・佐藤裕司 (2016) 上総層群国本層におけるコアの高解像度珪藻解析。日本地質学会第123年学術大会，日本大学，東京（9月）

河村幸子・佐藤裕司 (2016) 子どものための生物多様性学習プログラムの開発と実践 ～ジャコウアゲハを題材にして～。日本環境教育学会第27回大会，学習院大学，東京（8月）

河村幸子・佐藤裕司 (2016) ジャコウアゲハを用いた生物多様性の環境学習プログラム開発 ～子どもたちに生物多様性をどう伝えるか～。兵庫県立大学・知の交流シンポジウム2016，姫路市商工会館，兵庫県（9月）

河村幸子・佐藤裕司 (2016) ジャコウアゲハを用いた生物多様性の環境学習プログラム開発 ～子どもたちに生物多様性をどう伝えるか～。第13回環境人間学フォーラム，兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス，兵庫（11月）

■学会役員など

日本第四紀学会，査読委員

■助成を受けた研究

生物多様性の理解を促す自然史リテラシー涵養プログラムの構築。文部科学省科学研究費基盤研究(C)。代表者(2016年度70万円/総額160万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016.4-2017.3 現生淡水藻類の標本採集。丹波市・上郡町など。

■整理同定担当資料

第四紀古環境資料，淡水産藻類標本。

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

◎佐藤裕司，2016.4.，オープンセミナー「アンモナイト石けんを作ろう！」，博物館（44名）

◎佐藤裕司，2016.10.，オープンセミナー「アンモナイト石けんを作ろう！」，博物館（31名）

◎佐藤裕司，2017.3.，オープンセミナー「アンモナイト

石けんを作ろう!」, 博物館 (43名)
佐藤裕司・河村幸子, 2016.8, 教職員・指導者セミナー
「ジャコウアゲハから学ぶ生物多様性①」, 博物館 (27名)

佐藤裕司・河村幸子, 2016.8, 教職員・指導者セミナー
「ジャコウアゲハから学ぶ生物多様性②」, 博物館 (3名)

兵庫県立大学・大学院教育

共生博物学 (全学共通教育科目, オムニバス形式, 代表)

陸・水圏自然史特別演習

特別ゼミナールⅠ (A) (B)

特別ゼミナールⅡ (A) (B)

特別研究 (A) (B)

特別フィールド研究 (A)

COC事業・地域資源マネジメントプロジェクト
(篠山・丹波地域・地域戦略会議議長)

非常勤講師

2017.2, 「博物館 (学内) 実務実習」, 神戸大学 (実習場所; 人と自然の博物館).

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2016.9, 第7回加東市ノーベル大賞応募作品審査,
加東市教育委員会, 加東市立三草小学校, 加東市との協力協定事業/主担当

2016.10, 第7回加東市ノーベル大賞表彰・講評,
加東市教育委員会, 加東市立滝野図書館, 加東市との協力協定事業/主担当

2016.10, はたらくくるま大集合

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

野生生物を調査研究する会, 副担当 (協働)

岸本清明, 主担当 (協働)

東山真也, 主担当 (協働)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2016.6, 三田市立挾間中学校 2名, けやき中学校 1名, 上野中学校 1名

学校団体対応

2016.6, 「水のはなし」, 姫路市立峰相小学校3年生 (44名)

2016.9, 「地球温暖化のはなし」, 猪名川町立猪名川中学校1年生 (266名)

■研修生等の受入

博物館実習

2016.8.23, 県庁インターンシップ (高校生3名, 県立農業高校(1), 県立有馬高校(1), 県立伊丹北高校(1))

卒論生等

2016.4-2017.3, 田中郁子 (神戸大学大学院理学研究科博士課程後期), 房総半島国本層における珪藻化石層序に関する研究.

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 4回, 16名.

生物系収蔵庫等の案内, 2回, 8名.

■行政等支援

委員会等 (計6件)

2015.4 生物多様性アドバイザー, 兵庫県農政環境部
環境創造局自然環境課

2016.4-2018.3, 篠山市脊椎動物化石保護・活用委員会, 委員, 篠山市教育委員会.

2016.4-2017.3, 加東市とひとく協力協定連携推進会議
委員, 加東市教育委員会.

2015.7-2018.6, 希少野生動植物種保存推進員, 環境省自然環境局.

2016.8-2018.8, 三田市環境審議会, 委員, 三田市市民生活部環境共生室.

2016.4-2017.7, 三田市環境審議会部会, 部会長, 三田市市民生活部環境共生室.

相談・指導助言

来訪者 18件, 26名. 電話・FAX 相談 5件, メール相談 35件.

加藤 茂弘, KATO, Shigehiro

自然・環境評価研究部
地球科学研究グループ
主任研究員

昭和 35 年岐阜県生. 東京大学大学院理学系研究科博士課程単位取得後退学. 理学修士. 日本第四紀学会, 日本活断層学会, 日本人類学会, 日本地理学会, 日本地質学会, 日本地形学連合, 東北地理学会, ナイル・エチオピア学会所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. タスクフォース 資料管理室

副室長, 資料審査委員会担当

2. 研究開発部門

資料担当

3. プロジェクト

地学系収蔵庫の資料整理の推進, 分担者

文科省博物館ネットワークにおけるレガシー事業, 分担者

エチオピアにおける人類の誕生と進化に関する研究, 代表者.

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 火山灰層序に基づく後期新生代の古環境変動に関する研究
2. 近畿地方の活断層と地殻変動に関する研究
3. 地震断層の保存と活用に関する研究

■論文・著書

◎加藤茂弘・谷川晃一朗・川島真季・石村大輔・岡田篤正 (2016) 山崎断層帯土万断層の完新世後期の活動履歴. 人と自然, No.27, 13-26.

◎Maegakiuch, K., Hyodo, M., Kitaba, I., Hirose, K., Katoh, S. and Sato, H. (2016) Brief sea-level fall event and centennial to millennial sea-level variations during Marine Isotope Stage 19 in Osaka Bay, Japan. *Journal of Quaternary Science*, 31, 809-822.

山口 覚・大内悠平・小田佑介・三島稔明・村上英記・加藤茂弘 (2016) Audio-frequency Magnetotelluric 法による郷村断層周辺の地下比抵抗構造. *地質学雑誌*, 122, 573-586.

◎Kitaba, I., Hyodo, M., Nakagawa, T., Katoh, S., Dettman, D. and Sato, H. (2017) Geological support for the Umbrella Effect as a link between geomagnetic field and climate. *Scientific Reports*, 7, doi:10.1038/srep40682.

加藤茂弘 (2017) 気候段丘. 日本地形学連合編 鈴木隆介・砂村継夫・松倉公憲責任編集『地形の辞典』, 朝倉書店, 東京, pp.181-182.

加藤茂弘 (2017) 融氷河成段丘. 日本地形学連合編 鈴木隆介・砂村継夫・松倉公憲責任編集『地形の

辞典』, 朝倉書店, 東京, pp.878.

加藤茂弘 (2017) サラッソスタティック段丘. 日本地形学連合編 鈴木隆介・砂村継夫・松倉公憲責任編集『地形の辞典』, 朝倉書店, 東京, pp.300.

加藤茂弘 (2017) 氷河性海面変動段丘. 日本地形学連合編 鈴木隆介・砂村継夫・松倉公憲責任編集『地形の辞典』, 朝倉書店, 東京, pp.746.

加藤茂弘 (2017) 変動段丘. 日本地形学連合編 鈴木隆介・砂村継夫・松倉公憲責任編集『地形の辞典』, 朝倉書店, 東京, pp.814-815.

加藤茂弘 (2017) 輪廻性段丘. 日本地形学連合編 鈴木隆介・砂村継夫・松倉公憲責任編集『地形の辞典』, 朝倉書店, 東京, pp.923-924.

■その他著作

岡田篤正・加藤茂弘・石村大輔・山田浩二・末廣匡基・柳田 誠 (2017) 琵琶湖北岸, 八田部盆地の地下堆積物の層序と編年に基づく岩熊断層の活動性の評価. 地学ニュース (平成 27 年度助成金報告—調査・研究), 地学雑誌, 125, N115.

■ブログへの情報提供

1 件

■研究発表

加藤茂弘・岡田篤正・石村大輔 (2016.10) 湖北地域の八田部盆地における伏在活断層の後期更新世の活動. 日本活断層学会 2016 年秋季学術大会, 法政大学, 東京都.

兵頭政幸・北場育子・加藤茂弘・林 広樹・北村晃寿・岡田 誠 (2016.5) 千葉セクション, 大阪湾, 北大西洋に共通する軌道スケール, 千年スケールの古海洋変動. 地球惑星科学連合 2016 年大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市.

熊澤亘洋・兵頭政幸・廣瀬孝太郎・津村昂甫・加藤茂弘・風岡 修・荻津 達・八武崎寿史・林 広樹 (2016.5) 大阪湾堆積物コアを用いた最終間氷期の高精度気候復元. 地球惑星科学連合 2016 年大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市.

◎小田佑介・山口 覚・村上英記・加藤茂弘・伊東修平・大内悠平・上嶋 誠 (2016.5) 断層不連続部の地下比抵抗構造—山崎断層帯の例—. 地球惑星科学連合 2016 年大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市.

◎勝村真司・倉光 伸・山口 覚・小田佑介・三島稔明・村上英記・加藤茂弘 (2016.5) 山崎断層帯主部南東部を構成する三木断層の地磁気地電流調査. 地球惑星科学連合 2016 年大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市.

◎山口 覚・大内悠平・小田佑介・三島稔明・村上英記・加藤茂弘 (2016.5) 電磁気学的手法を用いた活断層構造の探査—山崎断層系郷村断層 (京丹後市) の例—. 地球惑星科学連合 2016 年大会, 幕張メッセ国際会議場, 千葉市.

風岡 修・荻津 達・八武崎寿史・本田恵理・吉田剛・香川 淳・森崎正昭・亀山 瞬・木村英人・

中里康臣・里口保文・竹下欣宏・岡田 誠・菅沼悠介・西田尚央・泉 賢太郎・兵頭政幸・加藤茂弘・熊井久雄・楡井 久 (2016.9) 更新統下部—中部境界の国際模式候補地周辺の上総層群国本層中部付近の詳細層序—安定的な地層の堆積の証明にむけて—。日本第四紀学会 2016 年大会, 千葉大学, 千葉市。

◎Yamaguchi, S., Oda, Y., Ito, S., Kuramitsu, S., Ouchi, Y., Ueda, S., Katoh, S., Murakami, H. (2016.8) Audio-frequency magnetotelluric surveys of active fault systems in Japan for better assessment of earthquake hazard -Two case studies. The 23rd Electromagnetic Induction Workshop-EMIW2016, The Empress Convention Center, Chiang Mai, Thailand.

■学会役員など

日本活断層学会, 活断層研究レフェリー (2016 年 12 月)

■助成を受けた研究

ラミダス化石等人類進化研究を中心としたマクロ形態研究の推進と基盤充実。文部科学省科学研究費補助金 (特別推進研究; 平成 24~28 年度), 研究分担者 (平成 28 年度配分金額 507 万円。内直接経費 390 万円)

活断層下の低電気比抵抗構造領域に着目した新たな活動性評価法の構築。文部科学省科学研究費補助金 (基盤研究 B; 平成 28~30 年度), 研究分担者 (平成 28 年度総額 182 万円, 同配分金額 18 万円。内直接経費 15 万円)

活断層下の低比抵抗領域から断層活動性を評価する手法開発の研究。平成 28 年度東京大学地震研究所一般共同研究, 研究分担者 (総額 35 万円)

■海外調査

2016.8, エチオピア (エチオピア, コンソ遺跡の骨製握斧の産出層準等の調査)

2016.11, 台湾 (台湾国内の自然史系博物館の視察調査)

2017.1-2, エチオピア (チョローラ層の哺乳類化石の探索と堆積年代の年代決定に関する調査)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016.8 エチオピア, コンソ層の火山灰層など。

2016.11 京丹後市の郷村断層, 仲禅寺断層の断層粘土および断層露頭や断層地形の写真。

2017.1-2 エチオピア, アファー地溝帯南部のチョローラ層中の火山岩や火山灰層, 軽石層など。

2017.3 豊岡市畑上に分布する第四紀海成層および露頭写真。

■受贈担当資料

2016.4, 兵庫県産岩石・鉱物・化石 (クドウ地科学コレクション追加資料)。50 点。

■整理同定担当資料

第四紀堆積物 (火山灰, ボーリングコア等, 活断層・地層のはぎとり標本等)。

岩石 (火山岩・堆積岩が主体)・鉱物標本

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

加藤茂弘, 2016.5, 一般セミナー「見直される近未来の南海トラフ巨大地震」, 博物館。(50 名)

◎石ころクラブ・先山 徹・加藤茂弘, 2016.5, 一般セミナー「石ころクラブ勉強会」, 博物館。(全 9 回, 103 名)

◎加藤茂弘・古谷裕司・野田富士樹, 2016.5, 「石めぐりハイキング 2016: 沼島の結晶片岩と灘海岸の尾坂層群」, 南淡路市土生・沼島。(21 名)

◎加藤茂弘, 2016.7, 一般セミナー「火山灰を調べる」, 博物館。(全 6 回, 54 名)

◎加藤茂弘, 2016.8, 教職員セミナー「火山灰の鉱物やガラスを観察してみよう」, 博物館。(19 名)

◎加藤茂弘, 2016.4, オープンセミナー「くらやみで光る岩石や鉱物を見てみよう」, 博物館。(57 名)

◎加藤茂弘・フロアスタッフ, 2016.4, オープンセミナー「ひとはくの岩石と鉱物」, ひとはく探検隊, 博物館。(18 名)

◎加藤茂弘, 2016.5, オープンセミナー「くらやみで光る岩石や鉱物を見てみよう」, 博物館。(47 名)

◎加藤茂弘, 2016.6, オープンセミナー「くらやみで光る岩石や鉱物を見てみよう」, 博物館。(61 名)

加藤茂弘, 2017.2, 研究員特別セミナー「人類誕生の時代を探る試み」, 共生のひろば, 博物館。(約 50 名)

加藤茂弘, 2016.7, 特注セミナー「地震はどうして起こるのか」, 神戸大学附属中等教育学校, 博物館。(2 回, 127 名)

◎加藤茂弘, 2016.9, 特注セミナー「火山灰を調べる」, 兵庫教育大学, 博物館 (10 名)

加藤茂弘, 2016.9, 特注セミナー「淀川, 武庫川, 加古川の流域の奪い合いの歴史」, 大阪鉱物クラブ, 博物館。(24 名)

◎加藤茂弘, 2016.11, 特注セミナー「六甲山周辺の地形と地質」(2 回), 兵庫県立舞子高等学校, 博物館。(42 名)

鈴木 武・加藤茂弘・上田萌子・中前純一, 2016.6, 特注セミナー「収蔵庫見学案内 (地学系収蔵庫)」, 大阪府立大学生命環境科学域, 博物館。(17 名)

館外講演

加藤茂弘, 2016.4, 「アフリカの大地に人類進化の謎を探る」, 阪神シニアカレッジ 4 年生, 宝塚ソリオ 2。(130 名)

加藤茂弘, 2016.4, 「見直される近未来の南海トラフ巨大地震」, 阪神シニアカレッジ 2 年生, 宝塚ソリオ 2。(160 名)

◎加藤茂弘・古谷裕司ほか, 2016.7, 「お湯まるでアンモナイト化石レプリカを作ろう」, 「動く断層

ペーパークラフトを作ろう」,「野島断層見学会」ほか,野島断層親子体験教室(第1回),淡路市教育委員会(共催),北淡震災記念公園セミナーハウス。(42名)

◎加藤茂弘・古谷裕司ほか,2016.8,「お湯まるでアンモナイト化石レプリカを作ろう」,「石こうで三葉虫化石のレプリカを作ろう」,「野島断層見学会」ほか,野島断層親子体験教室(第2回),淡路市教育委員会(共催),北淡震災記念公園セミナーハウス。(45名)

◎加藤茂弘,2016.11,「久美浜湾周辺の地形と地質を巡る(野外巡検)」,大阪鉱物クラブ,京丹後市箱石海岸・丹後半島袖志海岸ほか。(24名)

◎加藤茂弘,2016.11,「中山寺周辺の活断層地形と1596年伏見地震の痕跡をたどる」,宝塚市教育委員会,いきいき学舎フレミラ,宝塚市中山寺周辺。(28名)

加藤茂弘,2016.11,「宝塚周辺の活断層と近未来の大地震」,宝塚市教育委員会,いきいき学舎フレミラ。(32名)

加藤茂弘,2017.1,「山崎断層帯を科学する」,平成28年度中播磨地域防災講習会“ひょうご安全の日”中播磨のつどい,中播磨県民センター・福崎町,福崎町エルデホール。(300名)

テレビ・ラジオ等出演

1件

2017.2,「山崎断層帯を科学する」,福崎町ケーブルテレビ

■共催・協力・後援事業

2016.7-8,野島断層親子体験学習講座,淡路市教育委員会,淡路市北淡震災記念公園セミナーハウス。共催/主担当

2017.1,野島断層普及講演会2016,淡路市教育委員会,淡路市北淡震災記念公園セミナーハウス。協力/主担当

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

石ころクラブ,主担当(指導・協働)

南あわじ地学の会,副担当(指導・協働)

舟木冴子,副担当(指導)

野田富士樹,副担当(指導)

成果発表

2017.2,共生のひろば,石ころクラブの活動報告「いろいろな石を見分けよう」および「しらべてみよう石の性質」,石ころクラブ。指導・協働

■学校教育支援

講師派遣

2016.6,「見直される近未来の南海地震」,兵庫県立舞子高等学校1年生。(42名)

2016.6,「断層ドミノで学ぶ活断層と地震」,兵庫県立舞子高等学校1年生。(42名)

■研修生等の受入

卒論生等

2016.4-2017.3,三村 明(大阪市立大学理学部地球学科都市地盤構造学研究室4年),郷村断層帯(郷西方断層・郷村断層・仲禅寺断層)の地下比抵抗構造。

2017.2-2017.3,上野友輔(神戸大学理学研究科地球惑星科学専攻地質学研究室 博士前期課程1年),中国黄土高原における最新地磁気逆転期の冬季モンスーン強度変動に関する研究。

■展示

2017.1,1階常設展示コーナーにおける新展示「ひょうごの岩石と鉱物(クドウ地科学コレクションの紹介展示含む)」追加展示。責任者

2017.2-4,ひとはく研究員展「ひとはくの研究の今」。分担者

2. シンクタンク事業

■受託研究

野島断層の保存・活用に関する研究。淡路市教育委員会,研究代表者(30万円)

活断層ラボの展示内容の改善に関する研究。淡路市教育委員会,研究代表者(20万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内,4回,13名。

■行政等支援

委員会等 (計1件)

2016.6-2017.3,野島断層活用委員会,委員,淡路市教育委員会。

相談・指導助言

来訪者12件,25名。電話・FAX相談30件,メール相談100件。

2016.8-2017.3,2016年熊本地震の博物館における常設および企画展示について,熊本市立博物館。

2016.12,香川県の第三紀層の露頭の保存と活用について。近畿大学教職教育部・吉川武憲教授。

2017.1-2,中国地方東部から若狭湾周辺における大山火山起源のテフラの分布について。関西電力株式会社・ダイヤコンサルタント株式会社について,岩手県田野畑村政策推進室。

菊池 直樹 KIKUCHI, Naoki

自然・環境評価研究部
地球科学研究グループ
研究員

昭和46年福岡県生. 高知大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学. 理学修士.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 事業推進部門 生涯学習推進室

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 堆積作用に規制された底生動物化石群の古生態学
2. 深海二枚貝オオハネガイ類の古生態学
3. 歴史時代の貝類古生物学
4. ジオ・アーケオロジー

■論文・著書

NOBUHARA Takami・ONDA Daigaku・SATO Takuya・AOSAWA Hidemi・ISHIMURA Toyoho・IJIRI Akira・TSUNOGAI Urumu・KIKUCHI Naoki・KONDO Yasuo・KIEL Steffen (2016) Mass occurrence of the enigmatic gastropod *Elmira* in the Late Cretaceous Sada Limestone seep deposit in southwestern Shikoku, Japan.
Palaontologische Zeitschrift(online), vol.90, no.4, pp701-722.

■研究発表

菊池直樹・伊左治鎮司・近藤康生(2016) 上総層群万田野層(中部更新統)からの現生種オオハネガイ *Acesta goliath* の最古記録. 日本古生物学会, 京都大学, 京都市.
菊池直樹・伊左治鎮司・近藤康生(2016) 上総層群万田野層(中部更新統)からの現生種オオハネガイ *Acesta goliath* の最古記録. 日本古生物学会, 京都大学, 京都市.
近藤康生・菊池直樹・島内朝康(2015)高知市地下の沖積層とその貝類群. 第26回中四国縄文研究会, 宿毛市立宿毛歴史館, 高知県高知市

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016.1 洲本市 貝類化石
2017.1 洲本市 貝類化石

■整理同定担当資料

無脊椎動物化石(主に軟体動物化石), 岩石・鉱物.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

菊池直樹, 2016.5.15, 一般セミナー「地層を読む」, 人と自然の博物館. (24名)

菊池直樹, 2016.6.3, 一般セミナー「地球と生命の歴史」, 人と自然の博物館. (50名)

菊池直樹, 2016.7.30, 一般セミナー「木の葉石割り ～塩原の化石をさがそう～」, 人と自然の博物館. (24名)

菊池直樹, 2016.8.2, 一般セミナー「身近な化石教材について」, 人と自然の博物館. (23名)

菊池直樹, 2016.11.6, 一般セミナー「化石二枚貝について」, 人と自然の博物館. (8名)

菊池直樹, 2016.6.3, 特注セミナー「化石からみた生き物たちの歴史」, 人と自然の博物館. (50名)

菊池直樹, 2016.6.28, 特注セミナー「生物潜水艦アンモナイトの謎」, 人と自然の博物館. (48名)

菊池直樹, 2016.6.29, 特注セミナー「アンモナイトの模型づくり」, 人と自然の博物館. (34名)

菊池直樹, 2016.7.1, 特注セミナー「アンモナイトの模型づくり」, 人と自然の博物館. (34名)

菊池直樹, 2016.8.11, 特注セミナー「化石からみた生き物たちの歴史」, 人と自然の博物館. (15名)

菊池直樹, 2016.5.1, オープンセミナー「解説!丹波竜」, 人と自然の博物館. (33名)

菊池直樹, 2016.9.4, オープンセミナー「解説!丹波竜」, 人と自然の博物館. (38名)

菊池直樹, 2017.1.8, オープンセミナー「解説!丹波竜」, 人と自然の博物館. (38名)

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

兵庫県古生物研究会, 副担当

■学校教育支援

学校団体対応

2016.6.3, 「生命の歴史」, 兵庫県立有馬高等学校, 人と自然の博物館. (36名)

2016.6.28, 「生物潜水艦アンモナイトの謎」, 加東市立三草小学校, 人と自然の博物館. (48名)

2016.8.11, 「化石からみた生き物たちの歴史」, 和歌山県立海南高等学校, 人と自然の博物館. (15名)

講師派遣

2017.3.12, 「恐竜をさがせ!」, 特別講師, 和歌山県自然博物館. (100名)

■展示

2016.7-10, トピックス展「岡山市津山市より産出したオキナワアナジャコ属新種化石」. 責任者

2016.7-8, ミニ企画展 大地を変えた巨大噴火. 担当

2017.8, ミニ企画展「淡路島の和泉層群北阿万層の化石調査」. 館側担当

2017.2-4, ひとくはく研究員展「ひとくはくの研究の今」. 分担者

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 2回, 2名.

■行政等支援

相談・指導助言

来訪者 5 件, 5 名. 電話・FAX 相談 10 件, メール
相談 5 件.

古谷 裕 FURUTANI, Hiroshi

自然・環境評価研究部

地球科学研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 准教授.

1952年島根県生. 名古屋大学大学院理学研究科博士課程(後期課程)単位取得満了. 理学博士. 日本地質学会, 日本古生物学会, 日本地学教育学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 研究開発部門

資料担当

2. プロジェクト

きっぴー山プロジェクト. 分担者

Kids サンデープロジェクト. 分担者

ゆめはくネットワーク. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 古生代放散虫化石の研究
2. 兵庫県内の中・古生層の研究
3. 小さな子どもたちに対する地学教育に関する研究

■論文・著書

古谷 裕・高瀬優子・岸本直子(2016) 小さな子どもたちに対する放散虫化石を使った教育プログラム: 放散虫化石をみんなのものに. 大阪微化石研究会誌特別号 No. 16, 44-47.

小館誓治, 高瀬優子, 古谷裕, 八木剛, 高橋晃(2016) 自然系博物館における幼児向け科学教育プログラムー身近な生きものを題材としてー. 博物館学雑誌, Vol. 42, 37-45.

■ブログへの情報提供

2件

■研究発表

小館誓治, 高瀬優子, 古谷裕, 八木剛, 塚本健司, 清水文美, 高橋晃(2016) 自然系博物館と幼稚園との連携による体験型プログラムの実施事例ー身近な生きものを題材としてー. 全日本博物館学会 第42回研究大会, 草津市.

■助成を受けた研究

被災した子ども達が大人になるまで-博物館こそができる長期継続型支援システムの構築. 文部科学省科学研究費基盤研究(C). 分担者 (2016年度10万円/総額494万円)

2. 資料収集・整理

■整理同定担当資料

2017.3, 岩石, 化石資料, 熊本県, 宮崎県

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

古谷 裕, 2016.5, 一般セミナー「石ころからみつけよう! 小さな化石」, 博物館. (22名)

古谷 裕, 2016.7, 一般セミナー「あわじの石ころからみつけよう! 小さな化石」, 南あわじ市. (6名)

古谷 裕・半田久美子, 2016.7, 一般セミナー「石ころをしらべてみよう!」, 博物館. (13名)

古谷 裕, 2015.8, 教職員・指導者セミナー「石ころから見つけよう! 小さな化石」, 博物館. (18名)

古谷 裕, 2016.8, 教職員・指導者セミナー「丹波の地層と化石」, 丹波市. (4名)

古谷 裕, 2017.3, 一般セミナー「丹波で地層を見る」, 丹波市・篠山市. (20名)

古谷 裕, 2016.6, オープンセミナー「解説! 丹波の恐竜化石」, 博物館. (30名)

古谷 裕, 2016.8, オープンセミナー「石ころをしらべよう①」, 博物館. (15名)

古谷 裕, 2016.8, オープンセミナー「石ころをしらべよう②」, 博物館. (13名)

古谷 裕, 2016.8, オープンセミナー「石ころをしらべよう③」, 博物館. (5名)

古谷 裕, 2016.8, オープンセミナー「石ころをしらべよう④」, 博物館. (3名)

古谷 裕, 2016.8, オープンセミナー「石ころをしらべよう⑤」, 博物館. (13名)

古谷 裕, 2016.8, オープンセミナー「石ころをしらべよう⑥」, 博物館. (6名)

古谷 裕, 2016.9, オープンセミナー「かわいい! いしころやさん」, 博物館. (36名)

古谷 裕, 2016.11, オープンセミナー「はかせとまなぼう! ~アンモナイトせっけんをつくろう! ~」, 博物館. (15名)

古谷 裕, 2016.11, オープンセミナー「兵庫のおおきな化石~解説! 丹波の恐竜化石~」, 博物館. (20名)

古谷 裕, 2016.11, オープンセミナー「兵庫のちっちゃな化石」, 博物館. (100名)

古谷 裕, 2017.3, オープンセミナー「解説! 丹波の恐竜化石」, 博物館. (40名)

古谷 裕, 2016.5, 特注セミナー「化石のレプリカづくり」, 博物館. (25名)

古谷 裕, 2016.5, 特注セミナー「化石のレプリカづくりとおはなし」, 博物館. (16名)

古谷 裕, 2016.5, 特注セミナー「化石のレプリカづくり」, 博物館. (67名)

古谷 裕, 2016.7, 特注セミナー「放散虫化石を調べる①」, 博物館. (28名)

古谷 裕, 2016.7, 特注セミナー「放散虫化石を調べる②」, 博物館. (28名)

古谷 裕, 2016.7, 特注セミナー「放散虫化石を調

べる(講義), 博物館。(20名)

古谷 裕・池田忠広, 2016.10, 特注セミナー「恐竜化石が出た丹波の地層を知る」, 丹波市。(14名)

古谷 裕, 2016.12, 特注セミナー「学校周辺の石ころの秘密」, 博物館。(45名)

古谷 裕, 2016.12, 「相生高校周辺の地層・化石①」, (21名)

古谷 裕, 2016.12, 特注セミナー「相生高校周辺の地層・化石②」, 博物館。(20名)

古谷 裕, 2016.12, 特注セミナー「丹波の恐竜と恐竜」, 博物館。(18名)

館外講演

古谷 裕, 2016.7, 「宝塚で見られる地層と化石」, フレミラ宝塚, 宝塚市。(33名)

古谷 裕, 2016.7, 「街の中で化石探し」, フレミラ宝塚, 宝塚市。(34名)

古谷 裕, 2016.11, 「武田尾で地層を見る」フレミラ宝塚, 宝塚市。

非常勤講師

2016.9-2017.3, 「地学実習」, 神戸女学院大学。

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2016.5, 「加古川の石ころから小さい化石をみつけよう!」, コモレ丹波の森, 丹波市。主担当。

2016.6, 「小さな学校キャラバン」, 丹波市立舟城小学校, 丹波市。主担当。

2016.6, 「ミュージアムキッズ全国フェア」, 仙台市御町サンフェスタ, 仙台市。分担者。

2016.6, 「ひとはくKidsキャラバンinたなぐらまち2016」, ルネサンス棚倉, 福島県棚倉町。分担者。

2016.8, 「たのしい石ころ～小さな化石をさがそう～」, 西宮阪急, 西宮市。主担当。

2016.9, 「ひよこミュージアムinたなぐらまち」, ルネサンス棚倉, 福島県棚倉町。分担者。

2016.9, 「ひとはくキャラバン」, 国見の森公園, 宍粟市。分担者。

2016.9, 「小さな学校キャラバン」, 淡路市立釜口小学校, 淡路市。分担者。

2016.9, 「小さな学校キャラバン」, 神河町立越知谷小学校, 神河町。分担者。

2016.10, 「小さな学校キャラバン」, 神戸市立星和台小学校, 神戸市。主担当。

2016.10, 「キッズキャラバン」, すぐり保育園, 伊丹市。分担者。

2016.10, 「キッズキャラバン」, 聖ミカエル兵庫幼稚園, 神戸市。主担当。

2016.10, 「キッズキャラバン」, 姫路日ノ本短期大学付属幼稚園, 姫路市。主担当。

2016.10, 「小さな学校キャラバン」, 宍粟市立戸原小学校, 宍粟市。分担者。

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

連携活動グループ「南あわじ地学の会」主担当,

連携活動グループ「兵庫古生物研究会」主担当

地域研究員「野田富士樹氏」主担当

■学校教育支援

学校団体対応

古谷 裕, 2016.5, 特注セミナー「化石のレプリカづくり」, 神戸朝鮮初中級学校。(25名)

古谷 裕, 2016.5, 特注セミナー「化石のレプリカづくりとおはなし」, 兵庫県立神出学園。(16名)

古谷 裕, 2016.5, 特注セミナー「化石のレプリカづくり」, 加東市立滝野南小学校。(67名)

古谷 裕, 2016.7, 京都市立嘉楽中学校「放散虫化石を調べる①」, 博物館。(28名)

古谷 裕, 2016.7, 特注セミナー「放散虫化石を調べる②」, 京都市立嘉楽中学校。(28名)

古谷 裕, 2016.7, 特注セミナー「放散虫化石を調べる(講義)」, 京都市立嘉楽中学校。(20名)

古谷 裕, 2016.12, 特注セミナー「学校周辺の石ころの秘密」, 滝野第二中学校。(45名)

古谷 裕, 2016.12, 「相生高校周辺の地層・化石①」, 兵庫県立相生高等学校。(21名)

古谷 裕, 2016.12, 特注セミナー「相生高校周辺の地層・化石②」, 兵庫県立相生高等学校。(20名)

古谷 裕, 2016.12, 特注セミナー「丹波の地層と恐竜」, 京都府立洛北高等学校。(18名)

講師派遣

2016.10, 「楊津小学校周辺の地層と化石」, 猪名川町立楊津小学校5・6年生

2016.11, 「明親小学校の石ころの化石」, 神戸市立明親小学校6年生

2017.2, 「西紀中学校周辺の地層と化石」, 篠山市立西紀中学校2年生

■展示

2016.7-2016., 第30回特別展「丹波の恐竜となかまたち」。責任者

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 2回, 30名。

■行政等支援

相談・指導助言

電話・FAX相談6件, メール相談2件。

三枝 春生 SAEGUSA, Haruo

自然・環境評価研究部
地球科学研究グループ
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学部門
准教授.

昭和 33 年東京生. 理学博士. 日本古生物学会, 日本地質学会, 日本人類学会, Society of Vertebrate Paleontology, 化石研究会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 事業推進部門 研究シンクタンク推進室

新着論文コーナー, 研究員展担当

2. プロジェクト

地学系収蔵庫の資料整理の推進. 分担者.

恐竜特色化推進プロジェクト. 分担者.

文科省博物館ネットワークにおけるレガシー事業. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 後期新生代の長鼻類の系統進化に関する研究
2. 恐竜を中心とした兵庫県産出の脊椎動物化石

■その他著作

◎三枝春生, 小川英樹, 小野慎二, 西川巖 (2016) 丹波竜 (*Tambatitanis amicitiae*) の全身骨格復元模型の作成—恐竜を生かした町づくり—. 第 35 回研究大会, 展示学会研究発表梗概集.

◎Saegusa, H., Tanaka, K., Ikeda, T., Zelenitsky, D. (2016) Dinosaur eggs and associated vertebrate remains from the Lower Cretaceous Sasayama Group of Hyogo Prefecture, Japan. Abstracts with Programs The 2016 Annual Meeting The Palaeontological Society of Japan

◎三枝春生・池田忠広 (2016) *Tambatitanis amicitiae* の骨格復元. 日本古生物学会 2016 年年会講演予稿集, 31 p

◎三枝春生 (2016) 「発見 10 周年でよみがえる丹波竜」, ひとくは通信 (ハーモニー) 93 号

◎三枝春生 (2016) 「日本の竜脚類〜トバリユウのなかまたち〜」中川良平・津村善博 (編) 大変動の地〜三重の三億年・変動に生きた巨大生物たち」, 24-30. 三重県総合博物館.

◎Saegusa, H., Ikeda, T. (2016) Some peculiar features of *Tambatitanis amicitiae* (Sauropoda, Titanosauriforms) revealed by virtual skeletal reconstruction. Abstracts of Papers, 76th Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology.

■研究発表

◎三枝春生, 小川英樹, 小野慎二, 西川巖 (2016) 丹波竜 (*Tambatitanis amicitiae*) の全身骨格復元模型の作成—恐竜を生かした町づくり—. 第 35

回研究大会, 展示学会, 京都造形芸術大学, 京都市.

◎Saegusa, H., Tanaka, K., Ikeda, T., Zelenitsky, D., (2016)

Dinosaur eggs and associated vertebrate remains from the Lower Cretaceous Sasayama Group of Hyogo Prefecture, Japan. 2016 年年会, 日本古生物学会, 福井県立大学, 福井市.

◎三枝春生・池田忠広 (2016) *Tambatitanis amicitiae* の骨格復元. 2016 年年会, 日本古生物学会, 福井県立大学, 福井市.

◎池田忠広・太田英利・松井正文・三枝春生・半田久美子 (2016) 兵庫県の下部白亜系篠山層群から発見され, 最近, 新属新種として記載されたカエル類化石の特徴と意義について. 2016 年年会, 日本古生物学会, 福井県立大学, 福井市.

三枝春生 (2016) ゾウ科の起源とアフリカ・アジアの後期中新世長鼻類の進化. 第 32 回日本霊長類学会自由集会, 鹿児島大学, 鹿児島市.

◎Saegusa, H., Ikeda, T. (2016) Some peculiar features of *Tambatitanis amicitiae* (Sauropoda, Titanosauriforms) revealed by virtual skeletal reconstruction. 76th Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology, ソルトレークシティ, アメリカ合衆国.

■助成を受けた研究

竜脚類恐竜 *Tambatitanis amicitiae* の研究. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代表者 (金額 180 万円/360 万円).

■海外調査

2017.2, タイ・カラシン

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016.4- 2017.3, 篠山層群産脊椎動物化石, 丹波市・篠山市.

2017.2, 和泉層群産脊椎動物化石, 洲本市

■整理同定担当資料

脊椎動物化石 (哺乳類, 恐竜類).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎三枝春生, 2016.4- 2017.3, オープンセミナー「解説! 丹波の恐竜化石」, 博物館. (全 3 回, 112 名)
三枝春生, 2016.4, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」, 追手門学院小学校 5 年生, 博物館. (147 名)
三枝春生, 2016.5, 特注セミナー「哺乳類の進化」武庫川女子大付属中, 博物館. (35 名)
三枝春生, 2016.6, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」, 神戸シルバーカレッジ, 博物館. (70 名)
三枝春生, 2016.7, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」, 兵庫教育大学, 博物館. (28 名)
三枝春生, 2016.7, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」, 大阪教育大学附属高校天王寺校舎高校 1・2 年生,

博物館。(40名)

三枝春生, 2016.8, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」,
奈良県立青翔中学校・高等学校, 博物館。(45名)

三枝春生, 2016.8, 一般セミナー「丹波竜発見十周年記念セミナー—3Dモデリングによるタンパティタニスの骨格復元」, 博物館。(16名)

三枝春生, 2016.12, 「骨格3Dモデルから見た丹波竜の生態」, 丹波竜フェスタ2016 恐竜の生活を探る!, やまなみホール, 丹波市・県立大等との共催(x名)

三枝春生, 2016.12, 特注セミナー「収蔵庫見学」,
愛知教育大学, 博物館。(7名)

三枝春生, 2017.3, 特注セミナー「石を割って白亜紀の化石をみつけよう」, こうみん未来塾, 博物館。(12名)

館外講演

三枝春生, 2016.7, 「日本の竜脚類～トバリユウのなかまたち～」, 三重県立博物館(40名)

三枝春生, 2016.9, 「化石を見つける方法」, トンネル石研修会, 丹波県民局, 県立並木道中央公園(20名)

三枝春生, 2016.10, 「トバリユウのなかまたち」, 鳥羽恐竜研究振興会, 鳥羽商工会議所かもめホール, 鳥羽市(60名)

三枝春生, 2016.10, 兵庫県阪神シニアカレッジ講座, 「恐竜から鳥への進化」「哺乳類の進化」, 阪神シニアカレッジ宝塚学習室(2回シリーズ, 125名)。

兵庫県立大学・大学院教育

人と自然の共生(分担)

共生博物学(分担)

テレビ・ラジオ等出演

2016.8.13, 「ザ・プレミアム・知られざる恐竜王国ニッポン」, BSプレミアム, NHK

2016.12, 「丹波竜フェスタ」, たんばコミュニティFM

2017.1.3, 「ザ・プレミアム・知られざる恐竜王国ニッポン」, BSプレミアム, NHK(再放送)

2017.1.15, 「初めて見た! 日本の巨大恐竜」, ダーウィンが来た, NHK

2017.1.16, 「「大人に楽しんでほしい兵庫の恐竜, 三上公也の情報アサイチ!」, ラジオ関西

■共催・協力・後援事業

2016.11, 「太古の神戸アミノドン」, イオンモール株式会社, イオンモール神戸北。共催/主担当。

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

篠山層群をしらべる会 主担当

ラボーンズ 副担当

兵庫古生物研究会 副担当

地域研究員「藤本艶彦氏」主担当

地域研究員「小西逸雄氏」主担当

■展示

2015.7-8, 特別企画展示「丹波竜展」, 分担者

2016.11, 原始的サイの化石アミノドン展「太古の神戸アミノドンの森」, イオンモール神戸北, 神戸市北区, 責任者

2017.2-4, ひとはく研究員展「ひとはくの研究の今」, 責任者

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫の案内, 1回, 7名(愛知教育大学)。

■行政等支援

委員会等(計4件)

2016.4-2017.3, 篠山市脊椎動物化石保護・活用委員会, 委員, 篠山市教育委員会。

2016.4-2017.3, 生物多様性ひょうご戦略推進委員会, 委員, 兵庫県自然環境課。

2016.4-2017.3, 丹波市恐竜をいかしたまちづくり協議会, 委員, 丹波市。

2016.4-2016.3, 化石産状モニュメント製作設置業務委託に係る評価委員会, 委員, 丹波市

相談・指導助言

来訪者32件, 42名。電話・FAX相談15件, メール相談101件。

2016.4-2017.3, NHK エンタープライズ, 取材協力

2016.4-2017.3, 日展, 丹波市ちーたんの館展示制作監修

半田 久美子 HANDA, Kumiko

自然・環境評価研究部

地球科学研究グループ／企画調整室

主任研究員

昭和 45 年栃木県生. 大阪市立大学大学院理学研究科前期博士課程修了. 理学修士. 日本植生史学会, 日本花粉学会, 日本第四紀学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 事業推進部門 生涯学習推進室

室長

2. プロジェクト

地学系収蔵庫の資料整理の推進. 代表者.

恐竜特色化推進プロジェクト. 分担者.

ゆめはくプロジェクト. 分担者.

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 新生代における植生・植物相の変遷史

2. 花粉の形態分類学的研究

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016.9-10 神戸市, 朝来市

■整理同定担当資料

植物化石, 無脊椎動物化石ほか

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

半田久美子, 2016.6, 一般セミナー「顕微鏡で花粉化石を調べる」, 博物館.

◎ 半田久美子, 2016.5, オープンセミナー「化石を見てみようさわってみよう」, 博物館.

◎ 半田久美子・フロアスタッフ, 2016.5, ひとつはく探検隊「木の花をさがしにいこう!」, 博物館.

◎ 古谷 裕・半田久美子, 2016.5, 一般セミナー「石ころからみつけよう! ちいさな化石」, 博物館.

◎ 古谷 裕・半田久美子, 2016.7, 一般セミナー「石ころを調べてみよう」, 博物館

◎ 半田久美子, 2016.7, 一般セミナー「メタセコイア観察会」, 博物館.

◎ 菊池直樹・半田久美子, 2016.7, 一般セミナー「木の葉石割り ～塩原の化石をさがそう～」, 博物館.

◎ 半田久美子, 2016.8, オープンセミナー「化石を見てみようさわってみよう」, 博物館. (3回)

半田久美子, 2016.9, オープンセミナー「植物の化石を見てみよう」, 博物館.

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2016.4-5, 花と緑のフェスティバル 2016 「ひとつはく

キャラバン」むしむしみつけ・丹波の恐竜化石ほか, 上坂部小学校児童ホーム, 尼崎市上坂部西公園, 主担当.

2016.4-5, あいな里山公園オープニングフェスタ「ひとつはくキャラバン」ひょうごとあいなの昆虫・あいな化石さわられる化石, あいな里山公園, 国営明石海峡公園神戸地区, 主担当.

2016.9, 小さな学校キャラバン, 越知谷小学校, 神戸町, 主担当

2016.10, 小さな学校キャラバン, 大島小学校, 猪名川町, 主担当

2016.10, 館長キッズキャラバン, 聖ミカエル幼稚園, 神戸市兵庫区, 分担者.

2016.10, ひとつはくキャラバン, 但馬文教府まるごと体感リレーイベント「科学する但馬の子どものつどい」, 但馬文教府, 豊岡市, 主担当.

2016.11, 学校キャラバン, 北はりま特別支援学校, 多可郡多可町, 分担者.

2017.1, 小さな学校キャラバン, 大蔵小学校, 朝来町, 主担当

■学校教育支援

トライやるウィーク

2016.6, 上野台中学校 1 名, けやき台中学校 1 名, 狭間中学校 2 名. とりまとめ担当.

2016.8, 県庁インターンシップ, 3 名.

学校団体対応

2016.8, 「花粉を観察しよう」, 和歌山県立海南高等学校 2 年生, 14 名.

2016.11, 「丹波の恐竜化石と植物化石」, 尼崎市立わかば西小学校 5 年生, 91 名.

2016.12, 「丹波の恐竜化石と植物化石」, 神戸市立桃山台中学校 1 年生, 151 名.

講師派遣

2016.6, 「丹波の恐竜化石」, 講師, 宝塚市立高司小学校 5 年生, 37 名.

2016.10, 「富士が丘で化石を発見～3,800 万年前の足あと～」, 講師, こうみん未来塾オープニングイベント, 三田市多世代活躍支援課, 弥生小学校体育館, 100 名.

2016.11, 「丹波の恐竜と植物化石」, 講師 (オープンスクール), 西宮市立上が原小学校 6 年生, 200 名.

■展示

2016.5-7, 企画展「あじさい物語-あじさい鉢物展」, 神戸市立森林植物園, 資料貸出.

2016.7-8, 丹波の恐竜化石発見 10 周年記念「丹波竜展」, 分担者.

2016.7-8, 「丹波竜となかまたち」, 赤穂市立海洋科学館, 分担者.

2016.11, 原始的サイの化石アミノドン展「太古の神戸アミノドンの森」, イオンモール神戸北, 神戸市北区, 分担者.

2016.11-12, 「日本文化を育んだ自然」, 自然史レガシ

一継承・発信実行委員会, 花洛庵, 京都市中京区,
分担者.

2017.2-4, ひとはく研究員展「ひとはくの研究の今」,
分担者

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計1件)

2016.11-2017.3 但馬牛博物館展示検討会

相談・指導助言

来訪者 10 件, 30 名. 電話・FAX 相談 20 件, メール相談 5 件.

池田 忠広 IKEDA, Tadahiro

自然・環境評価研究部
地球科学研究グループ
研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 特任助教。
昭和 53 年鹿児島県生。鹿児島大学大学院理工学研究科
博士後期課程修了。理学博士。日本古生物学会，日本爬
虫両生類学会， Society of Vertebrate Paleontology 等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 企画・調整室

重要施策事業案作成，月例報告会の運営等

2. 研究開発部門

紀要編集担当

3. プロジェクト

文科省博物館ネットワークにおけるレガシー事業。分
担者

恐竜特色化推進プロジェクト。分担者

共生のひろば。分担者

地学系収蔵庫の資料整理の推進。分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 下部白亜系篠山層群産小型両生爬虫類化石の分類学的研究
2. 日本および琉球列島産蛇類椎骨化石の分類学的研究
3. 大分県鮮新統津房川層産無尾類化石の分類学的研究

■論文・著書

Ikeda T., Otsuka, H., and Ota, H. (2016) Early Pleistocene fossil snakes (Reptilia: Squamata) from Okinawajima Island in the Ryukyu Archipelago, southwestern Japan. *Herpetological Monographs* 30, 143-156.

■その他著作

池田忠広・太田英利・松井正文・三枝春生・半田久美子 (2016) 兵庫県の下部白亜系篠山層群から発見され，最近，新属新種として記載されたカエル類化石の特徴と意義について。日本古生物学会 2016 年年会講演予稿集，29 p.

Saegusa, H., Tanaka, K., Ikeda, T., Zelenitsky, D. (2016) Dinosaur eggs and associated vertebrate remains from the Lower Cretaceous Sasayama Group of Hyogo Prefecture, Japan. Abstracts with Programs The 2016 Annual Meeting The Palaeontological Society of Japan.

三枝春生・池田忠広 (2016) *Tambatitanis amicitiae* の骨格復元。日本古生物学会 2016 年年会講演予稿集，31 p.

Saegusa, H. and Ikeda, T. (2016) Some peculiar features of *Tambatitanis amixitiae* (Sauropoda,

Titanosauriforms) revealed by Virtual Skeletal Reconstruction. *Journal of Vertebrate Paleontology, Program and Abstracts* 2016: 216.

池田忠広 (2016) よみがえる丹波竜の世界ー市民参加による発掘・研究，そしてまちづくりー。自然史学連合講演会 ひろがる自然史，5 p.

■研究発表

池田忠広・太田英利・松井正文・三枝春生・半田久美子 (2016) 兵庫県の下部白亜系篠山層群から発見され，最近，新属新種として記載されたカエル類化石の特徴と意義について。日本古生物学会 2016 年年会，福井県立大学，福井県 (6 月)

Saegusa, H., Tanaka, K., Ikeda, T., Zelenitsky, D. (2016) Dinosaur eggs and associated vertebrate remains from the Lower Cretaceous Sasayama Group of Hyogo Prefecture, Japan. 日本古生物学会 2016 年年会，福井県立大学，福井県 (6 月)

三枝春生・池田忠広 (2016) *Tambatitanis amicitiae* の骨格復元。日本古生物学会 2016 年年会，福井県立大学，福井県 (6 月)

Saegusa, H. and Ikeda, T. (2016) Some peculiar features of *Tambatitanis amixitiae* (Sauropoda, Titanosauriforms) revealed by Virtual Skeletal Reconstruction. 74th Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology, Grand America Hotel, Salt Lake City, Utah, USA.

太田英利・池田忠広・高橋亮雄 (2016) 琉球列島の更新統から産出する有鱗爬虫類化石について。日本爬虫両棲類学会 55 回年会，琉球大学，沖縄県 (11 月)

■助成を受けた研究

竜脚類恐竜 *Tambatitanis amicitiae* の研究。文部科学省科学研究費基盤研究(C)。分担者 (2016 年度 20 万円／総額 360 万円)

下部白亜系篠山層群 (日本) 及び阜新層 (中国) 産トカゲ類化石を対象とした分類学及び古生物地理学的研究。兵庫県立大学学部局特殊化推進費。代表者 (金額 16 万円)

■海外調査

2016. 10, 中国 北京市，阜新市

2016. 11, 台湾 台中市，高雄市

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016.12, 動物化石。丹波市山南町

■整理同定担当資料

脊椎動物化石 (小型爬虫両生類)

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

池田忠広，2016. 5，一般セミナー「恐竜時代のトカゲたち」，博物館。(3名)

池田忠広, 2016. 6, 一般セミナー「恐竜時代のカエルたち」, 博物館. (12名)

池田忠広・ラボーンズ, 2016. 8, 教職員・指導者セミナー「丹波の恐竜化石と小動物化石」, 博物館. (15名)

池田忠広・ラボーンズ, 2016. 8, 一般セミナー「恐竜化石展示解説と石割化石調査会」, 博物館. (21名)

◎池田忠広, 2016. 4-8, オープンセミナー「解説! 丹波の恐竜化石」, 博物館. (3回76名)

◎池田忠広・博物館実習生, 2016. 8, オープンセミナー「展示解説と化石のレプリカ作り」, 新丹波竜化石工房. (1回120名)

◎池田忠広, 2016. 8, オープンセミナー「展示解説」, 国営明石海峡公園. (2回94名)

池田忠広, 2016. 5-10, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」, 博物館. (2回21名)

池田忠広, 2016. 7-8, 特注セミナー「恐竜についても学ぼう」, 博物館. (2回80名)

池田忠広, 2016. 7, 特注セミナー「恐竜時代のカエルと・トカゲたち」, 博物館. (1回28名)

池田忠広, 2016. 8, 特注セミナー「恐竜と化石の話と展示解説」, 博物館. (1回32名)

館外講演

池田忠広, 2016. 5-2017. 3, 「化石のクリーニングセミナー&丹波竜化石発掘体験道場」, 丹波市, 丹波竜化石工房. (6回, 165名)

池田忠広, 2016. 6-8, 「丹波の恐竜化石」, 丹波市, 丹波竜化石工房. (2回, 56名)

池田忠広, 2016. 6, 「下部白亜系篠山層群から発見された卵化石について」, 丹波市, 丹波竜化石工房. (30名)

池田忠広, 2016. 7, 「篠山層群から産出したカエル・トカゲ類化石について」, 大阪府, 大阪自然史博物館. (100名)

池田忠広, 2016. 7, 「恐竜について学ぼう」, 兵庫県, 伊丹市立こども文化科学館. (60名)

池田忠広, 2016. 8, 「丹波の恐竜と小さな生き物たち」, 大阪府, キッズプラザ大阪. (45名)

池田忠広, 2016. 8, 「琉球列島のへび類の起源」, 鹿児島県, 奄美市立博物館. (60名)

池田忠広, 2016. 9, 「篠山層群の脊椎動物化石」, 兵庫県, 三田市生涯学習センター. (50名)

池田忠広, 2016. 10, 「恐竜とともに生きた小さな生き物たち」, 兵庫県, 並木道中央公園. (30名)

池田忠広, 2016. 10, 「篠山層群の化石群: 恐竜とともに生きたカエル・トカゲ——滅びたものたち, 生き残ったものたち」, 兵庫県, 兵庫県民会館. (150名)

池田忠広, 2016. 10, 「恐竜について勉強しよう」, 兵庫県, 並木道中央公園. (15名)

池田忠広, 2016. 10, 「篠山層群で発見された太古の生物たち」, 兵庫県, 並木道中央公園. (50名)

池田忠広, 2016. 10, 「よみがえる丹波竜の世界」, 群馬県, 群馬自然史博物館. (20名)

テレビ・ラジオ等出演

2016. 12, 「丹波竜フェスタ」, たんばコミュニティFM

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2016. 3, 「ふるさとミュージアムプロジェクト」, うずしお科学, 淡路市. 分担者

■共催・協力・後援事業

2016.4-2017.3, 丹波竜化石工房 化石クリーニング&発掘体験セミナー, 丹波竜化石工房, 丹波市. 協力/主担当

2016.3-2016.5, 世界初! ティラノサウルス大解剖 恐竜大発見展, ナガシマスパーランド, 三重県. 協力/主担当

2016.7-2016.9, 恐竜にあいむこころ〜恐竜時代〜, 伊丹市立こども文化科学館, 兵庫県. 協力/主担当

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

ラボーンズ, 主担当 (指導・協働)

篠山層群をしらべる会, 副担当 (指導)

常岡芳朗, 主担当 (指導)

松原裕美, 主担当 (指導)

吉竹久男, 副担当 (指導)

横内悦実, 副担当 (指導)

松原薫, 副担当 (指導)

村上鷹夫, 副担当 (指導)

村上茂, 副担当 (指導)

友井幹雄, 副担当 (指導)

友井芳郎, 副担当 (指導)

鈴木正太郎, 副担当 (指導)

荒木幸枝, 副担当 (指導)

大江孝治, 副担当 (指導)

大野智正, 副担当 (指導)

酒井将瑞, 副担当 (指導)

中塚達子, 副担当 (指導)

中西一郎, 副担当 (指導)

吉竹恵子, 副担当 (指導)

■研修生等の受入

博物館実習

2016. 8, 滋賀県立大学1名.

2016. 8, 神戸学院大学1名.

2016. 8, 高知大学1名.

2016. 8, 神戸芸術工科大学1名.

2016. 8, 甲南女子大学1名.

2016. 8, 神戸大学1名.

2016. 8, 広島大学大学院1名.

2016. 8, 筑波大学1名.

2016. 8, 佛教大学1名.

■展示

2015.7-8, 特別企画展示「丹波竜展」. 責任者

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計4件)

2016.4-2016.3, 丹波並木道中央公園円卓会議, 委員,
丹波並木道中央公園.

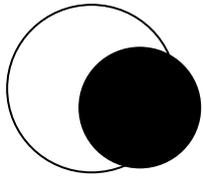
2016.4-2016.3, 並木道祭り, 委員, 丹波並木道祭り
実行委員会.

2016.4-2016.3, 丹波市恐竜をいかしたまちづくり協
議会, 委員, 丹波市.

2016.4-2016.3, 化石産状モニュメント製作設置業務
委託に係る評価委員会, 委員, 丹波市.

相談・指導助言

来訪者2件, 10名. 電話・FAX相談20件, メール相
談30件.



個人別成果報告に関する資料

No. 3

●自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ/
昆虫共生系研究グループ

秋山 弘之 AKIYAMA, Hiroyuki

自然・環境評価研究部
森林・研究グループ 主任研究員
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類部門
准教授。

昭和31年大阪府生。京都大学大学院理学研究科
博士課程修了。理学博士。日本植物分類学会，日本蘚
苔類学会，米国蘚苔類学会，英国蘚苔類学会，国際蘚
苔類研究者連合等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. プロジェクト

国際交流事業（花博協会との共同による「高校生
のための生きもの調査体験ツアーin台湾」ひとはく
側代表者

2. 個人プロジェクト

博物館にすでに収蔵されているが，データベースに
まだ登録されていない隠花植物（菌類，コケ植物）
の登録の推進。代表者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 近畿地方における絶滅危惧蘚苔類の調査
2. 東南アジア産蘚類の分類学的・植物地理学的
研究
3. 西南日本の蘚類相の研究

■論文・著書

Akiyama, H., A. Schaefer-Verwimp, N. Printarakul, M.
Suleiman, B. C. Tan, B. Goffinet, K. T. Yong & F.
Mueller (2016) Phylogenetic study of the genus
Aptychella (Pylaisiadelphaceae, Musci). *Bryologist*
118(3): 273-283.

Akiyama, H. (2016) A re-examination of the identities
of *Forsstroemia japonica* (Besch.) Paris and
Pseudopterobryum tenuispes Broth. (Neckeraceae,
Musci). *Bryological Research* 11(6): 157-166.

Akiyama, H. (2016) *Aptychella touwii*
(Pylaisiadelphaceae, Musci) sp. nov. from New
Guinea with singly costate leaves. *Bryological
Research* 11(6): 167-171.

Akiyama, H. & J. Enroth (2016) Sporophytes newly
found for *Taiwanobryum guangdongense*
(Neckeraceae, Bryophyta) from Taiwan. *Bryophyte*

Diversity and Evolution 38(1): 23-26. Akiyama,
Mueller, F. & H. Akiyama (2016) *Aptychella chilensis*
belongs to the Ptychomniaceae and not
Pylaisiadelphaceae based on DNA and
morphological analyses. *Cryptogamie,
Bryologie* 37(3): 251-258.

Shevock, J. R., W.-Z. Ma & H. Akiyama. (2016).

Diversity of the rheophytic condition in bryophytes:
field observations from multiple continents.

Bryophyte Diversity and Evolution 39 (in press).

前田雅子・秋山弘之・芦谷美奈子 (2016) イチョ
ウウキゴケの生活史 1 水田環境における生殖
器官ならびに胞子体の成長の観察. *人と自然* 27:
43-52.

■その他著作

秋山弘之(2016/10)「キッピー山のコケ図鑑」キ
ッピー山の生き物図鑑 22 三田市有馬富士自
然学習センター

秋山弘之 (2016/07) 新・コケ百選 第17回 セ
ンボンゴケ科. *蘚苔類研究* 11(7): 221-226.

秋山弘之(2016/09) 特集 高校生のための生き
物調査体験ツアーin台湾. ひとはく通信ハーモ
ニー94号.

北川尚史 (2017/01) コケの生物学 (研成社) 編
集ならびに補遺・補注の執筆

■研究発表

秋山弘之(2016/8)「東アジア産シダレウニゴケ
Symphodon perrottetii (ウニゴケ科, 蘚類) が
内包する種多様性」日本蘚苔類学会第45回屋
久島大会 (鹿児島県)

秋山弘之 (2017/3) 「日本産オオタマコモチイト
ゴケ (蘚類) は形態的に類似した4種から成り
立つ」日本植物分類学会第16回京都大会 (京
都府)

■学会役員など

日本植物分類学会 学会誌 (和文) 編集委員, 学
会賞選考委員会委員長

日本蘚苔類学会 学会誌編集委員

公益財団法人平岡環境科学研究所 理事

京都府希少野生生物生息地等保全地区検討委員

環境省希少野生動植物保存推進員

International Association of Bryologists, Council

(2012-2016)

■助成を受けた研究

日本学術振興会科学研究費 基盤研究 (C) アジ

ア大陸東縁部列島弧における植物の分布と分化の特異性を探る (代表者) 455万円/208万円

日本学術振興会科学研究費 基盤研究 (A) 東南アジア林冠部植物多様性と地理的生態的な群集分化解明のための広域インベントリー (分担者) 550万円/65万円

■海外調査

2016.12 インドネシア ゲデー・パンガラング国立公園

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016.4-2017.3 蘚苔類 (三田市、宝塚市、西宮市、神戸市、篠山市、香美町、南光町)

2016.8 蘚苔類 (鹿児島県屋久島)

2016.12 蘚苔類 (インドネシア)

■整理同定担当資料

蘚苔類, 大型菌類.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎秋山弘之, 2016.5 コケ植物の観察1 神戸市北区道場 (全1回, 12名)

◎秋山弘之, 2016.5 コケ植物の観察2 京都府南丹市芦生 (全1回, 10名)

◎秋山弘之, 2016.7 きのご観察会 一庫公園 (全1回, 12名)

◎秋山弘之, 2016.10 ハチ北高原秋の自然観察ツアー (全2回, 5名)

◎秋山弘之, 2016.10 秋のキノコ観察1 有馬富士公園 (全1回, 8名)

◎秋山弘之, 2016.10 秋のキノコか観察2 有馬富士公園 (全1回, 9名)

◎秋山弘之, 2016.10 「オープンセミナー 秋のキノコ」博物館 (全1回, 50名)

◎秋山弘之, 2016.11 ひとく探検隊「きのごGETだぜ!」 (全1回, 23名)

◎秋山弘之, 2016.2 「京町屋 坪庭に生きるコケたち」 京都花洛庵 (全1回, 36名)

館外講演

2016.5 「コケ植物の美と多様性」神戸森林植物園

2016.5.24 「苔の不思議 お話と鑑賞会」法然院森の教室

2017.1.13 「コケ植物の多様性と溪流環境」豊田市矢作川研究所

兵庫県立大学・大学院教育

2016.4, 人と自然の共生 (分担)

産学連携・研究推進機構運営委員

■担い手成長支援事業

成果発表

2016..2 共生のひろば 「高校生のための生きもの調査体験ツアーin台湾」活動報告 (口頭・展示)

■学校教育支援

県立大学附属中学校におけるプロジェクト学習を指導 (7名, 合計8回)

講師派遣

2016.10, 「キノコ観察会」青垣いきものふれあいの里

2016.6, 「梅雨のキノコ観察1」シニア自然大学

2016.7, 「梅雨のキノコ観察2」シニア自然大学

2016.6, 「コケ植物の美と多様性」川西市セミナー

2016.6, 「キノコ観察会」有馬富士自然学習センター

2016.7, 「きのご観察会」赤穂市森の子クラブ

■研修生等の受入

2016.04 Dr. Monica Suleiman (マレーシア・サバ州 国立サバ大学サバ分校 准教授) キナバル山蘚類の分類学的研究

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計3件)

2016.4- 環境省絶滅危惧植物 (蘚苔類) 調査担当委員

2016.4- 環境省希少野生動植物保存推進員

2016.4- 京都府レッドデータブック専門委員相談・指導助言

高野 温子, Atsuko TAKANO

自然・環境評価研究所

森林多様性研究グループ/資料管理室

主任研究員

昭和46年大阪府生. 大阪市立大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本植物分類学会, 米国植物分類学会, 日本植物学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. タスクフォース

レガシー発信・継承事業TF
京都町家実験展示 主担当

2. 研究開発部門

資料管理室 室長
系統分類研究G 資料担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 兵庫県産維管束植物の分類学的研究
2. ショウガ科植物の分類学的研究
3. シソ科植物の分類学的研究

■共同研究

総合共同研究 研究分担者.
共同研究「兵庫の動植物相のさらなる解明」, 研究分担者.

■論文・著書

Yen Yen Sam, Atsuko Takano², Halijah Ibrahim, Eliška Závěská, Fazimah Aziz 2016.
Borneocola (Zingiberaceae), a new genus from Borneo. *Phytokeys* 75: 31-55 doi: 10.3897/phytokeys.75.9837

■その他著作

高野温子. 2017. 京町家を自然史系博物館に～自然史レガシー継承・発信事業の試み～
全科協 第24回研究発表大会 予稿集 83-91.

■研究発表

齋藤彰、布野隆之、三橋弘宗、三原菜美、大賀順平、吹原緑、桑原裕司、高野温子. 2016. 「戦国の匠と自然の匠: 武将を飾った陣羽織の羽の謎にミクロの科学で挑む」 第17回構造色シンポジウム(東京理科大学).

高野温子. 2017. 京町家を自然史系博物館に～自然史レガシー発信・継承事業の試み. 全国科学博物館協議会第24回研究発表大会(京都鉄道博物館)

高野温子. 2017. 日本産アキノタムラソウ亜属(シソ科アキギリ属)の訪花昆虫. 日本植物分類学会第16回大会(京都大学)

■学会役員など

日本植物分類学会, 図書幹事(2015. 1~).

日本植物分類学会, 植物分類学会の将来の発展と普及のための委員会 委員(2016. 1~)

Phytokeys レフェリー 1件

Plant species biology レフェリー 1件

Acta Phytotaxonomica et Geobotanica レフェリー 1件

Taiwania レフェリー 1件

■助成を受けた研究

送粉者を共有する単系統群の進化プロセスの解明. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代表者(金額380万円/100万円). ←(平成28年度分/総額)

■海外調査

オランダ・ライデン

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016. 4 上郡町,
2016. 5 宍粟市, 豊岡市
2016. 6 滋賀県長浜市
2016. 7 三田市, 台湾 東眼山
2016. 9 豊岡市
2016. 10 豊岡市, 京都府宮津市
2017. 2. 沖縄県八重山郡竹富町

■受贈担当資料

小林禧樹植物コレクション	2016	1071点
丸岡道行植物コレクション	2015	319点
中澤博子植物コレクション	2016	160点
矢内正弘植物コレクション	2015	68点
東馬加奈植物コレクション		91点
望月譲治植物コレクション	2016	188点
丸岡道行植物コレクション	2016	406点
矢内正弘植物コレクション	2016	122点
中澤博子植物コレクション	2017	78点

■整理同定担当資料

維管束植物

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎高野温子, 2016. 5, 「神鍋高原植物ハイキング 春の花」, 豊岡市, (全1回, 8名)

◎高野温子, 2016. 8, 「花を大きくしてみると?」, 博物館(全1回, 1 28名)

◎高野温子, 2016. 9, 「神鍋高原植物ハイキング 秋の花」, 豊岡市, (全1回, 10名)

◎高野温子, 2016. 9, 「神鍋高原植物ハイキング 秋の花」, 豊岡市, (全1回, 13名)

◎高野温子, フロアスタッフ 2016. 10, 「ドングリ拾いに行こう!」, 博物館, (全1回, 22名)

館外講演

高橋晃・高野温子, 2016. 10, 藤原ナチュラルヒストリー財団 神戸シンポジウム「ナチュラルヒストリー」播磨の絶滅危惧種オチフジの秘められた生活史 (招待講演) (150名)

■連携事業

共催事業

2016. 7. 23-30. 高校生のための生き物調査体験ツアー in 台湾 (日本人生徒 20名、台湾人生徒 18名) 引率スタッフ

協力事業

2016, 7-8. 「昆虫展」琴弓浜鳴き砂文化館 (展示協力)
2016, 7-9 「ワクワクふしぎ生物ワンダーワールド」宮崎県立総合博物館 (展示協力)

■担い手育成支援事業

小豆むつ子

■学校教育支援

トライやるウィーク

2016. 5. 24-28. 宝塚市立西谷中学校 2名、西宮市立塩瀬中学校 2名
2016. 11. 9-10. 神戸大学発達科学部附属中学校 2名、有野中学校 2名、有野北中学校 2名、北神戸中学校

学校団体対応

2016. 4, 宝塚北高校 DNA 抽出実験 (40名)
2016. 8, 安田女子中学高等学校 DNA 抽出実験 (32名)
2016. 9, 尼崎市立成徳小学校 クイズ兵庫の植物 (60名)
2016. 10, 香美町立村岡小学校 クイズ兵庫の植物 (115名)
2016. 10, 西脇市教育委員会 英語で展示解説 (16名)
2016. 11, 神戸市立東落合小学校 クイズ兵庫の植物 (54名)
2016. 11, 三木市立志染小学校 クイズ兵庫の植物 (5名)

■展示

2016. 11. 19-12. 4 企画展「日本の文化を支えた自然」京都府京都市中京区 花洛庵 (主担当)
2016. 5. 14-2016. 6. 12, ミニ企画展「館野鴻 (たてのひろし) 絵本「つちはんみょう」展 (協力者).

2. シンクタンク事業

■受託研究

文部科学省委託事業「博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業」(副担当)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 2回, 24名. (三木市高齢者大学2年, 兵庫県教育研修所)

■行政等支援

委員会等 (計3件)

2013. 10- 兵庫県生物多様性アドバイザー.
2015. 7- 希少野生動植物種保存推進員 (環境省)
2015. 11- 神鍋山野草の会 花の編集委員会 委員

相談・指導助言

来訪者 3件, 3名. メール相談 15件.
神鍋高原の山野草を愛でる会 活動助言

太田 英利 Ota, Hidetoshi

自然・環境評価研究部 昆虫共生研究グループ
主任研究員
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門
教授.

昭和 34 年愛知県生. 京都大学大学院理学研究科修士課程修了. 博士 (理学). 日本爬虫両棲類学会, 日本動物学会, 動物分類学会, 日本生物地理学会, 日本動物行動学会, 沖縄生物学会, American Society of Ichthyologists and Herpetologists, Biological Society of Washington, British Herpetological Society, Herpetologists' League, Linnean Society of London, Societas Europaea Herpetologica, Society for the Study of Amphibians and Reptiles 等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. プロジェクト

恐竜特色化推進プロジェクト (研究機能強化担当サブリーダー)

国際交流事業 高校生のための生き物体験ツアー in 台湾 (分担)

博物館研究紀要「人と自然 Humans and Nature」の編集発行 (分担) ほか

2. 個人プロジェクト

琉球列島を中心とした熱帯～温帯アジアの爬虫・両生類相の多様性と自然史に関する研究 (代表)

ブータンの爬虫・両生類の多様性に関する調査研究 (代表)

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. アジア・オセアニアの熱帯・亜熱帯島嶼に見られる爬虫・両生類の系統分類と生物地理
2. 東アジアにおけるスッポン類の遺伝的多様性と遺伝地理構造の解明
3. 爬虫類を中心とした四足動物における分子を指標とした系統関係の推定
4. 琉球列島を中心とした日本産爬虫・両生類の自然史
5. わが国における外来種の在来生物相へのインパクトとその防除
6. ブータンの爬虫・両生類相に関する研究

■共同研究

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」, 研究分担者.

■論文・著書

Danaisawadi, P., T. Asami, H. Ota, C. Sutcharit, and S. Panha (2016) A snail-eating snake recognizes prey

handedness. Scientific Reports 6: 23832, doi: 10.1038/srep23832

Danaisawadi, P., T. Asami, H. Ota, C. Sutcharit, and S. Panha (2016) Predatory behavior of the snail-eating snake *Pareas carinatus* (Boie, 1828) (Squamata: Pareidae): An ethogram study. Tropical Natural History 16(1): 21-31.

Yoshikawa, S., M. Mimura, S. Watanabe, L.-K. Lin, H. Ota, and Y. Mizoguchi (2016) Historical relationships among wild boar populations of the Ryukyu Archipelago and other Eurasian regions, as inferred from mitochondrial cytochrome *b* gene sequences. Zoological Science 33: 520-526.

Ikeda, T., H. Otsuka, and H. Ota (2016) Early Pleistocene fossil snakes (Reptilia: Squamata) from Okinawajima Island in the Ryukyu Archipelago, southwestern Japan. Herpetological Monographs 30: 143-156.

Hasegawa, H. and H. Ota (2017) Parasitic helminths found from *Polyedates leucomystax* (Amphibia: Rhacophoridae) on Miyakojima Island, Ryukyu Archipelago, Japan. Current Herpetology 36(1): 1-10.

Kaito, T., H. Ota, and M. Toda (2017) The evolutionary history and taxonomic reevaluation of the Japanese coral snake, *Sinomicrurus japonicus* (Serpentes, Elapidae), endemic to the Ryukyu Archipelago, Japan, by use of molecular and morphological analyses. Journal of Zoological Systematics and Evolutionary Research 55(2) 156-166.

太田英利 (2017) 単為生殖の爬虫類. 174-187 頁. 松井正文 (編), これからの爬虫類学. 裳華房, 東京.

太田英利・当山昌直 (2017) 爬虫類の保全. 100-114 頁. 松井正文 (編), これからの爬虫類学. 裳華房, 東京.

太田英利 (2017) 薩南諸島の外来種問題: 爬虫類・両生類の視点から. 190-205 頁. 坂巻祥孝 (編), 奄美群島の外来生物. 南方新社, 鹿児島.

■その他著作

太田英利 (2016) ヌマガエル: 北上する“小さな猛獣”. Green Age 2016(8): 41-43.

岩本俊孝・太田英利・那須哲夫・森田哲夫・末吉豊文・星野一三雄・石橋葵・武市知美・加藤悟郎・河野慎也・貴島靖仁・斉藤政美 (2016) 日南市の国内外来種オキナワキノボリトカゲの分布及び繁殖状況についての報告. 宮崎の自然と環境 (1): 36-46.

富永篤・松井正文・江頭幸士郎・太田英利 (2016) 広域分布種リュウキュウガジカガエルの種内系統とその遺伝的分化. 九州両生爬虫類研究会誌 (7): 53-56.

太田英利 (2017) 公式にはほとんど接点のなかつ

た私を、折に降り鍛えてくださった伊藤嘉昭さん. 177-188 頁. 辻和希 (編), 生態学者 伊藤嘉昭伝: もっとも基礎的なことがもっとも役に立つ. 海游舎, 東京.

■研究発表

池田忠広・太田英利・松井正文・三枝春生・半田久美子 (2016) 兵庫県の下部白亜系篠山層群から発見され, 最近, 新属新種として記載されたカエル類化石の特徴と意義について. 日本古生物学会 2016 年年会. 福井県立大学, 勝山.

Hidetoshi Ota (2016) Plenary Lecture: Systematics and biogeography of the East Asian herpetofauna, with emphasis on the recent contributions from the molecular, cytogenetic, and fossil studies. The 8th World Congress of Herpetology. Hangzhou, China.

Hidetoshi Ota (2016) Terrestrial vertebrates as sources of information on the Ryukyu palaeogeography. International Symposium on Geological and paleogeographical evolution of the Ryukyu Islands. 日本大学文理学部東京桜上水キャンパス, 東京.

太田英利・池田忠広・高橋亮雄 (2016) 琉球列島の更新統から産出する有鱗爬虫類化石について. 日本爬虫両棲類学会 55 回大会. 琉球大学法文学部, 西原.

高橋亮雄, 大山盛弘, 大城逸朗, 長谷川善和, 太田英利 (2016) 宮古島ピンザアブ洞穴から発見されたカメ類化石の分類学的位置づけについて. 日本爬虫両棲類学会 55 回大会. 琉球大学法文学部, 西原.

イーシェイ=ワンディ・玉山雅浩・河村功一・太田英利・シンイエ=ウマグモ・テンジン=ワンチュク・サンゲイ=ドルジ・キンレイ=ギエルツェン・ゲム=ツェリン・イーシェイ=ジャムチョ・フルバ=レンダップ・岡安直比 (2016) ミトコンドリア DNA 情報にもとづくブータン南部の爬虫類相概観. 日本爬虫両棲類学会 55 回大会. 琉球大学法文学部, 西原.

高橋亮雄・太田英利 (2017) 沖縄県石垣島の上部更新統から発見されたイタチ類の分類学的位置づけとその動物地理学的意義. 日本古生物学会第 166 回例会. 早稲田大学, 東京.

■学会役員など

日本爬虫両棲類学会, 英文誌編集幹事, 評議員
沖縄生物学会, 学会誌編集委員

日本生物地理学会, 評議員

Asian Herpetological Research Society, 学会誌編集委員

Tropical Natural History, 学術雑誌編集委員

Linnean Society of London, 特別会員 (Fellow [F. L. S.])

Russian Journal of Herpetology, 学術雑誌編集委員

Animal Systematics, Evolution and Diversity, 学術雑誌編集委員

投稿原稿の査読: Asian Herpetological Research, Biological Journal of the Linnean Society, Zoological Journal of the Linnean Society, Molecular Ecology, 人と自然, Journal of Biogeography, Current Herpetology, Herpetological Monographs, Herpetologica, Zoological Studies, ZooKeys, 生物地理学会報等々の投稿原稿について計 22 件

■助成を受けた研究

琉球列島の後期更新世-近代における陸生脊椎動物の個体群消滅および絶滅に関する研究
学研究費基盤研究 (C), 研究分担者 (分担分金額 35 万円/130 万円)

■海外調査

中華民国 (台湾) (2016. 5. 24~2016. 6. 2)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016. 4-7. トカゲ類, ヘビ類, カエル類 (兵庫県内)

2016. 5-6, 10. トカゲ類, ヘビ類. 沖縄県. 台湾

■整理同定担当資料

ウミガメ剥製 (1 点), ワニ剥製 (2 点)

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎太田英利. 2016. 8. 4. 特注セミナー (香川県立観音寺第一高等学校) 「両生類・爬虫類に関する話 / 日本の動物地理」 (特にカエルを中心に) (45 名)

◎太田英利. 2016. 8. 5. 一般セミナー (教職員含む) 「外来種問題の現状対策」, 博物館. (10 名)

◎太田英利, 2016. 11. 5. 一般セミナー「動物の体のつくりと仕組み-両生類」, 博物館. (8 名)

◎太田英利. 2016. 11. 19. 一般セミナー「動物の体のつくりと仕組み-爬虫類」, 博物館 (7 名)

館外講演

◎太田英利. 2016. 5. 14. 生態学実習「福島大池のカメ調べ」. 有馬富士公園, 三田市 (24 名)

◎太田英利. 2016. 6. 4. 館外セミナー「両生類の多様性と保全: 世界, 日本, そして伊丹市」, 伊丹市立図書館「ことばぐら」, 伊丹市 (26 名)

◎太田英利. 2016. 6. 4. カエル観察会「鳴き声を手掛かりにしたカエルの生息状況調査」. 伊丹市, 池尻地区の水田, 河川 (14 名)

- ◎秋山弘之・太田英利・高野温子・山内健生.
2016. 7. 24-30. 高校生のための生き物調査体験ツアーin 台湾. 中華民国台湾, 台北市立動物園, 東眼山自然教育園 (266名)
- ◎太田英利. 2016. 10. 22. 藤原ナチュラルヒストリー財団シンポジウム パネルディスカッション「ナチュラルヒストリー、これまでの貢献と今後への期待」司会. 兵庫県民会館, 神戸市 (170名)
- ◎太田英利. 2017. 2. 18. 伊丹市民マイスター講座「日本の生物多様性 現状・危機要因と対策」. 伊丹市立図書館「ことばぐら」, 伊丹市 (29名)
- ◎太田英利. 2017. 2. 25. 伊丹市民マイスター講座「市民参加型カエル調査の報告会」. 伊丹市立図書館「ことばぐら」, 伊丹市 (41名)
- ◎太田英利. 2017. 3. 4. 薩南諸島の外来種問題「爬虫・両生類の視点から」. 鹿児島県奄美市 (76名)

兵庫県立大学・大学院教育

兵庫県立大学 大学院 環境人間学研究科 共生生物学部門 修士課程大学院生 2名の指導(主指導教員として)

同 大学院講義「系統分類学特論」(受講者、8名)

ラジオ・テレビ等協力

2016. 11. 15 「まるトク ZIP!」(よみうりテレビ), 解説収録(12.6放送)

2017. 3. 2-3. 14 「沖縄やんばる初撮影! 夜の大自然 森の王者を追う」(BSプレミアム), 全篇監修(3.27放送)

■学校教育支援

講師派遣

兵庫県立長田高等学校特色類型国際理解推進部 授業「両生類の多様性と生物地理」2016. 6. 16, 14:00~15:30 受講者 1年生 37名

兵庫県立伊丹高等学校自然科学系(生物) 授業「日本の動物地理」2016. 7. 12, 13:30-15:00 受講者 2年生 41名

■フェスティバル等

「共生の広場」にて審査委員

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内, 3回, のべ約12名.

■行政等支援

委員会等(計15件)

- 1998. 4-1. 絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討委員会 爬虫類・両生類分科会
- 2005. 6-1. 環境省希少野生植物種保存推進員
- 2008. 6-1. 世界自然保護基金日本委員会(WWF ジャパン) 自然保護委員会
- 2012. 6-1. 世界自然保護基金日本委員会(WWF ジャパン) 運営委員会

- 2007. 4-1. 新石垣空港環境モニタリング委員会
- 2007. 4-1. 西表島エコロード検討委員会
- 2006. 1-1. オオヒキガエル防除事業対策会議委員
- 2009. 10-1. 生物多様性ひょうご戦略推進委員会委員
- 2011. 5-1. アベサンショウウオ保護増殖等検討会
- 2012. 5-1. 世界自然遺産指定に向けた琉球・奄美諸島評価検討会
- 2012. 6-1. 兵庫県環境審議会鳥獣部会
- 2013. 6-1. 奄美・琉球世界自然遺産候補地科学委員会
- 2014. 6-1. 鹿児島県外来種対策検討会委員
- 2014. 7-1. 伊丹市昆虫館運営協議会委員
- 2015. 11-1. 神戸市環境影響評価委員会委員

相談・指導助言

来訪者 33件, 79名. 電話・FAX相談 11件, メール相談 38件.

橋本佳明 HASHIMOTO, Yoshiaki

自然・環境評価研究部
昆虫共生系研究グループ
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類部門 准教授

昭和31年大阪府生。神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了、学術博士、日本昆虫学、熱帯生態学会、日本生態学会、国際社会性昆虫学会等所属

<研究部以外の配属室と仕事>

1. タスクフォース

ビジョン実現タスクフォース 副リーダー

2. 研究部門

研究シンクタンク担当

3. プロジェクト

ひとはくの国際交流プロジェクト

館内展示空間のリノベーションと演示プログラムの総合運営

生物多様性創出機構の解明

ひとはくハチ類コレクションプロジェクト

虫の目で見る里山環境プロジェクト

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 膜翅目昆虫（アリ類等）の系統分類学的研究
2. 熱帯雨林生物多様性に関する研究
3. 昆虫を素材にした環境教育システムの研究
4. 共生博物学

■共同研究

部門研究「兵庫県の植物相・昆虫相の解明」、研究分担者。

■論文・著書

橋本佳明(2016) “アリ擬態現象から探る熱帯の生物多様性創出・維持機構”. 日本生態学会誌 66:407 - 412

Yamasaki, T, Y. Hashimoto et al. (2016) A new species of the genus *Castoponera* (Araneae, Corinnidae) from Sarawak, Borneo, with comparison to a related species. *ZooKeys* 596, p13-25

Ohashi, H, Y. Hashimoto et al.,(受理) CO₂ efflux from subterranean nests of ants and termites in a tropical rain forest in Sarawak, Malaysia. *Applied Soil Ecology*.

■その他著作

橋本佳明 (印刷中)「動物学の百科辞典」第11巻「動物の生態」第14章「擬態」丸善出版

■研究発表

橋本佳明 (2016) 「君は僕に似ている？—画像解析手法を用いたアリ擬態の研究」小集会“多次元画像ビッグデータを活用した動物学の展開”日本昆虫学会・応用動物昆虫学会合同大会 大阪府立大学

Yoshiaki HASHIMOTO (2016) “Through the looking-glass: Morphological diversity pattern of ants is reflected in the sympatric ant-mimicking spiders or not?” Symposium: In the Light of Morphometrics: Frontiers in Ecology and Evolution of Insect Morphology, 2016 International Congress of Entomology, Florida, USA.

橋本佳明 (2017) 「アリに似すぎるアリグモの擬態は何のため—アリ擬態ハエトリグモはジャンプできない」第64回日本生態学会大会 早稲田大学 東京

■学会役員など

DIPWA Network for Establishment of Ant Reference Collections (ANeT) 評議委員

PLOS ONE レフェリー, Ecological Research レフェリー Asian myrmecology レフェリー等

2. 資料収集・整理

■受贈担当資料

羽田ハチ類コレクション(3万点)の標本整理・登録業務等実施

■整理同定担当資料

アリ類とアリ擬態クモ類コレクションの画像撮影・整理同定

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

「地球はアリが回している—アリ基礎生態学」3回(ひとはくじゅくりセミナー)

◎生物系収蔵庫ツアー 3回(オープンセミナー)

◎クワガタムシの標本を作ろう 1回(オープンセミナー)

館外講演

兵庫県立赤穂高等学校 「科学探求(特別講座)」熱帯雨林の生物多様性と保全活動

昆虫行動ロボティクス研究会 「ハエトリグモをロボットにする」 八戸工業大学

兵庫県立大学・大学院教育

大学院環境人間学研究科(共生博物部門) 博士前期課程科目「昆虫多様性生物学特論」

兵庫県立大学・大学院教育 共生博物学(分担) 卒論指導等:長濱瑠奈(兵庫県立大学人間環境学部) 卒論研究「画像認識技術によるアリ行動擬態類似の計測」の指導

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

共生のひろば等の事業実施

■共催・協力・後援事業

バリフラワーショー「おもしろ昆虫・植物展」、兵庫県立淡路夢舞台温室奇跡の星の植物館

ラン展、兵庫県立淡路夢舞台温室奇跡の星の植物

館

■学校教育支援

兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習 3 年生 7 回
学校団体対応特注セミナー 猪名川町立白金小学校・加古川東高校等 4 回 実施

■研修生等の受入

長濱瑠奈（兵庫県立大学人間環境学部）卒論研究
「画像認識技術によるアリ行動擬態類似の計測」の指導

■展示

兵庫県とフランスアペロン県国際交流活動報告
展開催
企画展「兵庫の昆虫展」開催

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫公開 6 回.

■行政等支援

委員会等 （計 4 件）

文部科学省 博物館ネットワークによる未来への
レガシー継承・発信事業委員会（シンガポール
自然史博物館調査）
S-Net・GBIF ハチ類生物多様性情報整備事業
National Geographic Society 研究助成金審査員
国際土壤動物学会議国内委員（ICSZ&ICA）

相談・指導助言

テレビ東京「所でナンじゃこりゃ!？」監修指導
電話・FAX 相談 10 件, メール相談 8 件対応等

山内 健生 YAMAUCHI, Takeo

自然・環境評価研究所

昆虫共生研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類部門
准教授.

昭和 51 年広島県生. 九州大学大学院比較社会文化学府
博士後期課程単位取得満期退学. 博士 (学術). 日本衛
生動物学会, 日本昆虫学会, 日本昆虫分類学会, 日本
ダニ学会, 都市有害生物管理学会, 日本ペストロジー
学会, 日本蛾類学会, 日本甲虫学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. タスクフォース

ビジョン実現タスクフォース

2. プロジェクト

国際交流事業 (花博協会との共同による「高校生の
ための生きもの調査体験ツアー in 台湾」ひとはく
側参加者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 感染症媒介動物の生態・分類に関する研究
2. 海産等脚目甲殻類の分類学的研究
3. チョウ目昆虫の分類学的研究
4. 博物学史に関する研究

■論文・著書

伴 光哲・山内健生 (2016) 屋久島の原生的照葉
樹林とスギ人工林におけるナガカメムシ相. 昆
蟲 (ニューシリーズ), 19(2): 41-49.

◎山内健生・有馬知佳 (2016) 西日本で初めて確
認されたクロバネキノコバエ科幼虫の集団行進.
ペストロジー, 31(1): 5-6.

Baba, Y. G., Suguro, T., Naya, N. and Yamauchi, T.
(2016) A gynandromorph of the funnel-web spider
Allagelena opulenta (Araneae: Agelenidae). *Acta*
Arachnologica, 65(1): 11-13.

小松謙之, 仲村 昇, 山内健生 (2016) ツバメト
コジラミによるヒト刺咬例. 衛生動物, 67(4):
223-225.

山内健生・中谷友美 (2016) 富山県における 2010
年以降のマダニ人体刺症 10 例, 特にタカサゴギ
ラマダニ症例に注目して. 衛生動物, 67(4):
239-242.

Saito, N. and Yamauchi, T. (2016) A new species and
new host records of the genus *Elthusia* (Crustacea:
Isopoda: Cymothoidae) from Japan. *Crustacean*
Research, (44): 59-67.

◎山内健生・高見咲恵・廣田編子 (2016) 切手に

描かれた動物の展示, およびその付帯事業の
実践例. 人と自然, 27: 81-87.

山内健生・巽 雅代・福井 歩 (2017) ダルマ
ガレイ科魚類およびアゴハゼの体表に寄生し
ていたウオノエ類の幼体. 東海自然誌, 10:
21-25.

◎山内健生 (2017) マダニ人体刺症とその対策.
pp. 42-55. 招かれない虫たちの話 一虫がもた
らす健康被害と害虫管理 (日本昆虫科学連合
編). 222pp. 東海大学出版会, 東京.

■その他著作

◎山内健生 (2016) 日本産魚類に寄生するウオノ
エ科等脚類. *Cancer*, 25: 113-119.

◎山内健生 (2016) アイ ラブ マダニ. PMP ニ
ュース, 349.

[http://www.hohto.co.jp/pmpnews/pmp349_1/]

山内健生 (2016) とやまの自然と人々と 1 富山
の生物と自然に魅せられた先人たち. 実業之富
山, 71(7): 20-21.

◎山内健生 (2016) ヒトスジシマカの移動距離を
調べる. PMP ニュース, 352.

[<http://www.hohto.co.jp/pmpnews/pmp352/>]

山内健生 (2016) とやまの自然と人々と 2 大塚
外次(1). 実業之富山, 71(9): 22-23.

◎山内健生 (2016) 白布を使ったマダニ採集の方
法. PMP ニュース, 355.

[http://www.hohto.co.jp/pmpnews/355_1/]

山内健生 (2016) とやまの自然と人々と 3 大塚
外次(2). 実業之富山, 71(11): 32-33.

西田昭夫・久後地平・山内健生・原 昌久・西村
登 (2016) 「可児藤吉小伝」の紹介と生地訪問
—可児氏の偉業を後進に語り継ごう—. 水辺の
環, 34: 1-3

山内健生 (2017) とやまの自然と人々と 4 大塚
外次(3). 実業之富山, 72(1): 26-27.

◎山内健生 (2017) 動物の体からマダニを採集す
る方法. PMP ニュース, 358.

[http://www.hohto.co.jp/pmpnews/pmp358_1/]

山内健生 (2017.3.5) とやまの自然と人々と 5
大塚外次(4). 実業之富山, 72(3): 22-23.

◎山内健生 (2017) 台湾の旅を振り返って. p. 8.
2016 年高校生のための生きもの調査体験ツア
ー in 台湾実施報告書 (公益財団法人国際花と緑
の博覧会記念協会・兵庫県立人と自然の博物館
編) 61pp. 公益財団法人国際花と緑の博覧会記
念協会・兵庫県立人と自然の博物館.

■研究発表

Tomomi Sato, Haruhiko Isawa, Ryosuke Fujita,
Kentaro Itokawa, Toshihiko Hayashi, Takeo
Yamauchi, Mamoru Watanabe, Kyo Itoyama and
Kyoko Sawabe (2016) Relationship between Ixodid

tick fauna and its host animals in Kanagawa Prefecture, Japan evaluated by reverse line blot assay. 2016 International Congress of Entomology, Florida.

佐藤智美、伊澤晴彦、渡辺 護、山内健生、糸川健太郎、糸山 享、沢辺京子 (2016) 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の患者発生地で採集されたフタトゲチマダニの吸血動物の特定. 第68回日本衛生動物学会大会, 獨協医科大学, 栃木県下都賀郡壬生町.

小林睦生・前川芳秀・山内健生・楢田龍星・木村俊也・大倉敏裕・四宮博人・前田 健・沢辺京子 (2016) 愛媛県の伊予灘沿岸地域におけるマダニ調査と SFTSV 感染環に関する考察. 第68回日本衛生動物学会大会, 獨協医科大学, 栃木県下都賀郡壬生町.

上村 清・小林 貞・平林公男・青木淳一・山内健生 (2016) 佐々学が新種記載した動物目録について. 第68回日本衛生動物学会大会, 獨協医科大学, 栃木県下都賀郡壬生町.

小松謙之、仲村 昇、山内健生 (2016) ツバメトコジラミ *Oeciacus hirundinis* によるヒト刺咬例. 第68回日本衛生動物学会大会, 獨協医科大学, 栃木県下都賀郡壬生町.

前川芳秀、津田良夫、葛西真治、皆川恵子、数間亨、山内健生、沢辺京子 (2016) 岡山市におけるデング熱媒介蚊の発生状況と防除に関する研究: 幼虫発生源調査 (2015年). 第68回日本衛生動物学会大会, 獨協医科大学, 栃木県下都賀郡壬生町.

津田良夫、前川芳秀、葛西真治、皆川恵子、数間亨、山内健生、沢辺京子 (2016) 岡山市におけるデング熱媒介蚊の発生状況と防除に関する研究: 成虫の生息密度調査 (2015年). 第68回日本衛生動物学会大会, 獨協医科大学, 栃木県下都賀郡壬生町.

伊澤晴彦、藤田龍介、小林大介、江尻寛子、糸川健太郎、山内健生、加藤大智、三條場千寿、小林睦生、佐々木年則、沢辺京子 (2016) 次世代シーケンサーを用いた吸血性節足動物保有ウイルスの迅速・網羅的な同定. 第68回日本衛生動物学会大会, 獨協医科大学, 栃木県下都賀郡壬生町.

山内健生・比嘉由紀子・Arlene Garcia Bertuso・沢辺京子 (2016) フィリピン島のルソン島とミンドロ島における家畜寄生マダニの調査. 第68回日本衛生動物学会大会, 獨協医科大学, 栃木県下都賀郡壬生町.

山内健生 (2016) 島根県安来市出身の寄生虫学者・昆虫学者、岩田正俊 (1897~1997) について. 第71回日本衛生動物学会西日本支部大会,

島根県民会館, 松江市.

上村 清、小林 貞、青木淳一、平林公男、山内健生 (2016) 佐々学が新種記載したユスリカなどの動物目録について. 日本環境動物昆虫学会第28回年次大会, 信州大学繊維学部, 上田市.
山内健生・高見咲恵・廣田編子・高瀬優子・田丸真奈維 (2017) 子供を対象とした蚊の採集と観察に関する実習の実践. 都市有害生物管理学会第38回大会, 慶應義塾大学三田キャンパス, 東京.

■学会役員など

日本衛生動物学会, 常任幹事 (学会誌編集長), 編集委員, 情報委員.

日本衛生動物学会西日本支部, 幹事.

都市有害生物管理学会, 評議員, 編集委員.

日本昆虫分類学会, 評議員.

投稿原稿の査読: *Helminthologia*, *Crustacean*

Research, *Medical Entomology and Zoology*, 都市有害生物管理, 東海自然誌.

■助成を受けた研究

形態と遺伝子に基づく魚類寄生虫ウオノエ科の分類と幼生期形態の解明. 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) (若手研究(B)). 代表者 (2016年度 80万円/総額 320万円)

東南アジアにおける吸血節足動物媒介性ウイルスの網羅的探索とリスクマップ作製. 文部科学省科学研究費基盤研究(B)(海外学術調査). 分担者 (2016年度 59万円/総額 1,183万円)

新興・再興感染症を媒介する節足動物の対策に関する研究. 日本医療研究開発機構研究費 (新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業). 分担者 (2016年度 160万円/総額 840万円)

■海外調査

2016.7, 台湾・台北

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016.4-2017.2, マダニ類. 豊岡市, 篠山市, 大洲市, 松山市, 広島市.

2016.6-9, 蚊類. 岡山市.

■受贈担当資料

2016.6, 昆虫類 (米津晃氏コレクション). 6点.

2016.9, 昆虫類 (鈴村勝彦氏コレクション). 2点.

2016.9, 岩田正俊氏業績集 第1編 (水棲昆虫). 1点.

2016.11, 昆虫類 (馬田勲氏コレクション). 800点.

2017.1, 昆虫類 (保科英人氏コレクション). 6点.

■整理同定担当資料

昆虫類 (チョウ目, ノミ目, コウチュウ目, アミメカゲロウ目, カメムシ目, シラミ目), 甲殻類

(等脚目), ダニ類 (マダニ目).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- ◎山内健生, 2016.5, オープンセミナー「甲殻類標本をスケッチしよう」, 博物館. (50名)
- ◎山内健生・和田年史, 2016.6, 特注セミナー「収蔵庫見学」, 博物館. (7名)
- ◎山内健生, 2016.6, 特注セミナー「身近な衛生動物の話」, 博物館. (34名)
- ◎山内健生, 2016.6, オープンセミナー「甲殻類標本をスケッチしよう」, 博物館. (35名)
- ◎山内健生, 2016.8, オープンセミナー「昆虫標本をスケッチしよう」, 博物館. (55名)
- ◎高橋晃・橋本佳明・布野隆之・山内健生, 2016.8, オープンセミナー「生物系収蔵庫ツアー①」, 博物館. (32名)
- ◎山内健生, 2016.8, オープンセミナー「昆虫の名前しらべ1」, 博物館. (7名)
- ◎山内健生, 2016.8, オープンセミナー「昆虫の名前しらべ2」, 博物館. (5名)
- ◎山内健生・フロアスタッフ, 2016.8, ひとく探検隊「いきものミッケ!」, 博物館. (30名)
- ◎山内健生, 2016.8, 一般セミナー「虫を見分ける」, 博物館. (7名)
- ◎山内健生, 2016.8, 一般セミナー「蚊を調べる」, 博物館. (10名)
- ◎山内健生, 2016.8, 特注セミナー「わくわく昆虫ワールド」, 博物館. (52名)
- ◎山内健生, 2016.9, 一般セミナー「身近な虫の観察」, 博物館. (42名)
- ◎山内健生, 2016.9, 特注セミナー「わくわく昆虫ワールド」, 博物館. (31名)
- ◎山内健生・橋本佳明, 2016.11, オープンセミナー「クワガタムシの標本をつくらう!」, 博物館. (200名)
- ◎山内健生, 2016.10, 一般セミナー「ダニの観察」, 博物館. (8名)
- ◎高橋晃・橋本佳明・布野隆之・山内健生, 2016.11, オープンセミナー「生物系収蔵庫ツアー」, 博物館. (22名)
- ◎山内健生, 2016.11, 一般セミナー「土壌動物の観察」, 博物館. (2名)
- ◎高橋晃・橋本佳明・布野隆之・山内健生, 2017.3, オープンセミナー「生物系収蔵庫ツアー」, 博物館. (42名)

館外講演

- ◎山内健生, 2016.6, 「感染症媒介蚊の生態について」, 兵庫県蚊媒介感染症対策研修会・訓練, 兵

庫県広域防災センター (138名)

◎山内健生, 2016.8, 「こわいけどおもしろい? マダニのはなし」, 面河山岳博物館第50回特別展関連イベント あぶない講演会, 久万高原産業文化会館 (77名)

◎山内健生, 2016.12, 「マダニによる健康被害とその対策」, 特定非営利活動法人シニア自然大学校, 大阪産業創造館 (100名)

テレビ・ラジオ等出演

2016.7, 「ひょうごの昆虫展」, サンテレビジョン「ひょうご“ワイワイ”」

2016.8, 「マダニ」, 毎日放送「ちちんぷいぷい」

2016.8, 「ひょうごの昆虫展」, ラジオ関西「時間です! 林編集長」

■担い手成長支援事業

成果発表

2016.2 共生のひろば 「高校生のための生きもの調査体験ツアーin 台湾」活動報告 (口頭・展示)

■学校教育支援

講師派遣

2016.7, キッピー山の生態学実習「「カ」をしらべよう」, 講師, 三田市有馬富士自然学習センター 13名

2016.8, 「夜の昆虫を調べる ~ 灯火採集入門 ~」, 講師, 姫路自然観察の森 17名

2016.8, (公財)国際花と緑の博覧会記念協会コスモスセミナー「自然観察教室~ 生まれ生きもの好きな子どもたち~」, 講師, 兵庫県立奥猪名健康の郷 27名

2016.8, 第24回ミニ企画展関連イベント「昆虫博士と虫さがし」, 講師, 豊岡市立歴史博物館— 但馬国府・国分寺館— 40名

■展示

2016.4~5, 特別企画「フェアブルの故郷 (ふるさと) からのメッセージ— ひとはくとフランス アヴェロン県・マイクロポリスの国際交流活動報告展」, 分担者

2016.5~6, ミニ企画展「館野 鴻(たてのひろし) 絵本「つちはんみょう」原画展」, 担当者

2016.6~9, ミニ企画展「ひょうごの昆虫展」, 担当者

2016.11~12, 館外企画展「日本文化を育んだ自然 where culture meets nature」, 分担者

2017.2~4, ひとく研究員展 2017「ひとく研究の今」, 分担者

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内, 7回, のべ約 103名.

■行政等支援

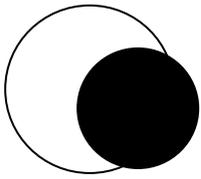
相談・指導助言

来訪者 7件, 8名. 電話・FAX 相談 8件, メール

相談 10 件.

学会開催等支援

2016.11.26～27 日本甲虫学会第 7 回大会 研究発表担当 (大阪市立自然史博物館にて開催)



個人別成果報告に関する資料

No. 4

●自然・環境マネジメント研究部

流域生態研究グループ
動物共生研究グループ

高橋 鉄美 TAKAHASHI, Tetsumi

自然・環境マネジメント研究部
流域生態研究グループ
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門
教授。

昭和 46 年北海道生. 北海道大学大学院水産学研究科博士
後期課程単位取得退学. 博士 (水産学). アメリカ魚類
爬虫類学会, 日本魚類学会, 日本動物分類学会, 日本
進化学会, 日本水産学会, 日本生態学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 研究開発部門

自然・環境マネジメント研究部 部長
研究・シンクタンク推進室 室長

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. アフリカ・タンガニカ湖産シクリッド科魚類の系統分類学的研究
2. シクリッド科 *Cyprichromis* 属魚類の集団内色彩多型に関する進化生態学的研究
3. シクリッド科 *Telmatochromis temporalis* の体サイズ進化に関する生態学的研究
4. 南米・ティティカカ湖産 *Orestias* 属魚類の系統分類学的研究

■論文・著書

- Takahashi, T., Sota, T. (2016) A robust phylogeny among major lineages of the East African cichlids. *Molecular Phylogenetics and Evolution* 100, 234-242.
- Tanaka, H., Frommen, J., Takahashi, T., Kohda, M. (2016) Predation risk promotes delayed dispersal in the cooperative breeding cichlid *Neolamprologus obscurus*. *Animal Behaviour* 117, 51-58.
- Takahashi, T., Ota, K. (2016) Body size evolution of a shell-brooding cichlid fish from Lake Tanganyika. *Journal of Evolutionary Biology* 29, 2373-2382.
- Satoh, S., Takahashi, T., Tada, S., Tanaka, H., Kohda, M. (2017) Parental females of a nest-brooding cichlid improve and benefit from the protective value of young masquerading as snails. *Animal Behaviour* 124, 75-82.

■研究発表

- 高橋鉄美 (2016) 東アフリカに生息するシクリッドのロバストな系統. 2016 年度日本魚類学会年会, 岐阜大学, 岐阜市.

■助成を受けた研究

シクリッドにおけるオス集団内色彩二型の進化に関する研究. 文部科学省科学研究費基盤研究(B). 代表者 (2016 年度 300 万円/総額 1399 万円)
脊椎動物の社会進化モデルとしてのカワスズメ科魚類の社会構造と行動基盤の解明. 文部科学省科学研究費基盤研究(B). 分担者 (2016 年度 10 万円/総額 50 万円)

■学会役員など

Hydrobiologia 誌, ゲストエディター
査読: *Animal Biology, Ecological Research, Fisheries Science* の投稿原稿について計 5 件

■海外調査

2016.4, ザンビア・ムプルング
2016.9 - 10, ロシア・リストビヤンカ
2016.10 - 11, ザンビア・ムプルング
2017.2 - 3, ザンビア・ムプルング

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016.4, 魚類. ザンビア・ムプルング近郊.
2016.10 - 11, 魚類. ザンビア・ムプルング近郊.
2017.2 - 3, 魚類. ザンビア・ムプルング近郊.

■整理同定担当資料

魚類 (シクリッド科).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 高橋鉄美, 2016.6.7, ひとくセミナー「古代湖・タンガニカ湖の特異なさかなたち」, 博物館. (6 名)
- 高橋鉄美, 2016.6.21, ひとくセミナー「古代湖・ティティカカ湖の特異なさかなたち」, 博物館 (6 名)
- 高橋鉄美, 2016.7.24, オープンセミナー「ひとく探検隊 水辺のいきものを獲ろう!」, 博物館. (24 名)
- 高橋鉄美, 2016.7.26, オープンセミナー「さかなの体ってどうなってるの?」, 博物館. (32 名)
- 高橋鉄美, 2016.7.28, オープンセミナー「さかなの体ってどうなってるの?」, 博物館. (43 名)
- 高橋鉄美, 2016.8.18, ひとくセミナー「さかなを解剖してみよう」, 博物館. (15 名)
- 高橋鉄美, 2016.9.14, 特注セミナー「武庫川での魚のとり方」, 三田市立本庄小学校. (13 名)

高橋鉄美, 2017.2.25, 特注セミナー, こうみん未来
塾「魚の解剖～生態の違う魚の形態を調べる～」
博物館. (16名)

■学校教育支援

プロジェクト学習

2016.5 - 2017.3, 10回, 兵庫県立大学附属中学校. 7
名

トライやるウィーク

2016.6.3, 三田市内の中学生. 3名

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会 (2件)

関西広域連合 生物多様性検討委員

兵庫県 生物多様性アドバイザー

相談・指導助言

来訪者4件, 4名. 電話・FAX相談7件, メール相
談12件.

和田 年史 WADA, Toshifumi

自然・環境マネジメント研究所

生態研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 自然環境系 生態研究部門 准教授.

昭和 52 年兵庫県生. 長崎大学大学院生産科学研究科博士後期課程修了. 水産学博士. 日本動物行動学会, 日本水産学会, 日本生態学会, 日本魚類学会, 日本貝類学会, 日本甲殻類学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 事業推進部門 企画・調整室

副室長

2. プロジェクト

生態系研究部(流域生態および動物共生)の部門研究.

分担者

液浸収蔵庫および生物系収蔵(脊椎動物・昆虫)の整備. 分担者

文科省博物館ネットワークにおけるレガシー事業. 分担者

鳴門海峡の渦潮の世界遺産登録に向けた検討支援. 分担者

ミュージアムボックスおよび4 F ひとつはくサロンの整備. 分担者

共生のひろば. 分担者

相生キャラバン. 代表者

中山間地域の学校における地域資源開発・人材育成型の学習教育プログラムづくり. 分担者

博物館ネットワークを通じた生物多様性情報の活用と標本整備. 分担者

芦屋市打出浜小学校における干潟を活用した学習プログラムの開発. 代表者

「ドリームスタジオ・スペシャル」プロジェクト. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 頭足類(イカ・タコ類)の分類および生態に関する研究
2. 砂浜海岸の人為的改変が海岸生物の生息場所利用に与える影響
3. 日本海沿岸および中層・深海域の生物相に関する研究

■論文・著書

- ◎ Toshifumi Wada (2016) Size-assortative mating and arm loss in the wild shallow-water octopus *Abdopus* sp. (Cephalopoda: Octopodidae). *Journal of Natural History* (in press). DOI: 10.1080/00222933.2016.1252069

◎ Tsunemi Kubodera, Toshifumi Wada, Masahito

Higuchi, Akiko Yatabe (2016) Extraordinary

numbers of giant squid, *Architeuthis dux*,

encountered in Japanese coastal waters of the Sea of

Japan from January 2014 to March 2015. *Marine*

Biodiversity (in press).

doi:10.1007/s12526-016-0618-7

- ◎ 石原 孝・松沢慶将・亀崎直樹・岡本 慶・浜端 朋子・青柳 彰・青山晃大・一澤 圭・池口新一郎・箕輪一博・宮地勝美・村上昌吾・中村幸弘・梨木之正・野村卓之・竹田正義・田中俊之・寺岡誠二・宇井賢二郎・和田年史 (2017) 日本海におけるアカウミガメ孵化幼体の大量漂着が示唆するその出生地と移動. *日本生態学会誌*, 67, 3-12.

■その他著作

和田年史 (2016) 「海のなんでだろう? Q&A コーナー第 79 回「マダコの豊凶」. 月刊「磯・投げ情報」12 月号, pp 90.

和田年史 (2017) 「海のなんでだろう? Q&A コーナー第 80 回「日本海で目撃! 謎のタコ!」. 月刊「磯・投げ情報」1 月号, pp 90.

■ブログへの情報提供

5 件

■研究発表

和田年史 (2016) 招待講演「超音波テレメトリーを使って明らかにされた、福岡県津屋崎沿岸のカブトガニの移動パターンと滞在性」. 日本カブトガニを守る会(福岡支部会), 九州大学西新プラザ.

原口展子・和田年史 (2016) 海藻の教育普及活動の取り組み. 日本応用藻類学会第 15 回大会, 東京海洋大学, 東京.

和田年史 (2016) 講演「頭足類の繁殖行動に見られる知の表現」. 明治大学現象数学共同研究集会『比較動物学と現象数学から考える「海の霊長類」の知の表現法』, 明治大学中野キャンパス (35 名).

和田年史・加藤茂弘・池田忠広・間渕 創, 2017.2, [公開ワークショップ] 文部科学省委託事業「博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業」- [海外視察報告] 台湾国立海洋生物博物館, 大阪市立自然史博物館 集会場.

池田忠広・加藤茂弘・和田年史・布野隆之・間渕 創, 2017.2, [公開ワークショップ] 文部科学省委託事業「博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業」- [海外視察報告] 台湾国立自然史博物館, 大阪市立自然史博物館 集会場.

■学会役員など

日本動物行動学会 選挙管理委員会委員長

論文査読: *Journal of Asia-Pacific Biodiversity*, *Journal of Ethology*, *Hydrobiologia*, 日本ベントス学会誌

■助成を受けた研究・事業

頭足類学会(仮称)設立に向けたシンポジウムへの

参画および亜熱帯性タコ類相のフィールド調査。
公立大学法人兵庫県立大学自然・環境科学研究所
部局特色化推進費。代表者（2016年度 15万円）
平成28年度公益財団法人日本海事科学振興財団「海
の学び ミュージアムサポート」：事業名「兵庫の
「海の学び」活動拠点の充実と次世代の若手育成
プログラムの創出」。担当者（2016年度 255万円）

■海外調査

2016.11, 中華民国（台湾）。台湾国内の自然史系博
物館の視察調査。文部科学省事業名「博物館ネッ
トワークによる未来へのレガシー継承・発信事業」

2. 資料収集・整理

■資料収集

2015.4-2016.3, 海洋生物各種。西宮市, 芦屋市, 神
戸市, 相生市, 美方郡新温泉町, 美方郡香美町,
豊岡市, 姫路市家島等。

■受贈担当資料

海洋生物（頭足類、甲殻類、貝類、海産魚類等）。

■整理同定担当資料

海洋生物（頭足類、甲殻類、貝類、海産魚類等）。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

和田年史, 2016.4, 特注セミナー「解剖して“イカ”
を知ろう!」, 博物館。(大阪府立泉北高等学校
120名)

フロアスタッフ・和田年史, 2016.5, フロアスタッ
フイベント「ビーチコーミングってなに?」, 博
物館。(101名)

和田年史, 2016.5, ひとくセミナー「博物館で学
ぶ「動物行動学」基礎講座」, 博物館(12名)

和田年史, 2016.6, ひとくセミナー「海中の生き
もの観察&スキндаイビングのスキルアップ講
座」, 豊岡市竹野スノーケルセンター(11名)

和田年史, 2016.7, ひとくセミナー「夜の渚でス
ナガニの観察」, 美方郡新温泉町居組県民サンビ
ーチ(18名)

和田年史, 2016.7, オープンセミナー「イカ墨でイ
カの魚拓をつくろう!」, 博物館。(50名)(子供
26名、大人24名)

和田年史, 2016.8, ひとくセミナー「市民参加型
カニ調査 in 相生」, 相生市相生湾周辺海岸および
相生市文化会館(20名)(子供5名、大人15名)

和田年史, 2016.8, オープンセミナー「みんなでダ
イオウイカの絵を描こう!」, 博物館。(38名)(子
供18名、大人20名)

和田年史, 2016.9, ひとくセミナー「小型地曳網
で魚の赤ちゃん調べ」, 美方郡香美町三田浜(18
名)(子供7名、大人11名)

和田年史, 2016.10, 特注セミナー「身近な海の生
きもの2 ~博物館の紹介~」, 博物館。(芦屋市立

打出浜小学校3年生109名)

和田年史, 2016.11, ドリームスタジオ・フェスタ:
オープンセミナー「イカ墨でイカの魚拓をつくろ
う!」, 博物館。(40名)(子供21名、大人19名)

館外講演

和田年史, 2016.5, 「相生湾の身近な生きもの」, 相
生市立小学校。(10名)

和田年史, 2015.6, 野外体験授業「身近な干潟の生
きもの」, 芦屋市立打出浜小学校。(109名)

和田年史, 2016.6, 「カキの種付けと相生湾の魚」,
相生市環境課 こども里海クラブ活動。(20名)

和田年史, 2016.6, 「あいおいのカニをさわってみよ
う」, 相生市立幼稚園。(50名)

和田年史, 2016.7, 神戸市立須磨海浜水族園主催:
サイエンスカフェ第34弾「ダイオウイカから始
めるイカタコ学入門」, 神戸市立須磨海浜水族園。
(95名)

和田年史, 2016.7, 講話「身近な海の生きもの」, 芦
屋市立打出浜小学校。(109名)

和田年史, 2016.7, 「夏休みこどもエコツアーー海の
生物観察」, ひょうご環境体験館。(49名)(子供
38名、大人11名)

和田年史, 2016.8, 探求航海実習講義「評価される
研究を目指そう!」, 兵庫県立香住高等学校他。(9
名)(学生6名、教員3名)

三原菜美・和田年史, 2016.8, 相生キャラバン特別
野外観察会「おわん島(蔓島)で探検観察会~植
物と打ち上げ貝を調べよう!」, 相生市蔓島。(28
名)(子供20名、大人8名)

和田年史, 2016.8, かがしま水族館主催:特別講演
会「イカ・タコ研究最前線」, いおワールド かが
しま水族館。(54名)

和田年史, 2016.8, かがしま水族館主催:「世界初の
小さなダイオウイカ発見」記念講演「不思議な生
きもの イカ・タコにせまる」, いおワールド かが
しま水族館。(83名)

和田年史, 2016.8, 「海の学び」特別セミナー「ス
ノーケリング体験&海中の生きもの観察のスキル
アップ講座」, 豊岡市竹野スノーケルセンター(12
名)

和田年史, 2016.8, 徳之島町役場主催「礁池(イノ
ー)の生きもの観察会」, 鹿児島県徳之島町金見。
(16名)(子供10名、大人6名)

和田年史, 2016.10, 平成28年度パークボランティア
研修会「「海の学び」活動紹介」, 豊岡市竹野ス
ノーケルセンター(大人19名、大学生1名)

和田年史, 2016.10, 「海の学び」特別セミナー「ス
キンダイビング&海中の生きもの観察のスキル
アップ講座」, 兵庫県立いえしま自然体験センタ
ー(5名)

和田年史, 2016.11, 神戸市中学校教育研究会「沿岸
域の生態系とそこにくらす海洋生物」+「イカ
の解剖実習」, 神戸市総合研究センター。(16名)

ル相談 60 件.

和田年史, 2016.11, サイエンス・トライやる事業特別セミナー「沿岸域の生態系とそこにくらす海洋生物」 + 「イカの解剖実習」, 淡路市立津名中学校. (133 名)

和田年史, 2016.12, サイエンス・トライやる事業特別セミナー「沿岸域の生態系とそこにくらす海洋生物」 + 「イカの解剖実習」, 新温泉町立浜坂中学校. (132 名)

和田年史, 2016.12, 平成 28 年度山陰海岸国立公園海洋生物勉強会, 豊岡市竹野スノーケルセンター (大人 18 名)

和田年史, 2017.1, 「カキ礁周辺の生物調査」, 相生市環境課 こども里海クラブ活動. (22 名)

和田年史, 2017.1, 長崎最西端 進化生態学セミナー「頭足類の繁殖行動生態ー特にタコ類の繁殖行動の特徴に着目して」, 長崎大学 進化・行動生態学研究室. (16 名)

和田年史, 2017.2, 「カキ礁周辺の生きもの」, 相生市立相生小学校. (10 名)

兵庫県立大学・大学院教育

2016.9, 「共生博物学」

非常勤講師

2016.6-10, 特別非常勤講師, 兵庫県立香住高等学校.

2016.4-6, 「水域生態学」, 鳥取環境大学.

テレビ・ラジオ等出演

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2016.8, あいおいキャラバン「みんなで発見! 相生の自然と生きもの展」, 相生市文化会館, 相生市. 主担当・野外観察会講師等

■共催・協力・後援事業

2015.5-2016.2, 「野外体験授業」等, 芦屋市立打出浜小学校, 芦屋市. 協力/主担当・セミナー担当等

2015.5-2016.3, 相生市環境課「里海クラブ活動」等, あいおい播磨灘の里海づくり協議会, 相生市. 協力/主担当・セミナー担当等

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

兵庫県立大学学生団体「いきものずかん」(主担当)

青山 茂(主担当)

中村清美(副担当)

成果発表

■展示

2016.2-4, ひとはく研究員展「ひとはくの研究の今」. 分担者

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会 (1 件)

環境省版海洋生物レッドデータブックの作成にかかる、絶滅のおそれのある海洋生物の選定・評価検討会〔軟体動物分科会〕 評価協力者

相談・指導助言

来訪者 15 件, 30 名. 電話・FAX 相談 50 件, メイ

布野 隆之 FUMO, Takayuki

自然・環境マネジメント研究所

流域生態研究グループ

研究員

昭和 51 年島根県生. 新潟大学大学院自然科学研究博士
後期課程修了. 農学博士. 日本生態学会, 日本鳥学会,
日本森林学会, 農業農村工学会等所属

<事業部での配属室と仕事>

1. 事業推進部門

資料管理室

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 希少猛禽類ニホンイヌワシの生態とその保全に関する研究
2. 天然記念物オオヒシクイの生息湿地および採餌水田の保全・再生に関する研究
3. カラスのゴミ被害問題の実態と対策に関する研究

■共同研究

1. 生物多様性に配慮した大型ダムの管理・運営に関する研究

イヌワシ遺伝

上山高原

■その他著作物

布野隆之 (2016) 草原とイヌワシ. 第 11 回全国草原サミット・シンポジウム in 上山高原報告書 p29-36.

布野隆之 (2016) 上山高原におけるススキ草地の試験管理がノウサギの生息状況に与える影響. 平成 28 年度上山高原自然再生事業動物モニタリング調査報告書.

■研究発表

布野隆之 (2016) 上山高原におけるススキ草地の試験管理がノウサギの生息状況に与える影響. 平成 28 年度上山高原自然再生事業動物モニタリング調査報告会, 上山高原ふるさと館, 新温泉町.

布野隆之 (2016) 草原とイヌワシ. 第 11 回全国草原シンポジウム, 文化体育館夢ホール, 新温泉町.

相原 修・山賀由貴・長岐泰斗・布野隆之 (2016) 航空レーザーデータによるニホンイヌワシの生息域把握. 日本写真測量学会平成 28 年度次学術講演会, 東京大学産業技術研究所. 東京.

■学会役員など

日本鳥学会員近畿地区懇談会 事務局

人と自然 編集委員

■助成を受けた研究

菅生ダムにおける陸域から水域への栄養塩フロー. 一般財団法人水源地環境センター水源地生態研究会, 研究分担者 (金額 40 万円/300 万円).
平成 28 年度上山高原自然再生事業動物モニタリン

グ調査. 公益財団法人ひょうご環境創造協会 (金額 10 万円).

■海外調査

2016.5.16-20 台湾

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016.4.1~2016.3.31 小型鳥類. 50 点, 三田市.

■受贈担当資料

2016.7.2 鳥類本剥製. 1 点, 姫路市.

2016.7.23 鳥類本剥製. 7 点, 神戸市.

2016.9.14 鳥類本剥製. 1 点, 神戸市.

2016.11.10 鳥類本剥製. 1 点, 京都市.

2016.11.11 鳥類本剥製. 30 点, 伊丹市.

■整理同定担当資料

陸生脊椎動物 (鳥類).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

布野隆之, 2016.5.25 「カラスによるごみ被害を解決する」, 博物館, 10 名.

フロアスタッフ, 布野隆之, 2016.5.28 「イヌワシグライダーを飛ばそう!」, 博物館, 60 名.

フロアスタッフ, 布野隆之, 2016.5.29 「イヌワシグライダーを飛ばそう!」, 博物館, 60 名.

布野隆之, 2016.6.26 「ひとく探検隊 初夏の鳥をさがそう」, 博物館, 15 名.

布野隆之, 2016.7.6 「落葉広葉樹林帯に生息するニホンイヌワシの生態とその保全」, 博物館, 4 名.

布野隆之, 2016.7.24 「オープンセミナー 日本に暮らす鳥たちの不思議」, 博物館, 90 名.

布野隆之, 2016.7.6 「相生キャラバンセミナー はじめてのバードウォッチング」, 相生市, 25 名.

布野隆之, 2016.7.6 「相生キャラバンセミナー ミサゴの巣をつくろう」, 相生市, 25 名.

高橋晃, 橋本佳明, 山内健生, 布野隆之, 2016.8.20 「収蔵庫ツアー 1 回目」, 博物館, 20 名.

高橋晃, 橋本佳明, 山内健生, 布野隆之, 2016.8.20 「収蔵庫ツアー 2 回目」, 博物館, 20 名.

高橋晃, 橋本佳明, 山内健生, 布野隆之, 2016.8.20 「収蔵庫ツアー 3 回目」, 博物館, 20 名.

高橋晃, 橋本佳明, 山内健生, 布野隆之, 2016.8.20 「収蔵庫ツアー 4 回目」, 博物館, 20 名.

高橋晃, 橋本佳明, 山内健生, 布野隆之, 2016.11.12 「収蔵庫ツアー」, 博物館, 15 名.

人と自然の会・布野隆之, 2016.11.20 「超巨大! イヌワシの巣の展示」, 博物館, 600 名.

布野隆之, 2016.12.11 「オープンセミナー 日本に暮らす鳥たちの不思議」, 博物館, 120 名.

高橋晃, 橋本佳明, 山内健生, 布野隆之, 2016.3.4 「収蔵庫ツアー 1 回目」, 博物館, 20 名.

高橋晃, 橋本佳明, 山内健生, 布野隆之, 2016.3.4
「収蔵庫ツアー 2回目」, 博物館, 20名.
高橋晃, 橋本佳明, 山内健生, 布野隆之, 2016.3.4
「収蔵庫ツアー 3回目」, 博物館, 20名.
高橋晃, 橋本佳明, 山内健生, 布野隆之, 2016.3.4
「収蔵庫ツアー 4回目」, 博物館, 20名.
高橋晃, 橋本佳明, 山内健生, 布野隆之, 2016.3.4
「収蔵庫ツアー 5回目」, 博物館, 20名.

館外講演など

布野隆之, 2016.4.13 「兵庫県内におけるタカ類の
渡りルートとその特徴」, 講師, 県立あわじ花さ
じき, 淡路島, 4名.
布野隆之, 2016.4.18-20 「菅生川水系における水域
から陸域への栄養塩フローの解析—鳥類の捕獲
調査法—」, 講師, 菅生川, 姫路市, 8名.
布野隆之, 2016.4.21-22 「菅生川水系における水域
から陸域への栄養塩フローの解析—水生および
陸生生物の捕獲調査法—」, 講師, 菅生川, 姫路
市, 5名.
布野隆之, 2016.4.24 「兵庫県内におけるニホンイ
ヌワシの分布および生息地の特徴」, 講師, 新温
泉町, 5名.
布野隆之, 2016.5.23 「菅生川水系における水域か
ら陸域への栄養塩フローの解析の試行と今後の
展望」, 講師, 水源地環境センター会議室, 東京,
8名.
布野隆之, 2016.6.14 「菅生川水系における陸域か
ら水域への栄養塩フローの解析—鳥類とその餌
生物の捕獲調査の課題—」, 講師, 水源地環境セ
ンター会議室, 東京, 8名.
布野隆之, 2016.6.19 「戦国武者が着用した陣羽織
の色彩特性」, 講師, 花落庵, 京都市. 15名.
布野隆之, 2016.6.24 高校連携セミナー「絶滅危惧
種ニホンイヌワシの現状と保全」, 講師, 博物館,
三田市, 50名.
布野隆之, 2016.7.16 「菅生川水系における水域か
ら陸域への栄養塩フローの解析の試行」, 講師,
水源地環境センター会議室, 東京, 5名.
布野隆之, 2016.7.20 「越冬期間中におけるシギ類,
チドリ類, およびカモ類の生態特性」, 講師, 博
物館, 4名.
布野隆之, 2016.7.21 シニア自然大学羽ばたきセミ
ナー「天然記念物オオヒシクイの生態特性とその
保全」, 講師, 博物館, 23名.
布野隆之, 2016.7.21 「展示解説 イヌワシ営巣地
の特徴」, 講師, 博物館, 三田市, 23名.
布野隆之, 2016.7.21 「草原地帯に生息するイヌワ
シの外部形態および採餌行動」, 講師, 上山高原
ふるさと館, 新温泉町, 3名.
布野隆之, 2016.7.29 「淡路島におけるサシバ、ノ
スリ、およびハチクマの渡りルートとその特徴」,
講師, 県立あわじ花さじき, 淡路市, 3名.
布野隆之, 2016.8.1 「陣羽織の羽根の色彩および

構造に基づく種名同定の試み」, 講師, 花落庵,
京都市. 5名.

布野隆之, 2016.8.10 「希少猛禽類を対象とした代
替巣の特徴と設置候補地の選定法」, 講師, 博物
館, 三田市, 10名.

布野隆之, 2016.9.3 兵庫県立大学いきものずか
ん・NPO 法人人と自然の会 合同セミナー「イヌ
ワシ紙芝居づくり—イヌワシの生態特性とスス
キ草原の役割を知る—」, 上山高原ふるさと館,
新温泉町, 15名.

布野隆之, 2016.9.5 「陣羽織の羽根の色彩および
構造に基づく種名同定の試み」, 花落庵, 京都市.
7名.

布野隆之, 2016.9.12 「森林性鳥類による水系由来
栄養塩の運搬距離の推定」, 菅生川, 姫路市. 7
名.

布野隆之, 2016.9.13 「希少猛禽類の営巣地特性を
考慮した代替巣設置法の試行」, 博物館, 三田市,
8名.

布野隆之, 2016.9.20 「実物大のイヌワシの巣をつ
くろう 第1回目」, 講師, 深田総合公園, 三田
市, 10名.

布野隆之, 2016.9.27 「実物大のイヌワシの巣をつ
くろう 第2回目」, 講師, 深田総合公園, 三田
市, 10名.

布野隆之, 2016.10.4 「実物大のイヌワシの巣をつ
くろう 第3回目」, 講師, 深田総合公園, 三田
市, 10名.

布野隆之, 2016.9.12 「森林性鳥類による水系由来
栄養塩の運搬距離の推定」, 菅生川, 姫路市. 7
名.

布野隆之, 2016.10.25 「実物大のイヌワシの巣を
つくろう 第4回目」, 講師, 深田総合公園, 三
田市, 10名.

布野隆之, 2016.10.31 「菅生川水系における水域
から陸域への栄養塩フロー解析の現状と課題」,
兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス, 姫路市.
10名.

布野隆之, 2016.11.7 「陣羽織の羽根の色彩および
構造に基づく種名同定の試み」, 花落庵, 京都市.
4名.

布野隆之, 2016.11.28 「伊丹市における公園緑地
とカラスの埒問題およびその解決法」, 伊丹市立
総合教育センター, 伊丹市. 20名.

布野隆之, 2016.11.30 「菅生川水系における水域
から陸域への栄養塩フローの解析の試行」, 講師,
法華クラブ京都会議室, 京都市, 10名.

布野隆之, 2016.12.3 「伊丹いきものマイスター講
座 カラスの生態とごみ被害について—なぜ、カ
ラスが増えているのか?」, 講師, 伊丹市役所昆
陽池センター, 伊丹市, 30名.

布野隆之, 2016.12.64 「伊丹いきものマイスター
講座 カラスの生態とごみ被害について—なぜ、

カラスが増えているのか？ 昆陽池のカラス調査」, 講師, 昆陽池公園, 伊丹市, 30名.

布野隆之, 2016.12.7 「希少猛禽類の営巣地特性を考慮した代替巣の設置」, 講師, たつの市, 15名.

布野隆之, 2017.1.14 「三田市有馬富士生涯学習センター 冬鳥観察会」, 講師, 県立有馬富士公園, 三田市, 25名.

布野隆之, 2017.1.27 「希少猛禽類の営巣地特性を考慮した代替巣の設置状況と今後の課題」, 講師, 博物館, 三田市, 10名.

布野隆之, 2017.1.31 「イヌワシの巣に関する展示解説をつくろう 第1回目」, 講師, 博物館, 三田市, 10名.

布野隆之, 2017.2.1 「菅生川水系における水域から陸域への栄養塩フロー解析の現状と今後の展望」, 講師, 法華クラブ京都会議室, 京都市, 10名.

布野隆之, 2017.2.10 「イヌワシの巣に関する展示解説をつくろう 第2回目」, 講師, 博物館, 三田市, 10名.

布野隆之, 2017.2.14 「兵庫県内における猛禽類の代替巣の設置事例の報告」, 講師, 姫路キャスルグランヴィリオホテル会議室, 姫路市, 40名.

布野隆之, 2017.2.18 日本野鳥の会大阪支部セミナー「落葉広葉樹林帯に生息するニホンイヌワシの生態とその保全」, 講師, 大阪ガス実験集合住宅NEXT21ホール, 大阪市, 30名.

布野隆之, 2017.2.20 「カラスの埒問題を考慮した公園緑地の管理戦略」, 講師, 伊丹市役所会議室, 伊丹市, 15名.

布野隆之, 2017.2.22 KK ナインNW セミナー「カラスによるごみ被害を解決する」, 講師, 博物館, 15名.

布野隆之, 2017.2.24 宝塚いきいきゼミナール第4班「カラスによるごみ被害を解決する」, 講師, フレミラ宝塚, 宝塚市, 30名.

布野隆之, 2017.2.24 宝塚いきいきゼミナール第3班「カラスによるごみ被害を解決する」, 講師, フレミラ宝塚, 宝塚市, 30名.

布野隆之, 2017.3.3 宝塚いきいきゼミナール第2班「カラスによるごみ被害を解決する」, 講師, フレミラ宝塚, 宝塚市, 30名.

布野隆之, 2017.3.3 宝塚いきいきゼミナール第1班「カラスによるごみ被害を解決する」, 講師, フレミラ宝塚, 宝塚市, 30名.

布野隆之, 2017.3.13 「サシバを対象とした代替巣の設置」, 講師, たつの市, 10名.

布野隆之, 2017.3.22 「兵庫県内における希少猛禽類の代替巣の現状と課題」, 講師, 博物館, 10名.

布野隆之, 2016.3.21 「上郡町におけるカラス対策の課題とその解決法」, 講師, 上郡町役場, 5名.

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2016.8.5-7 「相生キャラバン みんなで発見！相生

の自然と生きもの展」, 相生文化会館, 相生市, 分担者.

2016.11.19-12.4 「日本文化を育んだ自然 where culture meets nature」, 花落庵, 京都市, 分担者.

■共催・協力・後援事業

2016.7.16-2016.8.24 平成28年度夏季展示「まもる自然・つくる環境Ⅲ どっちがどっち!? 一ちかくの自然をよくみてみよう」, 吹田市立博物館, 吹田市, 協力/展示作成.

2016.7.16-2016.9.11 平成28年度夏季企画展「猪名川 ～歴史・自然・暮らし～」, 伊丹市立博物館, 吹田市, 協力/展示作成.

■担い手育成支援事業

連携グループ・地域研究員

溝田浩美 (主担当)

脇坂英弥 (主担当)

楠瀬雄三 (主担当)

アピス同好会 (副担当)

成果発表

NPO 法人人と自然の会, 2017.2.11 超巨大! イヌワシの巣の展示, 第12回共生のひろば, 連携活動グループ.

溝田浩美, 2017.2.11 アオバズクの食卓一教材としての活用一, 第12回共生のひろば, 地域研究員日本野鳥の会ひょうご, 2017.2.11 親子バードウォッチング (神戸市立森林植物園と甲子園浜), 第12回共生のひろば.

日本野鳥の会ひょうご, 2017.2.11 オリジナル紙芝居「ペネとロペ」, 第12回共生のひろば.

協力事業

2016.11.20 第1回スーパードリーム・フェスタ, 人と自然の会, 博物館.

2016.2.19 ドリームスタジオ「冬鳥を観察しよう」, 人と自然の会, 博物館, 展示制作.

■学校教育支援

学校団体対応

兵庫県立有馬高等学校, 50名.

兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科, 6名.

兵庫県立大学環境人間学部4年生, 5名.

兵庫県立大学環境人間学部2年生, 5名.

成果発表

兵庫県立大学学生団体いきものずかん, 2017.2.11 オリジナル紙芝居「ゆうたくんとイヌワシ」を用いた環境教育活動, 第12回共生のひろば.

講師派遣

布野隆之, 2016.9.3 兵庫県立大学学生団体いきものずかん「イヌワシ紙芝居づくりーイヌワシの生態特性とススキ草原の役割を知るー」, 上山高原ふるさと館, 新温泉町, 15名.

■展示

2016.11.20- 常設展示「実物大! イヌワシの巣」, 責任者

2016.6.4-2016.7.3 写真展「ニュータウンの森のなか
かまたち」, 分担者.

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

- 2016.6.4 生物系収蔵庫案内, 日本野鳥の会大阪支部, 5名.
2016.6.12 生物系収蔵庫案内, 中央公園ごもくやさん, 5名.
2016.7.21 生物系収蔵庫案内1回目, シニア自然大
学習ばたき, 13名.
2016.7.21 生物系収蔵庫案内2回目, シニア自然大
学習ばたき, 10名.
2016.9.7 生物系収蔵庫案内, (株)海の中道海洋生
物科学館, 2名.
2016.12.10 生物系収蔵庫案内, 日本野鳥の会大阪
支部, 2名.
2016.12.11 生物系収蔵庫案内, 三田市民, 1名.
2017.1.22 生物系収蔵庫案内, 日本野鳥の会大阪支
部, 2名.
2017.2.4 生物系収蔵庫案内, 北海道博物館, 2名.

■行政支援 (計8件)

- 2013.4 新名神高速道路(近畿自動車道 名古屋神
戸線) 兵庫県域自然環境保全検討会委員
2013.4 中国自動車道 姫路鳥取線(播磨新宮～山
崎) 兵庫県域自然環境保全検討会委員
2013.4 兵庫県生物多様性アドバイザー
2014.3 一般財団法人水源地環境センター 水源
地生態研究会 周辺森林研究グループ 委員
2014.3 伊丹市環境審議会みどり環境部会 委員
2016.7 兵庫県環境審議会 特別委員
2014.8 兵庫県環境審議会自然環境部会 特別委
員
2017.3 京都府環境影響評価専門委員会 委員

相談・指導助言

来訪者 20件, 60名. 電話・FAX 相談 100件, メイ
ル相談 10件.

■学会開催等支援

- 2016.8.21 第114回日本鳥学会近畿地区懇談会兵庫
大会, 大会幹事.
2016.12.24 第115回日本鳥学会近畿地区懇談会兵
庫大会, 大会幹事.
2016.2.11 第12回共生のひろば, 副担当.

三原 菜美 MIHARA, Nami

自然・環境マネジメント研究所

生態研究グループ

研究員

昭和60年山口県生。九州大学大学院生態科学研究修士課程修了。日本生態学会、種生物学会等所属

<事業部での配属室と仕事>

1. プロジェクト

ミュージアムボックスおよび4Fひとはくサロンの整備。代表者

文科省博物館ネットワークにおけるレガシー事業。分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 寄生植物ヤッコソウの種子散布に関する研究

■論文・著書

田邊佳紀・一澤圭・三原菜美・榊山匠（2017）鳥取県立博物館における野生動物遺体の解剖・標本化の現状—学生団体と連携した活動事例の報告—。鳥取県立博物館研究報告 54, 175-182.

■その他著作

三原菜美（2016）新入館員自己紹介，ハーモニー94号。

■研究発表

三原菜美・川口利奈・矢原徹一（2016）蜜の新たな利用法—ヤッコソウにおける種子散布の報酬として—。日本鳥学会員近畿地区懇談会第114回例会，博物館

2. 資料収集・整理

■整理同定担当資料

哺乳類。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

三原菜美，2016.5，特注セミナー「植物のおはなし：花粉を運んでもらう工夫」明石市立山手小学校5年生 博物館。（67名）

三原菜美，2016.8，相生キャラバンセミナー「おわん島(蔓島)で探検観察会～植物と打ち上げ貝を調べよう～」相生市立文化会館。（28名）

三原菜美，2016.11，スーパードリームスタジオ・フェスタ「葉脈標本をつくろう」博物館。（36名）

館外講演

三原菜美，2017.1，「植物のいろいろな報酬～ヤッコソウの種子散布における蜜の利用～」兵庫県植物誌研究会総会，あかし男女共同参画センター。（31名）

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2016.8，「相生の身近な生きもの展」，相生市文化会館 相生市。分担・展示作成

2016.11.19-12.4 「日本文化を育んだ自然 where culture meets nature」，花落庵，京都市，分担者。

■学校教育支援

トライやるウィーク

2016.6，三田市八景中学校1名，三田市富士中学校1名，三田市ゆりのき台中学校1名

2016.11，有野北中学校2名，神戸大学附属中等教育学校1名

■展示

2016.11-12，館外企画展「日本文化を育んだ自然 where culture meets nature」，分担者

2016.11-2017.1，トピックス展「寄生植物ヤッコソウのくらし」責任者

2017.2-4，ひとはく研究員展「ひとはくの研究の今」分担者

2. シンクタンク事業

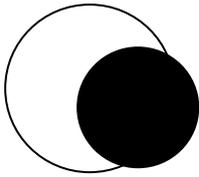
■行政等支援

収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内，2回，23名。

相談・指導助言

電話・FAX 相談5件。



個人別成果報告に関する資料

No. 5

●自然・環境マネジメント研究部 コミュニティデザイン（多自然居住）研究グループ
コミュニティデザイン（都市再生）研究グループ

藤本 真里 FUJIMOTO, Mari

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン（多自然居住）研究グループ
研究員
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門
講師。
昭和 36 年兵庫県生。大阪大学大学院工学研究科博士課程修了，工学博士。日本造園学会，日本都市計画学会，環境情報センター所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. プロジェクト

ゆめはく。代表者
有馬富士公園 人材育成。代表者
ミツカンよかわビオトープ倶楽部支援。代表者
佐用町での菓草による地域づくりの支援。分担者
地域資源を活かした「明延」のまちづくり支援。分担者
古写真の活用プログラム開発。分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 住民参画型の公園運営に関する研究
2. 住民主導・行政支援型のまちづくり活動支援に関する研究

■論文・著書

◎上田萌子・大平和弘・藤本真里・田原直樹・赤澤宏樹（2017）旧城下町の景観形成に向けた街路シークエンス景観の分析に基づく重点エリアの抽出，ランドスケープ研究，80 巻 5 号，593-598.

■その他著作

- ◎ 藤本真里・上田萌子（2017）ミツカンよかわビオトープの自然環境資源を発掘・活用する手法に関する研究 株式会社 Mizkan Partners 受託研究報告書。
- ◎ 藤本真里（2017）パークマネジメントの新展開に関する研究 その 3. 兵庫県阪神北県民局受託研究報告書。
- ◎ 藤本真里（2017）コーディネーター育成業務。公益財団法人兵庫県園芸・公園協会受託研究報告書。

■学会役員など

日本造園学会，論文校閲委員。企画委員会委員
日本都市計画学会，論文校閲委員。

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016. 4- 2017. 3, 景観情報。神戸市、赤穂市、淡路市。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

藤本真里，2016. 11，「料理&うんちく DE 地域再発見「山田錦でつくった酒」，博物館。（11 名）
藤本真里，2016. 4，「クイズ うんちく博物館」，博物館。（10 名）
藤本真里，2016. 10，「公園利用者とすすめるパークマネジメント（入門編）」，博物館。（41 名）
藤本真里，2016. 5，「人と自然の会とひとくはく」，NPO 法人人と自然の会新人研修，博物館。（5 名）
藤本真里他，2016. 7，「あけのベギャラリートーク」，博物館。（21 名）
藤本真里，2016. 7-10，「姫路の魅力再発見ギャラリー」，博物館。（4 回，311 名）

館外講演

藤本真里，2016. 4，「高校生が自然を楽しむための夢プログラムづくり」，講師，有馬富士公園公開セミナー，兵庫県阪神北県民局・兵庫県立有馬高校人と自然科と共催，有馬富士公園，三田市。（16 名）
藤本真里，2016. 9-11，「絵本の国」，兵庫県阪神北県民局と共催，有馬富士公園，三田市。（3 回，188 名）
藤本真里，2016. 7，「初期の豊中のまちづくりに伴走して」，パネラー，豊中まちづくりフォーラム，「豊中まちづくり物語～行政参加と支援のまちづくり～」，大阪府豊中市。（90 名）
藤本真里，2016. 11，「知る・出会う・わかりあう宝塚のまちづくり」，講師，いきいき学舎・フレミラ専門コース「環境・自然コース」1 年生，宝塚市立老人福祉センター，宝塚市。（30 名）
藤本真里，2016. 11，「理想のまちづくりを考える」，講師，いきいき学舎・フレミラ専門コース「環境・自然コース」2 年生，宝塚市立老人福祉センター，宝塚市。（30 名）
藤本真里，2016. 11，「景観からのまちづくり」，講師・コーディネーター，宝塚市景観フォーラム 2016，宝塚市立西公民館，宝塚市。（82 名）
藤本真里，2016. 12，「高校生が自然を楽しむための夢プログラムづくり」振り返り，講師，有馬富士公園公開セミナー，兵庫県阪神北県民局・兵庫県立有馬高校人と自然科と共催，有馬富士公園，三田市。（16 名）

藤本真里, 2017. 2, 「花と緑からはじめよう まちづくり」, 講師, 兵庫県阪神シニアカレッジ, 宝塚市. (48名)

兵庫県立大学・大学院教育
人と自然の共生 (分担)

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2016. 4. 23, ありまふじフェスティバル, 県立有馬富士公園, 三田市. 主担当
2016. 9. 22, 国見の森まつり, 国見の森公園, 宍粟市. 主担当
- 2016.10, 明延一円電車祭り, あけのべ自然学校, 養父市. 分担者
2016. 10. 25, 小さな学校キャラバン, 宍粟市立戸原小学校, 宍粟市. 主担当
2016. 10. 30, 丹波ふれあいフェスティバル, 丹波の森公苑, 丹波市. 主担当
2016. 11. 6, 八鹿文化祭, 八鹿公民館, 養父市. 主担当
2016. 11. 8, 特別支援学校キャラバン, 県立北はりま特別支援学校, 多可町. 主担当
2016. 4. 29, 尼崎市 100 周年花と緑のフェア, 尼崎市上坂部西公園, 尼崎市. 副担当
2016. 6. 4, オープン記念イベント, 国営明石海峡公園 (藍那地区), 神戸市. 副担当
2016. 12. 1, Kids キャラバン, 赤穂市立赤穂幼稚園, 赤穂市. 副担当

■共催・協力・後援事業

- 2016.10, 一円電車まつり, 鉾石の道明延実行委員会・NPO 法人一円電車あけのべ・養父市, 養父市旧北星社宅ほか, 養父市. 協力/分担者
- 2017.1-2017.3, 「クロード・ルフェーブル写真展「風情 Fuzei」 フランス人文化人類学者がとらえた日本庭園 Le *Fuzei* dans les jardins du japon」. 淡路夢舞台. 共催/分担者

■担い手成長支援事業

連携グループ等

NPO法人 人と自然の会, 副担当

■学校教育支援

トライやるウィーク

- 2016.5-6, 三田市立長坂中学校 1名, 三田市立八景中学校. 1名, 三田市立富士中学校. 1名

■展示

- 2016.7-11, 収蔵資料展「温古写真大作戦!!むかしの写真で未来をつむごう」. 分担者
- 2016.10-2017.1, ミニ企画展「写真展「風情 Fuzei」～ フランス人文化人類学者がとらえた日本庭園～」. 分担者
- 2017.1-2017.3, 「クロード・ルフェーブル写真展「風情 Fuzei」 フランス人文化人類学者がとらえた日本庭園 Le *Fuzei* dans les jardins du japon」. 淡路夢舞台. 分担者
- 2017.2-4, ひとはく研究員展「ひとはくの研究の今」. 分担者

2. シンクタンク事業

■受託研究

- 「ミツカンよかわビオトープの自然環境資源を発掘・活用する手法に関する研究」. 研究代表者, 株式会社 Mizkan Partners. (75万円)
- 「パークマネジメントの新展開に関する研究 その3」. 研究代表者, 兵庫県阪神北県民局. (100万円)
- 「コーディネーター育成業務」. 研究代表者, 公益財団法人兵庫県園芸・公園協会. (100万円)

■行政等支援

委員会等 (計22件)

- 2014.6-2016.6 まちづくり審議会, 専門委員, 兵庫県.
- 2006.7- 有馬富士公園運営・計画協議会, 委員, 兵庫県阪神北県民局.
- 2008.6- 姫路市提案型協働事業審査会, 委員, 姫路市.
- 2013.11- 姫路市市民活動・協働推進事業計画検討懇話会, 委員, 姫路市.
- 2009.6- 市民活動・ボランティアサポートセンター運営会議, 委員長, 姫路市.
- 2013.11-2016.11 置塩城跡保存管理計画策定研究会, 会員, 姫路市教育委員会.
- 2014.10-2016.9 宝塚市民自治組織のあり方に関する調査, 専門委員, 宝塚市.
- 2013.7-2017.10 宝塚市再生可能エネルギー推進審議会, 委員, 宝塚市.
- 2012.8- 宝塚市行政評価委員会, 委員, 宝塚市.
- 2008.8- 尼崎市都市公園等指定管理者選定委員会 委員長 尼崎市
- 2013.5-2017.3 尼崎21世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県.
- 2012.5-2017.5 猪名川上流広域ごみ処理施設組合指定管理者評価協議会, 委員長, 猪名川上流広域ごみ処理施設組合.
- 2015.9-2017.3 猪名川町地域創生有識者会議, 委員, 猪名川町.
- 2016.4- 公益財団法人しそ森林王国観光協会, 理事, 公益財団法人しそ森林王国観光協会.
- 2013.6- 加東市協力協定連携推進会議, 委員, 加東市.
- 2015.7-2017.7 あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議委員, 委員, 川西市.
- 2016.7, 芦屋市指定管理者選定・評価委員会 (総合公園), 委員, 芦屋市.
- 2016.6-2017.3- 兵庫県立都市公園指定管理者候補者選定委員会, 委員, 兵庫県
- 2016.4- 千里南公園パークカフェ整備事業に関する事業者選定会議, 委員, 大阪府吹田市.
- 2016.5-2016.8 加古川市建築物設計事業者選定委員会 (仮称 川西こども園), 委員, 加古川市.
- 2017.2-2017.6 加古川市建築物設計事業者選定委

員会（仮称 東神吉こども園），委員，加古川市.
2017.3 しあわせの森管理運営検討会，委員，神戸
市.

相談・指導助言

来訪者 60 件，120 名. 電話・FAX 相談 90 件，メ
イル相談 220 件.

赤澤 宏樹 AKAZAWA, Hiroki

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/ビジョン実現タスクフォース

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 准教授.

University of Washington, College of Built Environment, Dept. of Landscape Architecture 客員研究員

昭和45年大阪府生. 大阪府立大学大学院農学研究科修士課程修了. 農学博士. 国際公園管理運営士(CIPP).

日本造園学会学会, 日本都市計画学会, 環境情報科学センター, World Urban Parks (WUP)ジャパン, National

Recreation and Park Administration (NRPA) 等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. タスクフォース ビジョン実現タスクフォース
ビジョン実現タスクフォース

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. コミュニティ・ランドスケープの形成に関する研究
2. 多自然居住地域におけるまちづくりに関する研

■論文・著書

- ◎上田萌子・大平和弘・藤本真里・田原直樹・赤澤宏樹(2017)旧城下町の景観形成に向けた街路シークエンス景観の分析に基づく重点エリアの抽出, ランドスケープ研究, 80巻5号, 593-598.
- ◎川口将武・赤澤宏樹・井上博晶・神庭慎次・増田昇(2017)産民学の協働による竹間伐材を使った納豆商品開発と持続可能なしくみづくり, ランドスケープ研究増刊・造園技術報告集, 15号, 96-101.
- ◎赤澤宏樹(2017)ランドスケープのマネジメントと新しい価値づくり, ランドスケープ研究, 80巻4号, 381-382.
- ◎赤澤宏樹(2016)尼崎の森中央緑地 地域を育てる森～公園からのまちづくり～, LANDSCAPE DESIGN, No. 108, マルモ出版, 40-47.

■研究発表

- ◎大平和弘・上田萌子・藤本真里・田原直樹・赤澤宏樹(2016)兵庫県三田市旧城下町の景観形成に向けた景観資源の分布と居住者の認識との関係, 日本造園学会, 信州大学, 松本市.

■学会役員など

- 日本造園学会, ランドスケープ・マネジメント研究委員会, 委員.
- 日本造園学会, 校閲委員.
- 日本造園学会関西支部, 支部運営委員
- 日本造園学会関西支部, ランドスケープ遺産研究会 世話人(兵庫県担当)

日本緑化工学会, 校閲委員.

韓国伝統造景学会, 校閲委員.

World Urban Parks (WUP) ジャパン, 理事

■助成を受けた研究

市民の強剪定要望を克服する街路樹の維持管理システムと協働型の景観育成計画の構築, 文部科学省科学研究費挑戦的萌芽研究, 研究代表者(60万円/100万円)

◎被災した子ども達が大人になるまで一博物館こそができる長期継続型支援システムの構築, 文部科学省科学研究費基盤C, 研究分担者(金額5万円/80万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016.4-2017.3 米国のランドスケープデザイン, シアトル・ポートランド・ニューヨーク・ワシントンDC・フィラデルフィア・セントルイス・サンフランシスコ.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■研修生等の受入

官民協働海外留学支援制度～トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム～派遣留学生, 指導教員(ワシントン大学)

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計6件)

- 2009.9- 尼崎市総合計画審議会, 委員, 尼崎市.
- 2010.7- 三田市景観形成推進員, 三田市.
- 2012.11- 尼崎市環境審議会, 委員, 尼崎市.
- 2013.5- 尼崎市公園緑地審議会, 副会長, 尼崎市.
- 2013.10- 兵庫県生物多様性アドバイザー, 兵庫県.
- 2016.5- 一般財団法人 公園財団 研究顧問

相談・指導助言

メール相談20件.

大平 和弘 OHIRA, Kazuhiro

自然・環境マネジメント研究所
コミュニティデザイン（多自然居住）研究グループ
研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 客員研究員。
昭和60年兵庫県生。大阪府立大学大学院生命環境科学
研究科博士後期課程修了。博士（緑地環境科学）。日本
造園学会，環境情報科学センター，農村計画学会，日本
遺跡学会等所属。

<事業部での配属室と仕事>

1. タスクフォース ビジョン実現タスクフォース

ビジョン実現タスクフォース

展示・アウトリーチ・シンクタンク担当

2. 研究開発部門

紀要編集担当

3. プロジェクト

鳴門海峡の渦潮の世界遺産登録に向けた検討支援。代
表者

うずしお科学館改修支援。代表者

古写真の活用プログラム開発。代表者

地域資源を活かした「明延」のまちづくり支援。代表
者

近畿・中国・四国のランドスケープ遺産取りまとめ。
代表者

ひょうご・ふるさとミュージアムプロジェクト。分担
者

佐用町での薬草による地域づくりの支援。分担者

但馬牛博物館改修支援。分担者

文科省博物館ネットワークにおけるレガシー事業。分
担者

三田市景観計画策定支援。分担者

西武庫公園再生支援。分担者

棚倉町里山再生・活用プロジェクト。分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 多自然居住地域におけるランドスケープ・マネジ
メントに関する研究

2. 文化的景観を支えるまちづくりのあり方に関する
研究

■論文・著書

◎上田萌子・大平和弘・藤本真里・田原直樹・赤澤
宏樹（2017）旧城下町の景観形成に向けた街路シ
ークエンス景観の分析に基づく重点エリアの抽
出，ランドスケープ研究，80巻5号，593-598.

■その他著作

◎大平和弘（2016）「妖怪から災害まで」伝承地か
ら考える地域再生，日造協ニュース（一般社団法
人日本造園建設業協会），513号，2.

◎大平和弘（2016）「収蔵資料展「温古写真大作

戦！！むかしの写真で未来をつむごう」，ひとは
く通信（ハーモニー）93号.

◎大平和弘他（2017）「山陰海岸・若狭湾とその沿
岸」，「播磨灘とその沿岸」，関西の活かしたい自
然エリア（関西広域連合広域環境保全局）.

■ブログへの情報提供

5件

■研究発表

◎大平和弘・上田萌子・藤本真里・田原直樹・赤澤
宏樹（2016）兵庫県三田市旧城下町の景観形成に
向けた景観資源の分布と居住者の認識との関係。
日本造園学会，信州大学.

◎上田萌子・大平和弘・押田佳子・上甫木昭春（2016）
鹿児島県錦江町周辺における「モイドン」の立地
と存続状況に関する研究。日本造園学会，信州大
学

■学会役員など

日本造園学会，造園技術報告集委員会，幹事.

日本造園学会，論文校閲委員.

日本造園学会関西支部，ランドスケープ遺産部会，
事務局.

日本造園学会，ランドスケープ遺産研究会，関西支
部担当.

■助成を受けた研究

水辺の習俗行事にかかわる文化的景観の保護に向
けた空間的・社会的変容パターンの解明。文部科
学省科学研究費若手研究(B)，代表者（2016年度
65万円／総額234万円）

市民の強剪定要望を克服する街路樹の維持管理シ
ステムと協働型の景観育成計画の構築。文部科学
省科学研究費挑戦的萌芽研究，分担者（2016年度
15万円／総額130万円）

地域再生に資する拠り所としての伝統的な祭祀空
間のマネジメントに関する研究。文部科学省科学
研究費基盤研究(C)，分担者（2016年度25万円／
総額182万円）

地域資源を活用した展示学習プログラムの実践に
よる地域人材養成の試行。平成28年度笹川科学
研究助成，分担者（43万円）

■海外調査

2016.12，シンガポール

■賞罰

公益社団法人日本造園学会 平成28年度日本造園学
会全国大会 ベストペーパー賞

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016.4-2017.3 古写真収集。姫路市。神戸市。

2016.4-2017.3 古写真とその記憶収集。養父市・佐
用町・三田市・たつの市。南あわじ市。

2016.4-2017.3 習俗および祭りの映像記録収集。兵
庫県内・愛媛県・岡山県。

2016.4-2017.3 遺跡の整備事例の撮影記録収集。兵
庫県内・福井県・青森県・秋田県。

■整理同定担当資料

古写真（養父市・佐用町・三田市・たつの市・姫路市・神戸市・南あわじ市・豊岡市）

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

大平和弘, 2016.4, オープンセミナー「チョキペタ！まちや公園をつくろう」, 博物館. (74名)
大平和弘, 2016.4, 特注セミナー「チョキペタ！公園をつくろう」, 博物館. (43名)
大平和弘, 2016.4, 特注セミナー「チョキペタ！公園をつくろう」, 博物館. (42名)
大平和弘, 2016.4, 特注セミナー「チョキペタ！公園をつくろう」, 博物館. (43名)
大平和弘, 2016.4, 一般セミナー「ジオラマをつくろう 初級へん」, 博物館. (11名)
大平和弘, 2016.4, 特注セミナー「チョキペタ！公園をつくろう」, 博物館. (21名)
大平和弘, 2016.4, 特注セミナー「チョキペタ！公園をつくろう」, 博物館. (21名)
大平和弘, 2016.5, 特注セミナー「文化遺産のデザイン」, 博物館. (7名)
大平和弘, 2016.6, 一般セミナー「ジオラマをつくろう 田んぼや湿地へん」, 博物館. (11名)
大平和弘他, 2016.7, オープンセミナー「一円電車のミニペーパークラフトをつくろう！」, 博物館. (53名)
大平和弘他, 2016.7, オープンセミナー「はかせと学ぼう！「実物大！一円電車クラフトづくり」」, 博物館. (27名)
大平和弘他, 2016.7, オープンセミナー「あけのベギャラリートーク」, 博物館. (21名)
大平和弘, 2016.7, オープンセミナー「妖怪の風景をつくろう」, 博物館. (171名)
大平和弘, 2016.8, 一般セミナー「ひとはく妖怪大公開！」, 博物館. (10名)
大平和弘, 2016.8, 特注セミナー「妖怪ってどこにいる？」, 博物館. (25名)
大平和弘, 2016.8, 特注セミナー「ミニ箱庭をつくろう」, 博物館. (24名)
大平和弘他, 2016.10, 一般セミナー「フランス人と館長と行く！日本庭園 Fuzei（風情）ツアー」, 南禅寺他. (20名)
大平和弘他, 2016.10, オープンセミナー「クロード・ルフェーブ氏による展示解説」, 博物館. (35名)
大平和弘, 2016.10, 一般セミナー「ジオラマをつくろう 森や林へん」, 博物館. (9名)
大平和弘, 2016.10, オープンセミナー「チョキペタ！お庭の立体カードをつくろう！」, 博物館. (70名)

大平和弘, 2016.11, 特注セミナー「深田公園について」, 博物館. (34名)

大平和弘, 2016.11, オープンセミナー「チョキペタ！ひとはくをつくろう」, 博物館. (111名)

大平和弘, 2016.12, 特注セミナー「ひとはくの環境系資料」, 博物館. (12名)

大平和弘, 2016.12, 一般セミナー「リアル！日本庭園のジオラマをつくろう！」, 博物館. (9名)

大平和弘, 2017.2, 特注セミナー「深田公園について（学習発表会）」, 博物館. (63名)

館外講演

大平和弘, 2016.5, 「むかしの資料でみるひょうごの風景」, 宝塚市立老人福祉センター, 講師, 宝塚市立老人福祉センター. (31名)

大平和弘, 2016.5, 「ひょうごの妖怪ばなし」, 宝塚市立老人福祉センター, 講師, 宝塚市立老人福祉センター. (34名)

大平和弘他, 2016.9, 「AWAJI 未来探検隊 -うずしお編-」, 国立淡路青少年交流の家, 国立淡路青少年交流の家. (38名)

大平和弘他, 2016.10, 「みんなでつくろう！あけのべ木の模型」, 鉾石の道明延実行委員会, 養父市立あけのべ自然学校. (40名)

大平和弘他, 2016.10, 「実物大！あかがね号をつくろう」, 鉾石の道明延実行委員会, 養父市立あけのべ自然学校. (40名)

大平和弘他, 2016.10, 「アンモナイトレプリカづくり」, 鉾石の道明延実行委員会, 養父市立あけのべ自然学校. (40名)

大平和弘他, 2016.10, 「日本庭園の風情～庭師とフランス人研究者たちの視点で捉える～」, 南禅寺会館. (20名)

大平和弘, 2016.10, 「佐用妖怪探訪」佐用町三河地域づくり協議会, 講師, 佐用町三河地域. (10名)

大平和弘他, 2016.11, 「さんだ街並見学研修会」, 建築士会三田支部, さんだ市民センター. (7名)

大平和弘, 2016.12, 「舞子公園ガイドボランティア養成講座」, 舞子公園管理事務所, 講師, レバンテ垂水. (40名)

大平和弘, 2017.1, 「三田市の景観とまちづくり」, 兵庫県立北摂三田高校, 講師, 兵庫県立北摂三田高校. (42名)

大平和弘, 2017.1, 「地域資源を活かした景観・まちづくり」, 兵庫県阪神南県民センター, 講師, 西宮市市民交流センター. (37名)

大平和弘他, 2017.2, 「ひょうご環境担い手サミット～『ワクワク』が人をつなぎ、地域の環境課題を解決する原動力になる～」, ファシリテーター, 兵庫県環境政策課, 兵庫県公館. (246名)

大平和弘他, 2017.2, 「AWAJI 未来探検隊 -うずしお番外編-」, 国立淡路青少年交流の家, 講師, 福良地区公民館. (44名)

大平和弘他, 2017.3, 「アンモナイトレプリカづく

り」, うずしお科学館・国立淡路青少年交流の家・人と自然の博物館・大鳴門橋記念館うずしお科学館. (498名)

兵庫県立大学・大学院教育

都市設計論及び演習 (分担)

COC 概論 (分担)

テレビ・ラジオ等出演

2016.7, 「収蔵資料展「温古写真大作戦!!むかしの写真で未来をつむごう」, サンテレビジョン「ひょうご “ワイワイ”」

2016.9, 「収蔵資料展「温古写真大作戦!!むかしの写真で未来をつむごう」, J:COM (ジェイコム)

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2016.8, ひょうご・ふるさとミュージアムプロジェクト, 道の駅うずしお, 南あわじ市. 分担者.

2016.8, ひょうご・ふるさとミュージアムプロジェクト, 南あわじ市立図書館, 南あわじ市. 分担者.

2016.10, 明延一円電車祭り, あけのべ自然学校, 養父市. 主担当.

2016.11, ひょうご・ふるさとミュージアムプロジェクト, 南あわじ市立図書館, 南あわじ市. 分担者.

2016.11, 八鹿文化祭, 八鹿公民館, 養父市. 分担者.

2016.11-12 「日本文化を育んだ自然 where culture meets nature」, 花落庵, 京都市, 分担者.

2016.3, 「2016 兵庫県立大学 COC フェスタ」, 神戸ハーバーランド・スペースシアター, 神戸市. 分担者.

2017.3, ひょうご・ふるさとミュージアムプロジェクト, うずしお科学館, 南あわじ市. 主担当.

■共催・協力・後援事業

共催事業

2016.10-11, 展示企画「淡路のみぢかな自然」, 南あわじ市立図書館. 共催/分担者

2017.1-2017.3, 「クロード・ルフェーブル写真展「風情 Fuzei」フランス人文化人類学者がとらえた日本庭園 Le Fuzei dans les jardins du japon」. 淡路夢舞台. 共催/責任者

2017.3-4, 「淡路のみかしの写真展 ～しぜん・まち・くらし～」, 南あわじ市立図書館. 共催/分担者

協力事業

2016.10, 一円電車まつり, 鉾石の道明延実行委員会・NPO 法人一円電車あけのべ・養父市, 養父市旧北星社宅ほか, 養父市. 協力/主担当

■担い手育成支援事業

成果発表

ガールスカウト兵庫県第 95 団, 2016.10-11, 展示企画「淡路のみぢかな自然」, 南あわじ市立図書館.

■学校教育支援

トライやるウィーク

2016.5-6, 三田市立長坂中学校 1 名, 三田市立八景

中学校. 1 名, 三田市立富士中学校. 1 名

学校団体対応

2016.4, 大阪府立泉北高等学校

2016.4, 兵庫県立宝塚北高等学校

2016.5, 淡路景観園芸学校

2016.5, 兵庫県立大学環境人間学部・経済学部・経営学部・看護学部

2016.6, 兵庫県立大学工学部・理学部

2016.8, 神戸市立六甲アイランド高等学校

2016.11, 兵庫県立大学環境人間学部

2016.11, 三田市立弥生小学校

2017.2, 三田市立弥生小学校

成果発表

2017.2, 三田市立弥生小学校, 公開学習発表会

講師派遣

2016.5, 「プロジェクト学習 地域に伝承や風習から自然と調和した暮らし方を探る①」, 兵庫県立大学附属中学校 3 年生

2016.6, 「プロジェクト学習地域に伝承や風習から自然と調和した暮らし方を探る②」, 兵庫県立大学附属中学校 3 年生

2016.7, 「プロジェクト学習地域に伝承や風習から自然と調和した暮らし方を探る③」, 兵庫県立大学附属中学校 3 年生

2016.9, 「プロジェクト学習地域に伝承や風習から自然と調和した暮らし方を探る④」, 兵庫県立大学附属中学校 3 年生

2016.10, 「プロジェクト学習地域に伝承や風習から自然と調和した暮らし方を探る⑤」, 兵庫県立大学附属中学校 3 年生

2016.11, 「プロジェクト学習地域に伝承や風習から自然と調和した暮らし方を探る⑥」, 兵庫県立大学附属中学校 3 年生

2017.1, 「プロジェクト学習地域に伝承や風習から自然と調和した暮らし方を探る⑦」, 兵庫県立大学附属中学校 3 年生

2017.1, 「三田市の景観とまちづくり」, 兵庫県立北摂三田高校 2 年生

2017.2, 「プロジェクト学習地域に伝承や風習から自然と調和した暮らし方を探る⑧」, 兵庫県立大学附属中学校 3 年生

■展示

2016.7-11, 収蔵資料展「温古写真大作戦!!むかしの写真で未来をつむごう」. 責任者

2016.7-, 常設展「人と自然」. 分担者

2016.7, 佐用町三河地域「みかわ古写真展」, 佐用町三河地域づくり協議会. 責任者

2016.10-2017.1, ミニ企画展「写真展「風情 Fuzei」～フランス人文化人類学者がとらえた日本庭園～」. 責任者

2016.10, 一円電車まつり「あけのべ古写真展」. 責任者

2016.10-11, 展示企画「淡路のみぢかな自然」, 南あ

わじ市立図書館. 分担者

2017.1- 2017.3, 「クロード・ルフェーブル写真展「風情 Fuzei」フランス人文化人類学者がとらえた日本庭園 Le Fuzei dans les jardins du japon」. 淡路夢舞台. 責任者

2017.2-4, ひとつはく研究員展「ひとつはくの研究の今」. 分担者

2017.3-, うずしおタペストリーと南淡路のお魚モビール, 大鳴門橋記念館. 責任者

2017.3-4, 「淡路のむかしの写真展 ～しぜん・まち・くらし～」, 南あわじ市立図書館. 分担者

2. シンクタンク事業

■受託研究

「鳴門海峡の渦潮世界遺産登録に向けた学術調査検討業務」. 代表者, 株式会社ヘッズ. (40 万円)
「うずしお科学館リニューアル改修および運営に関する技術支援業務」. 代表者, 株式会社ヘッズ. (100 万円)

「棚倉長里山プロジェクト事業業務」. 分担者, 棚倉町. (245 万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

2017.4 環境系収蔵庫の案内, フランス人写真家, 2 名.

2017.4 環境系収蔵庫の案内, さんだ景観人くらぶ, 2 名.

2017.5 環境系収蔵庫の案内, 淡路景観園芸学校, 7 名

2017.7 環境系収蔵庫の案内, 三河地域づくり協議会, 5 名.

2017.12 環境系収蔵庫の案内, 三河地域づくり協議会, 12 名.

■行政等支援

委員会等 (計 11 件)

2013.10- 三田市景観形成推進員, 三田市.

2014.10- 関西の残したい自然エリア選定検討委員会, 委員, 関西広域連合.

2013.4- 阪神南地域ビジョン委員会, 専門委員, 兵庫県阪神南県民局.

2015.8- 鳴門海峡の渦潮世界遺産学術調査検討委員, 会作業部会, 南あわじ市.

2015.8- うずしお科学館改修検討委員会作業部会, 南あわじ市.

2016.4- 西宮市都市景観・屋外広告物審議会, 委員, 西宮市.

2016.4- 西宮市都市景観・屋外広告物審議会景観アドバイザー部会, 委員, 西宮市.

2016.4- 宝塚市景観審議会, 委員, 宝塚市

2016.4- 宝塚市景観審議会デザイン協議部会, 委員, 宝塚市

2016.10- うずしお科学館アドバイザー会議, アドバイザー, 南あわじ市.

2016.11- 但馬牛博物館展示検討会, 委員, 兵庫県農政環境部農林水産局.

相談・指導助言

来訪者 10 件, 16 名. 電話・FAX 相談 20 件, メール相談 20 件.

■学会開催等支援

2016.10 公益社団法人日本造園学会関西支部ランドスケープ遺産部会 公開研究会, 事務局.

田原 直樹 TAHARA, Naoki

自然・環境マネジメント研究所

コミュニティデザイン（都市再生）研究グループ

次長（研究系）

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 教授。

昭和28年福岡県生。大阪大学大学院工学研究科博士課程修了。工学博士。日本都市計画学会，日本造園学会等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 事業推進部門

次長，ビジョン実現タスクフォース リーダー

2. プロジェクト

恐竜特色化推進プロジェクト。サブリーダー

キッピー山プロジェクト。分担者

古写真の活用プログラム開発。分担者

地域資源を活かした「明延」のまちづくり支援。分担者

佐用町での薬草による地域づくりの支援。分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 歴史的緑の研究

2. 環境文化に関する考察

■論文・著書

◎上田萌子・大平和弘・藤本真里・田原直樹・赤澤宏樹（2017）旧城下町の景観形成に向けた街路シークエンス景観の分析に基づく重点エリアの抽出，ランドスケープ研究，80巻5号，593-598。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

田原直樹，2016.5.14，一般セミナー「都市の歩き方・名所編 宝塚市中山寺・小浜・清荒神界隈を歩く」，宝塚市。（22名）

田原直樹，2016.6.4，一般セミナー「都市の歩き方・名所編 神戸市住吉・御影・岩屋界隈を歩く」，神戸市。（18名）

田原直樹，2016.10.4，一般セミナー「都市の歩き方・名所編 高砂市曾根・竜山界隈を歩く」，高砂市。（11名）

田原直樹，2016.10.22，一般セミナー「都市の歩き方・名所編 淡路島洲本界隈を歩く」，洲本市。（10名）

田原直樹，2016.11.5，一般セミナー「都市の歩き方・街道編 西国街道を歩く（京都府長岡京市調子八角から大阪府島本町櫻井駅跡まで）」，京都府長岡京市・大阪府島本町。（18名）

田原直樹，2016.11.19，一般セミナー「都市の歩き方・名所編 真田幸村を訪ねて大阪上町台地を歩く」，大阪市。（8名）

田原直樹，2016.4.1，オープンセミナー「資料解説 ミニトーク「竜馬が見た大阪」，三田市。（8名）

田原直樹，2016.7.16，オープンセミナー「明延ギャラリートーク」，三田市。（21名）

田原直樹，2016.10.7，特注セミナー「環境と共生する都市を考える」，三田市。（111名）

館外講演

田原直樹，2016.10.4，「姫路の都心部まちづくり」，平成28年度まちづくりセミナー，姫路市。（144名）

田原直樹，2016.10.11，「文化活動とまちづくり」，平成28年度地域文化を考えるシンポジウム，篠山市。（300名）

田原直樹，2017.2.14，姫路市政策課題研究助成成果発表会講評，姫路市。（100名）

兵庫県立大学・大学院教育

環境文化特別演習（主任）

都市設計論及び演習（主任）

共生博物学（分担）

COC 概論（分担）

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2016.10，明延一円電車祭り，あけのべ自然学校，養父市。分担者

2016.3，「2016 兵庫県立大学 COC フェスタ」，神戸ハーバーランド・スペースシアター，神戸市。分担者。

■共催・協力・後援事業

2016.10，一円電車まつり，鉾石の道明延実行委員会・NPO 法人一円電車あけのべ・養父市，養父市旧北星社宅ほか，養父市。協力／分担者

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

山崎敏昭，主担当（協働）

■展示

2016.7-11，収蔵資料展「温古写真大作戦！！むかしの写真で未来をつむごう」。分担者

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等（計17件）

2016.4-，兵庫県国土利用計画審議会，委員，兵庫県。

2016.4-，兵庫県生物多様性アドバイザー，アドバイザー，兵庫県。

2016.4-，兵庫県中播磨ビジョン委員会，専門委員，兵庫県中播磨県民センター。

2016.10-2017.3，兵庫県高大連携等連絡協議会，委員長，兵庫県教育委員会。

2016.4-，加古川東高校 SSH 運営指導委員会，委員，兵庫県教育委員会。

2016.4-，姫路市都市計画審議会，委員，姫路市。

2016.4-，姫路市景観広告物審議会，委員，姫路市。

2016.4, 姫路市景観広告物審議会デザイン部会, 会長, 姫路市.
2016.4, 姫路市まちづくり研究助成事業意見提案会, 座長, 姫路市
2016.10-, 姫路市文化コンベンション施設整備アドバイザー, アドバイザー, 姫路市
2016.4, 篠山市都市計画審議会, 会長, 篠山市.
2016.4-2017.3, 篠山市空き家等対策協議会, 委員, 篠山市
2016.4, 加西市都市計画審議会, 会長, 加西市.
2016.4, 加西市土地利用調整委員会, 委員, 加西市.
2016.4, 加西市鶉野ミュージアム(仮称)および地域活性化施設検討委員会, 委員長, 加西市
2016.4, 丹波 OB 大学運営委員会, 委員, (公財)丹波の森協会.
2016.4, 三重県総合博物館協議会評価部会, 委員, 三重県総合博物館.

相談・指導助言

来訪者 10 件, 20 名. 電話・FAX 相談 5 件, メール相談 5 件.

平成 28 年度姫路市契約業務指導・助言.

上田 萌子 UEDA, Moeko

自然・環境マネジメント研究部
環境計画研究グループ／企画調整室
研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 客員研究員
昭和57年愛知県生. 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科博士後期課程修了. 博士(緑地環境科学). 日本造園学会, 環境情報科学センター, 社叢学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 事業推進部門 企画調整室

館報編集担当, 「ひとはくレポート2012-2016 25周年記念特別版」企画・編集担当

2. 研究開発部門

研究担当, 予算担当

3. プロジェクト

ひょうご・ふるさとミュージアムプロジェクト. 代表者

佐用町での菓草による地域づくりの支援. 代表者
文科省博物館ネットワークにおけるレガシー事業. 分担者

鳴門海峡の渦潮の世界遺産登録に向けた検討支援. 分担者

うずしお科学館改修支援. 分担者

古写真の活用プログラム開発. 分担者

ゆめはくプロジェクト. 分担者

地域資源を活かした「明延」のまちづくり支援. 分担者

三田市景観計画策定支援. 分担者

ミツカンよかわビオトープ倶楽部支援. 分担者

棚倉町里山再生・活用プロジェクト. 分担者

兵庫県下市町の生物多様性地域戦略の策定・推進を目的とした行政支援. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 都市の土地利用変化とその環境に対する影響の評価に関する研究

2. 都市部の海岸緑地の再生に関する研究

3. 伝統的な祭祀空間の緑に関する研究

■論文・著書

◎上田萌子・大平和弘・藤本真里・田原直樹・赤澤宏樹(2017) 旧城下町の景観形成に向けた街路シーケンス景観の分析に基づく重点エリアの抽出. ランドスケープ研究, 80(5), 593-598.

■研究発表

上田萌子・大平和弘・押田佳子・上甫木昭春(2016) 鹿児島県錦江町周辺における「モイドン」の立地と存続状況に関する研究. 日本造園学会, 信州大学.

◎大平和弘・上田萌子・藤本真里・田原直樹・赤澤宏樹(2016) 兵庫県三田市旧城下町の景観形成に向けた景観資源の分布と居住者の認識との関係. 日本造園学会, 信州大学.

■学会役員など

日本造園学会論文集委員会, 編集委員.

環境情報科学学術研究論文集, 査読(2016.7).

日本造園学会造園技術報告集, 査読(2016.8).

■助成を受けた研究

市民の強剪定要望を克服する街路樹の維持管理システムと協働型の景観育成計画の構築. 文部科学省科学研究費挑戦的萌芽研究, 分担者(2016年度15万円/総額130万円)

地域再生に資する拠り所としての伝統的な祭祀空間のマネジメントに関する研究. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 分担者(2016年度25万円/総額182万円)

地域資源を活用した展示学習プログラムの実践による地域人材養成の試行. 平成28年度笹川科学研究助成, 代表者(43万円)

■賞罰

平成28年度クリタ水・環境科学研究優秀賞

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016.4-2017.3 古写真とその記憶収集. 佐用町, 三田市, 南あわじ市.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎上田萌子, 2016.6, オープンセミナー「絵図を使って立体カードをつくらう」, 博物館. (44名)

上田萌子, 2016.6, 特注セミナー「博物館の資料」, 博物館. (17名)

◎鈴木武・加藤茂弘・上田萌子, 2016.6, 特注セミナー「収蔵庫見学」, 博物館. (17名)

◎大平和弘・田原直樹・藤本真里・上田萌子・明延の皆さん, 2016.7, オープンセミナー「あけのベギヤラトーク」, 博物館. (21名)

◎上田萌子・フロアスタッフ, 2016.7, オープンセミナー「はかせと学ぼう! 収蔵資料展・ミニトーク『古写真とひょうごの風景』」, 博物館. (16名)

◎上田萌子, 2016.7, 一般セミナー「成ヶ島散策ツアー」, 洲本市成ヶ島. (20名)

◎上田萌子・大平和弘, 2016.8, 教職員セミナー「写真とふれあう 古い写真とカメラづくり」, 博物館. (30名)

◎上田萌子・フロアスタッフ, 2016.9, オープンセミナー「はかせと学ぼう! 『古写真に色をつけよう!』」, 博物館. (21名)

大平和弘・上田萌子, 2016.10, オープンセミナー「クロード・ルフェーブ氏による展示解説」, 博物館.

(35名)

上田萌子, 2016.11, 一般セミナー「古写真と絵図から読み解く植生景観と人のくらし」, 博物館. (8名)

◎上田萌子・大平和弘, 特注セミナー「ひとはくの環境系資料」, 博物館. (15名)

◎上田萌子・フロアスタッフ, 2015.12, オープンセミナー「ひとはく探検隊『150年前のひょうごの風景をみてみよう!』」, 博物館. (22名)

館外講演

上田萌子, 2016.8, 「鹿児島県錦江町のモイドンに関する調査結果報告会」, 鹿児島県錦江町, 錦江町役場・瀬戸山公民館. (28名)

上田萌子, 2016.8, 「伝統的な祭祀空間の緑に関する研究会」, 大阪府立大学, I-site なんば. (11名)

大平和弘・上田萌子, 2016.9, 「AWAJI 未来探検隊ーうずしお編ー」, 国立淡路青少年交流の家, 国立淡路青少年交流の家. (38名)

大平和弘・上田萌子・塚本健二・田原直樹, 2016.10, 「みんなでつくろう!あけのべ木の模型」, 鉾石の道明延実行委員会, 養父市立あけのべ自然学校. (40名)

大平和弘・上田萌子・塚本健二・田原直樹, 2016.10, 「実物大!あかがね号をつくろう」, 鉾石の道明延実行委員会, 養父市立あけのべ自然学校. (40名)

大平和弘・上田萌子・塚本健二・田原直樹, 2016.10, 「アンモナイトレプリカづくり」, 鉾石の道明延実行委員会, 養父市立あけのべ自然学校. (40名)

上田萌子, 2016.11, 「緑のまちづくりーその意義と実践ー」, 猪名川町, 猪名川町環境交流館. (15名)

大平和弘・上田萌子, 2016.11, 「さんだ街並見学研修会」, 建築士会三田支部, さんだ市民センター. (7名)

橋本佳延・上田萌子・大平和弘, 2017.2, 「ひょうご環境担い手サミット」, 兵庫県環境政策課, 兵庫県公館. (200名)

大平和弘・上田萌子, 2017.2, 「AWAJI 未来探検隊ーうずしお番外編ー」, 国立淡路青少年交流の家, 福良地区公民館. (44名)

上田萌子・大平和弘・池田忠弘・大谷雅人, 2017.3, 「アンモナイトレプリカづくり」, うずしお科学館・国立淡路青少年交流の家、人と自然の博物館, 大鳴門橋記念館うずしお科学館. (498名)

兵庫県立大学・大学院教育

COC 概論 (分担)

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2016.6, 「Kids キャラバン in 棚倉町」, 棚倉幼稚園, 福島県棚倉町. 分担者

2016.7-8, 「ひとはく夏休み特別企画 2016」, 淡路ハイウェイオアシス, 淡路市. 主担当

2016.8, 「ひょうご・ふるさとミュージアムプロジェクト」, 道の駅うずしお, 南あわじ市. 主担当

2016.8, 「ひょうご・ふるさとミュージアムプロジェクト」, 南あわじ市立図書館, 南あわじ市. 主担当

2016.9, 「タカの渡り観察会」, 兵庫県立あわじ花さじき, 淡路市. 分担者

2016.10, 「明延一円電車祭り」, あけのべ自然学校, 養父市. 分担者

2016.11, 「ひょうご・ふるさとミュージアムプロジェクト」, 南あわじ市立図書館, 南あわじ市. 主担当

2016.11, 「淡路うずしおフェスティバル 2016」, 国立淡路青少年交流の家, 南あわじ市. 主担当

2016.11, 「小さな学校キャラバン」, 神戸市立箕谷小学校, 神戸市. 主担当

2017.3, 「ひょうご・ふるさとミュージアムプロジェクト」, うずしお科学館, 南あわじ市. 分担者

■共催・協力・後援事業

2016.10, 一円電車まつり, 鉾石の道明延実行委員会・NPO 法人一円電車あけのべ・養父市, 養父市旧北星社宅ほか, 養父市. 協力/分担者

2016.10, 薬草についての見学学習会, 佐用町役場ほか, 佐用町.

2017.1-2017.3, 「クロード・ルフェーブル写真展「風情 Fuzei」フランス人文化人類学者がとらえた日本庭園 Le Fuzei dans les jardins du japon」. 淡路夢舞台. 共催/分担者

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

山崎敏昭, 副担当 (協働)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2016.5-6, 三田市立長坂中学校 1名, 三田市立八景中学校. 1名, 三田市立富士中学校. 1名

学校団体対応

2016.6, 大阪府立大学生命環境科学域

講師派遣

2016.5, 「プロジェクト学習 まちの風景を考える①」, 兵庫県立大学附属中学校 2年生

2016.6, 「プロジェクト学習 まちの風景を考える②」, 兵庫県立大学附属中学校 2年生

2016.7, 「プロジェクト学習 まちの風景を考える③」, 兵庫県立大学附属中学校 2年生

2016.9, 「プロジェクト学習 まちの風景を考える④」, 兵庫県立大学附属中学校 2年生

2016.10, 「プロジェクト学習 まちの風景を考える⑤」, 兵庫県立大学附属中学校 2年生

2016.11, 「プロジェクト学習 まちの風景を考える⑥」, 兵庫県立大学附属中学校 2年生

2017.1, 「プロジェクト学習 まちの風景を考える⑦」, 兵庫県立大学附属中学校 2年生

2017.2, 「プロジェクト学習 まちの風景を考える⑧」, 兵庫県立大学附属中学校 2年生

■展示

2016.7-, 常設展「人と自然」. 責任者

2016.7-11, 収蔵資料展「温古写真大作戦!!むかしの写真で未来をつむごう」. 分担者

- 2016.10- 11, 展示企画「淡路のみちかな自然」, 南あわじ市立図書館. 責任者
- 2016.10- 2017.1, ミニ企画展「写真展「風情 Fuzei」～ フランス人文化人類学者がとらえた日本庭園～」. 分担者
- 2017.1- 2017.3, 「クロード・ルフェーブル写真展「風情 Fuzei」 フランス人文化人類学者がとらえた日本庭園 Le *Fuzei* dans les jardins du japon」. 淡路夢舞台. 分担者
- 2017.2-4, ひとはく研究員展「ひとはくの研究の今」. 分担者
- 2017.3-4, 「淡路のむかしの写真展 ～しぜん・まち・くらし～」, 南あわじ市立図書館. 責任者

2. シンクタンク事業

■受託研究

- 「鳴門海峡の渦潮世界遺産登録に向けた学術調査検討業務」. 分担者, 株式会社ヘッズ. (40 万円)
- 「うずしお科学館リニューアル改修および運営に関する技術支援業務」. 分担者, 株式会社ヘッズ. (100 万円)
- 「棚倉長里山プロジェクト事業業務」. 分担者, 棚倉町. (245 万円)
- 「平成 28 年度淡路島太陽光発電事業地内の緑地用地域性苗栽培業務」. 分担者, 一般財団法人日本気象協会. (34 万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

環境系収蔵庫の案内, 3 回, 22 名.

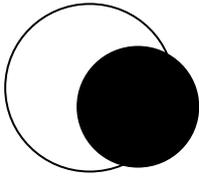
■行政等支援

委員会等 (計 7 件)

- 2010.8- 三田市景観形成推進員, 三田市.
- 2013.4- 阪神北地域ビジョン委員会, 専門委員, 兵庫県阪神北県民局.
- 2015.8- 鳴門海峡の渦潮世界遺産学術調査検討委員, 会作業部会, 南あわじ市.
- 2015.8- うずしお科学館改修検討委員会作業部会, 南あわじ市.
- 2016.4- 三田市景観審議会審査部会, 委員, 三田市.
- 2016.6- AWAJI 未来探検隊企画委員会, 企画委員, 国立淡路青少年交流の家
- 2016.6- 三田市行財政改革委員会, 委員, 三田市.

相談・指導助言

来訪者 10 件, 30 名. 電話・FAX 相談 10 件, メール相談 30 件.



個人別成果報告に関する資料

No. 6

●自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ/
生物多様性保全研究グループ

石田 弘明 ISHIDA, Hiroaki

自然・環境再生研究部
生物資源研究グループ
研究部長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部
門 教授.

昭和46年兵庫県生. 神戸大学大学院教育学研究科修士課程修了. 博士(農学). 植生学会, 日本生態学会, 森林立地学会, 日本緑化工学会所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 企画・調整室

室長

2. 研究開発部門

研究部長

3. プロジェクト

北摂里山博物館構想の支援. 代表者

棚倉町里山再生・活用. 代表者

兵庫県における未確認植物群落の実態把握. 代表者

たつの市鶏籠山の照葉樹林の保全. 代表者

三田市皿池湿原の保全. 代表者

照葉樹林の自然性および種多様性の復元. 代表者

兵庫の植生ガイドの作成. 分担者

生物多様性保全に資するジーンバンク事業の展開. 分担者

植生資料データベースの構築・公開. 分担者

植物・植生映像資料データベースの充実化と有効活用. 分担者

ひとはく生物多様性の森を活用した市民活動・環境学習支援. 分担者

三田市南公園まちなか里山保全プロジェクトの支援. 分担者

兵庫県下市町の生物多様性地域戦略の策定・推進を目的とした行政支援. 分担者

都市公園活用PJ. 分担者

乾燥種子標本の収集・活用. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 森林群落, 特に照葉樹林, ブナ林, 里山林の生物多様性とその保全・復元・再生に関する研究

2. 絶滅危惧植物の生態と保全に関する研究

■論文・著書

石田弘明・黒田有寿茂・岩切康二(2016) 宮崎市の公園緑地における半寄生植物オオバヤドリギの繁

茂と樹木衰退. 植生学会誌, 33, 15-32.

石田弘明(2017) シカによる外来木本群落の成立と分布拡大. 兵庫県立森林動物研究センター兵庫ワイルドライフモノグラフ, 9, 29-44.

■その他著作

石田弘明(2017) 宝塚市自然保護協会の活動の意義. 宝塚の自然, 31, 10.

■研究発表

Tetsu Shintaro, Kuroda Asumo & Ishida Hiroaki (2016) Habitat conditions of the endangered species *Veronica omata* (Plantaginaceae) in the Tangosakyu coast, Kyoto, Japan. 59th Annual Symposium of the International Association for Vegetation Science, Pirenópolis, Brazil.

■学会役員など

植生学会, 運営委員.

植生学会, 編集委員.

植生学会, 編集幹事.

植生学会第21回大会実行委員会, 委員.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016.4-2017.3, 植物・植生・景観等の写真. 新温泉町, 香美町, 三田市, 川西市, 南あわじ市, 洲本市, 多可町, 大分県九重町, 福島県棚倉町など.

■整理同定担当資料

種子標本.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

石田弘明, 2016.5, 兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習「植物と環境の関係を調べる①」, 上郡町. (7名)

石田弘明, 2016.5, 一般セミナー「里山の植物観察(初級編) なか・やちよの森公園」, 多可町. (6名)

石田弘明, 2016.7, 特注セミナー「里地里山の植物」, 博物館. (35名)

石田弘明, 2016.7, 兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習「植物と環境の関係を調べる③」, 上郡町. (7名)

石田弘明, 2016.7, 特注セミナー「里山林の生きもの」, 博物館. (14名)

石田弘明, 2016.8, オープンセミナー「風によって飛ぶタネの模型をつくろう」, 博物館. (55名)

石田弘明, 2016.8, 特注セミナー「身近な植物の不思議」, 博物館. (35名)

石田弘明, 2016.9, 特注セミナー「里山林の生きもの」, 博物館. (45名)
石田弘明, 2016.9, 特注セミナー「川西市のエドヒガン」, 博物館. (63名)
石田弘明, 2016.9, 特注セミナー「植生の遷移」, 博物館. (20名)
石田弘明, 2016.10, 兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習「植物と環境の関係を調べる⑤」, 上郡町. (7名)
石田弘明, 2016.10, 一般セミナー「里山の植物観察(初級編) あいな里山公園」, 神戸市. (12名)
石田弘明, 2016.11, オープンセミナー「風によって飛ぶタネの模型をつくろう」, 博物館. (36名)
石田弘明, 2016.11, 特注セミナー「湧水湿原の特徴と保全」, 博物館. (9名)
石田弘明, 2016.11, 兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習「植物と環境の関係を調べる⑥」, 上郡町. (7名)
石田弘明, 2017.1, 兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習「植物と環境の関係を調べる⑦」, 上郡町. (7名)
石田弘明, 2017.2, 兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習「植物と環境の関係を調べる⑧」, 上郡町. (7名)
石田弘明, 2017.2, 一般セミナー「ひょうご植生学講座①自然林」, 博物館. (16名)
石田弘明, 2017.2, 特注セミナー「里山林の生きもの」, 博物館. (69名)
石田弘明, 2017.2, 兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習「植物と環境の関係を調べる⑨」, 上郡町. (7名)
石田弘明, 2017.2, 特注セミナー「湿原の特徴と保全」, 博物館. (22名)
石田弘明, 2017.2, 一般セミナー「ひょうご植生学講座②里山林」, 博物館. (11名)
石田弘明, 2017.3, 一般セミナー「ひょうご植生学講座③草原」, 博物館. (14名)

館外講演

石田弘明, 2016.4, 「黒川・妙見サクラめぐりバス」, 北摂里山博物館運営協議会, 川西市. (34名)
石田弘明, 2016.5, 「北摂里山大学第1回講座: 猪名川上流域のエドヒガン群生地」, 北摂里山博物館運営協議会・兵庫県阪神北県民局. (40名)
石田弘明, 2016.5, 「日本一の里山」, 川西市立東谷小学校, 川西市. (147名)
石田弘明, 2016.5, 「北摂里山大学第2回講座」, 北摂里山博物館運営協議会・兵庫県阪神北県民局, 川西市. (40名)
石田弘明, 2016.6, 「エドヒガンってどんな桜? ~エドヒガンによる里山の魅力アップ~」, 棚倉町役場, 福島県棚倉町. (30名)
石田弘明, 2016.7, 「熱帯雨林」, 姫路市立生涯学習大学校, 姫路市. (50名)

石田弘明, 2016.7, 「ひとはくのジーンバンク事業」, 公益財団法人神戸市公園緑化協会, 神戸市. (32名)
石田弘明, 2016.8, 「皿池湿原の特徴と魅力①」, 三田市役所, 三田市 (31名)
石田弘明, 2016.8, 「皿池湿原の特徴と魅力②」, 三田市役所, 三田市 (28名)
石田弘明, 2016.8, 「皿池湿原の特徴と魅力③」, 三田市役所, 三田市 (45名)
石田弘明, 2016.9, 「SGH 講座①」, 関西大学高等部, 大阪府高槻市. (14名)
石田弘明, 2016.9, 「北摂里山大学第5回講座」, 北摂里山博物館運営協議会・兵庫県阪神北県民局, 三田市. (40名)
石田弘明, 2016.9, 「SGH 講座②」, 関西大学高等部, 大阪府高槻市. (14名)
石田弘明, 2016.10, 「北摂里山大学第6回講座」, 北摂里山博物館運営協議会・兵庫県阪神北県民局, 三田市. (40名)
石田弘明, 2016.10, 「武庫川の植物①」, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市. (29名)
石田弘明, 2016.10, 「武庫川の植物②」, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市. (24名)
石田弘明, 2016.10, 「瀬川平・兎和野ネイチャーウォッチング」, 兎和野高原野外教育センター, 香美町. (10名)
石田弘明, 2016.10, 「けやき台の里山の現状と管理のあり方」, もりんちゅうの会, 三田市. (6名)
石田弘明, 2016.10, 「皿池湿原守り人養成セミナー」, 三田市役所, 三田市. (31名)
石田弘明, 2016.10, 「SGH 講座③」, 関西大学高等部, 大阪府高槻市. (14名)
石田弘明, 2016.11, 「里山放置林の管理・活用方法」, 湊川短期大学, 三田市. (4名)
石田弘明, 2016.11, 「木の葉の観察とフロッターージュ」, 特定非営利活動法人 Future & Hope, 猪名川町. (24名)
石田弘明, 2016.12, 「皿池湿原の保全・管理」, 三田市役所, 三田市. (20名)
石田弘明, 2016.12, 「たなぐら里山ミュージアム」, 棚倉町役場, 東京都. (5名)
石田弘明, 2017.1, 「SGH 講座④」, 関西大学高等部, 大阪府高槻市. (14名)
石田弘明, 2017.1, 「二次草原の生態と保全」, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市. (26名)
石田弘明, 2017.1, 「SGH 講座⑤」, 関西大学高等部, 大阪府高槻市. (14名)
石田弘明, 2017.2, 「SGH 講座⑥」, 関西大学高等部, 大阪府高槻市. (14名)
石田弘明, 2017.3, 「里山林における植生観察の視点などについて」, 大阪府立刀根山高等学校. (7名)

兵庫県立大学・大学院教育
2016.9 兵庫県立大学 集中講義「共生生物学」(分

担)

2019.12 大学院環境人間学研究所 集中講義「植生学特別演習」

2016.4-2017.3 大学院環境人間学研究所 博士前期課程学生2名(川野智美, 江間 薫)の研究指導(主任)

2016.4-2016.7 兵庫県立大学自然・環境科学研究所 森林・動物研究部門教員(教授)候補者選考委員会 委員

2016.4-2016.7 兵庫県立大学自然・環境科学研究所 森林・動物研究部門教員(准教授)候補者選考委員会 委員

2016.10-2016.12 兵庫県立大学大学院環境人間学研究所大学院指導資格審査 審査委員長

2016.10-2016.12 兵庫県立大学大学院環境人間学研究所大学院指導資格審査 審査副委員長

2016.8 平成28年度兵庫県立大学大学院環境人間学研究所博士前期課程入試 専門Iの出題委員・採点委員

2016.8 平成28年度兵庫県立大学大学院環境人間学研究所博士前期課程入試 口述試験の面接委員

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2016.6, 「ひとはく Kids キャラバン in たなぐらまち」, 棚倉町立棚倉幼稚園, 福島県棚倉町. 分担者

■共催・協力・後援事業

2016.6, 環境学習プログラム「太陽光発電所の見学と在来野草による草原づくり体験」, 株式会社ユーラスエナジー淡路, 淡路市. 協力/主担当

2016.8-10, 皿池湿原守り人養成セミナー, 三田市役所, 三田市. 協力/主担当

2016.8, 皿池湿原見学会, 三田市役所, 三田市. 協力/主担当

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

山東の自然に親しむ会, 主担当(協働)

菊炭友の会, 主担当(協働)

櫻守の会, 主担当(協働)

藤原千鶴, 主担当(協働)

鐵 慎太郎, 主担当(協働)

成果発表

2017.2, 共生のひろば, 審査員.

■学校教育支援

トライやるウィーク

2016.6, 富士中学校(1名), ゆりのき台中学校(1名)

学校団体対応

2016.5, 「プロジェクト学習 植物と環境の関係を調べる①」, 兵庫県立大学附属中学校3年生

2016.7, 「プロジェクト学習 植物と環境の関係を調べる③」, 兵庫県立大学附属中学校3年生

2016.5, 「館外講演 日本一の里山」, 川西市立東谷小学校4年生

2016.7, 「特注セミナー 里山林の生きもの」, 西脇市立芳田小学校3年生

2016.9, 「特注セミナー 里山林の生きもの」, 小野市立河合小学校3年生

2016.9, 「館外講演 SGH 講座①」, 関西大学高等部1年生

2016.9, 「特注セミナー 川西市のエドヒガン」, 川西市立陽明小学校3年生

2016.9, 「館外講演 SGH 講座②」, 関西大学高等部1年生

2016.10, 「プロジェクト学習 植物と環境の関係を調べる⑤」, 兵庫県立大学附属中学校3年生

2016.11, 「館外講演 SGH 講座③」, 関西大学高等部1年生

2016.11, 「特注セミナー 湧水湿原の特徴と保全」, 兵庫県立北条高等学校1-2年生

2016.11, 「プロジェクト学習 植物と環境の関係を調べる⑥」, 兵庫県立大学附属中学校3年生

2017.1, 「館外講演 SGH 講座④」, 関西大学高等部1年生

2017.1, 「プロジェクト学習 植物と環境の関係を調べる⑦」, 兵庫県立大学附属中学校3年生

2017.1, 「館外講演 SGH 講座⑤」, 関西大学高等部1年生

2017.2, 「プロジェクト学習 植物と環境の関係を調べる⑧」, 兵庫県立大学附属中学校3年生

2017.2, 「特注セミナー 里山林の生きもの」, 神戸市立星和台小学校3年生

2017.2, 「プロジェクト学習 植物と環境の関係を調べる⑨」, 兵庫県立大学附属中学校3年生

2017.2, 「館外講演 SGH 講座⑥」, 関西大学高等部1年生

2017.3, 「特注セミナー 里山林における植生観察の視点などについて」, 大阪府立刀根山高等学校1-2年生

■展示

2017.2-4, ひとはく研究員展2017「ひとはくの今」. 分担者

2. シンクタンク事業

■受託研究

「シカに関する植物調査」. 兵庫県森林動物研究センター. 研究代表者(25万円)

「平成28年度大阪ガス株式会社姫路製造所等における生物多様性対応関連業務」. 大阪ガス株式会社. 研究分担者(134.244万円)

「ブイブイの森(南公園)里山保全・育成プロジェクト里山担い手養成業務」. 三田市. 研究分担者(60万円)

「平成28年度淡路島太陽光発電事業地内の緑地地域性苗栽培業務」. 一般財団法人日本気象協会. 研究代表者(34万円)

「棚倉町里山プロジェクト事業業務」. 棚倉町役場. 研究代表者(264.6万円)

「皿池湿原植物調査支援業務」. 公益財団法人ひょうご環境創造協会. 研究代表者(23.1万円)

「あいな里山公園地域性苗の育成業務」. 公益財団法人
ひょうご環境創造協会. 研究代表者 (10.8 万円)
「平成28年度猪名の笹原を構成していた植物種等の栽
培委託」. 伊丹市. 研究代表者 (49.9824 万円)
「平成28年度しあわせの森植栽用地域性苗の栽培」.
神戸市. 研究代表者 (96.46 万円)
「平成28年度シダ類等の栽培実験」. 公益財団法人 ひ
ょうご環境創造協会. 研究代表者 (54.99 万円)

■行政等支援

委員会等 (計6件)

2016.4-2017.6 津名東太陽光発電事業アドバイザー,
株式会社ユーラスエナジー淡路.
2016.4-2017.3 生物多様性アドバイザー, 兵庫県農
政環境部環境創造局自然環境課.
2016.7-2017.3 希少野生動植物種保存推進員, 環境
省自然環境局
2016.4-2017.3 環境情報センター客員研究員, 国崎
クリーンセンター啓発施設環境楽習館ゆめほたる
2016.5-2017.3 第4次三田市農業基本計画策定懇話
会委員, 三田市農業振興課
2016.4-2017.3 三田市文化財保護審議会委員, 三田
市生涯学習支援課

相談・指導助言

来訪者 14 件, 36 名. 電話・FAX 相談 24 件, メール
相談 28 件.

学会開催等支援

2016.10 植生学会第21回大会 (分担者)

橋本佳延 HASHIMOTO, Yoshinobu

自然・環境再生研究部
植生創出研究グループ
主任研究員

昭和51年愛知県生.神戸大学大学院総合人間科学研究科
修士課程修了.学術博士.日本生態学会, 植生学会, 環境教育学会, 造園学会等所属

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 事業推進部門

2. 研究開発部門

資料・データベース整備活用担当

3. プロジェクト

生物多様性保全に資するジーンバンク事業の展開, 代表者

植生資料データベースの構築・公開, 代表者

植物・植生映像資料データベースの充実化と有効活用, 代表者

ひとはく生物多様性の森を活用した市民活動・環境学習支援, 代表者

三田市南公園 まちなか里山保全プロジェクトの支援, 代表者

東お多福山草原保全・再生プロジェクトの推進, 代表者

生物多様性協働フォーラムの枠組みを活用した生物多様性の普及・啓発、研究開発, 代表者

兵庫県下市町の生物多様性地域戦略の策定・推進を目的とした行政支援, 代表者

兵庫の植生ガイドの作成, 分担者

関西広域連合広域環境保全計画実践への支援, 分担者
北摂里山博物館構想の支援, 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 半自然草原の生物多様性の再生に関する研究
2. タケ類天狗巣病による竹林の衰退に関する研究
3. 里山の生物多様性保全に関する研究
4. 外来植物の侵入・定着に関する研究

■その他著作

橋本佳延・澤田佳宏(2016)聞き取り資料:兵庫県神戸市川上集落による戦中・戦後における砥峰高原ススキ草原の利用・管理人と自然 27: 117-128

橋本佳延(2017)ひょうごの植物の多様性を未来に伝える取り組み〜ジーンバンク事業〜.ひとはく通信ハーモニー 96,2-3

■研究発表

橋本佳延・三橋弘宗・武田義明(2016)植生調査資料データベースの構築とその公開方法に関する研究. 植生学会第21回大会, 大東市

橋本佳延・三橋弘宗・武田義明(2017)国内における植生調査資料のアーカイブの現状および、その

WEB公開方法の最適化に関する研究. 日本生態学会第64回大会. 東京都

橋本佳延(2017)過去の植生の「状態」情報を流通させる植生調査資料DBの構築とその最適な公開方法の模索. 博物館の生態学 11 カタチのない自然史情報の価値をどう届けるか?〜その集積と配信するしくみを探る〜. 日本生態学会第64回大会, 東京都

松村俊和・澤田佳宏・橋本佳延(2017)ゴルフ場における草原生植物の種多様性と植生管理手法との関係. 日本生態学会第64回大会, 東京都

■学会役員など

2014.4-2017.3 植生学会 編集委員

2016.4-2018.3 日本生態学会 生態系管理専門委員会 幹事

■助成を受けた研究

過去の植生の姿を後世に伝える植生調査資料データベースの構築と最適な公開手法の開発. 文部科学省科学研究費若手研究(B). 代表者(2016年度60万円/総額310万円)

ゴルフ場の半自然草原を活用した生物多様性の保全. 文部科学省科学研究費基盤研究(C). 分担者(2016年度分担金30万円/総額370万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016.4-2017.3 里地・里山における植物および植生景観映像資料の収集(川西市, 三田市, 神戸市).

■整理同定担当資料

植生映像資料、植生調査資料.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

橋本佳延. 2016.4 「日本一の里山, 北摂地域の早春を観察しよう」川西市黒川(21名)

橋本佳延. 2016.4 「春の東お多福山草原植物観察会」東お多福山(20名)

橋本佳延. 2016.5 「館外特注セミナー 六甲山地 東お多福山草原 生きもの豊かなススキ草原の再生を目指して」(灘浜サイエンススクエア 82名)

◎橋本佳延. 2016.5 「オープンセミナー くるくる回って落ちる種子を観察しよう!」(60名)

橋本佳延. 2016.6 「初夏の東お多福山草原植物観察会」東お多福山(16名)

橋本佳延. 2016.6 特注セミナー「人と自然の博物館におけるジーンバンク事業」(三木市高齢者大学中セミナー室 20名)

橋本佳延. 2016.6 「特注セミナー 兵庫の里山とその保全」(いなみ野学園真田ゼミ 中セミナー室 6名)

橋本佳延. 2016.7 「まちなか里山セミナー 第1

回」(大セミナー室、12名)

橋本佳延. 2016.7 「祥雲館高校連携セミナー」(祥雲館高校 5名)

橋本佳延. 2016.8 「館外特注セミナー 里山保全活動のすすめ方」(神鋼かこがわ森の会 神鋼加古川体育館 30名)

橋本佳延.2016.8 「館外特注セミナー 里山の植物や植生を調べてみよう」(ひょうご環境体験館, 8名)

橋本佳延・大谷雅人 2016.8 「館外特注セミナー 里山調査実習」(川西里山倶楽部、妙見山、10名)

橋本佳延.2016.9 「館外特注セミナー 生物多様性と私たちの暮らし」(神戸市シルバーカレッジ 50名)

橋本佳延・黒田有寿茂・大谷雅人、2016.9 「まちなか里山セミナー 第2回」(南公園、9名)

橋本佳延. 2016.9 「祥雲館高校連携セミナー」(5名)

◎橋本佳延. 2016.9 「オープンセミナー くるくる回って落ちる種子を観察しよう!」(40名)

橋本佳延. 2016.9 「館外特注セミナー 生物多様性保全を考慮した森づくり」(ひょうご森の倶楽部、三木山森林公園, 40名)

橋本佳延. 2016.10 「特注セミナー 外国からやってきた植物」(フレミラ宝塚 大セミナー室 20名)

橋本佳延. 2016.10 「特注セミナー 生物多様性と里山管理～博物館の植物観察」(フレミラ宝塚 大セミナー室およびひとはく生物多様性の森 23名)

橋本佳延. 2016.10 「特注セミナー 兵庫の里山とその保全」(兵庫県立西宮今津高校 中セミナー室 22名)

橋本佳延. 2016.10 「特注セミナー ジーンバンク事業とジーンファーム視察」(阪神シニアカレッジ 中セミナー室 42名)

橋本佳延. 2016.11 「特注セミナー 兵庫の里山とその保全」(横大路地区まちづくり協議会 中セミナー室 22名)

橋本佳延. 2016.11 「まちなか里山セミナー 第3回」(南公園、11名)

橋本佳延. 2016.11 「まちなか里山セミナー 第4回」(南公園、8名)

橋本佳延. 2016.12 「まちなか里山セミナー 第5回」(実習室、9名)

橋本佳延・三橋弘宗・上田萌子・和田年史 2016.12 「生物多様性協働フォーラム第10回」(大阪国際会議場、350名)

橋本佳延. 2017.3 特注セミナー 兵庫の里山とその保全(実習室、大阪府立能勢高等学校 農業クラブ、9名)

館外講演

橋本佳延. 2016.6 「東お多福山草原の魅力 ～過

去・現在・未来～」兵庫県民会館(41名)

橋本佳延 2016.8 「東お多福山草原生物多様性ガイド養成講座 第2回」(東お多福山 22名)

橋本佳延. 2016.9 「自然資源を活かした地域づくり実現塾 第1回」(環境省生物多様性センター・(公財)日本自然保護協会主催、中央区環境情報センター 34名)

橋本佳延 2016.10 「東お多福山草原生物多様性ガイド養成講座 第3回」(東お多福山 22名)

橋本佳延 2016.10 「東お多福山草原生物多様性ガイド養成講座 第4回」(東お多福山 40名)

橋本佳延. 2016.10 「第4分科会 茅葺き文化の継承のための茅場の保全・再生」(第11回全国草原サミット、新温泉町全国草原サミット・シンポジウム実行委員会、夢ホール、250名)

橋本佳延. 2016.11 「六甲山系の森林保全の重要性」(マスターズ山登りの会 魚崎西町会館 32名)

橋本佳延. 2016.11 「北摂 SATOYAMA 国際セミナー エキスカーション」(兵庫県阪神北県民局ほか主催、兵庫県川西市黒川ほか、37名)

橋本佳延. 2016.11 「自然資源を活かした地域づくり実現塾第2回 登研修」(環境省生物多様性センター・(公財)日本自然保護協会主催、石川県健康の森総合交流センター多目的ホール 34名)

橋本佳延 2016.11 「東お多福山草原生物多様性ガイド養成講座 第5回」(兵庫県民会館 21名)

橋本佳延. 2016.11 「先行事例から考える生物多様性地域戦略の作り方、進め方」(日本自然保護協会セミナー 岡山国際交流センター 37名)

橋本佳延 2017.2 「グループディスカッション」(「環境担い手サミット」兵庫県公館・兵庫県環境政策課 245名)

橋本佳延 2017.2 講演「東お多福山における草原活動の10年～その成果と課題～」(「第4回 阿南市生物多様性フォーラム」阿南市富岡公民館ホール、阿南市 80名)

橋本佳延 2017.3 「人と自然のつながり再発見! ～環境活動の魅力～」(加古川市立ウェルネスパーク、加古川市、18名)

非常勤講師

2016.5, 里山実習, 関西学院大学.

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2016.11-2016.12 企画展「日本文化を育んだ自然 Where culture meets nature」(花洛庵)分担者

■共催・協力・後援事業

共催

2016.6-11 東お多福山草原生物多様性ガイド養成講座. 兵庫県神戸県民センター, 六甲山地東お多福山ほか. 主担当. 共催

協力

2016.11 北摂 SATOYAMA 国際セミナー(川西市黒川ほか), 兵庫県阪神北県民局. 主担当

■学校教育支援

トライやるウィーク

2016.6 富士中学校. 1名、ゆりのき台中学校. 1名

学校対応

2016.5 宝塚市立すみれが丘小学校4年生 88名

2016.9 西宮市立西宮浜小学校4年生 64名

2016.10 神戸市立櫛谷小学校3年生 8名

2017.2 川西市清和台南小学校 3年生 81名

■研修生等の受入

博物館実習生

2016.8 滋賀県立大学1名、神戸学院大学1名、高知大学1名、神戸芸術工科大学1名、甲南女子大学1名、神戸大学1名、広島大学大学院1名、筑波大学1名、仏教大学1名

■展示

2016.6-7, ミニ企画展「写真展 ニュータウンの森のなかまたち」.分担者

2016.7- 11, 収蔵資料展「温古写真大作戦!!むかしの写真で未来をつむごう」. 分担者

2016.11-12, 館外展示「日本文化を育んだ自然 where culture meets nature」.分担者

2017.2- 4, ひとつはく研究員展「ひとつはくの研究の今」. 分担者

2. シンクタンク事業

■受託研究

「平成28年度大阪ガス(株) 姫路製造所等における生物多様性対応関連業務」. 大阪ガス(株). 130.515万円(責任者)

「ブイブイの森(南公園) 里山保全・育成プロジェクト 里山担い手養成業務」. 三田市. 60万円(責任者)

「平成28年度尼崎の森中央緑地 地域性苗木栽培業務」. 兵庫県阪神南県民局. 110.04万円(責任者)

「平成28年度 ミツマタ栽培記録等作成業務」株式会社 里と水辺研究所.15万円(責任者)

「平成28年度 株式会社竹中工務店における生物多様性対応関連業務」株式会社竹中工務店.17.01万円(責任者)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファームの案内, 5回, 10名.

■行政等支援

委員会等 (計8件)

2013.1-2019.3 加古川市環境審議会, 委員, 加古川市

2013.8-2017.3 神戸市生物多様性神戸プラン2020 推進会, 委員, 神戸市

2016.7 生物多様性保全活動モデル事業審査会. 審査員. 兵庫県但馬県民局

2012.7- 希少野生動植物保存推進委員, 委員, 環境省

2014.10- 関西の残したい自然エリア選定検討委員会. 委員. 関西広域連合環境保全局

2015.4-2017.3 持続的な地域創生を推進する人材育

成拠点形モデル事業ワーキンググループ委員.(公財) 日本自然保護協会

2017.3- 平成28年度生物多様性しが戦略推進専門家会議. 委員. 滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課

相談・指導助言

来訪者5件, 10名. 電話・FAX相談5件, メール相談5件.

藤井 俊夫 FUJII, Toshio

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ

主任研究員

昭和39年香川県生. 大阪市立大学大学院理学研究科修士課程修了. 理学修士. 日本生態学会, 日本植物分類学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 研究開発部門

生涯学習推進室 (連携事業担当)

2. プロジェクト

都市公園と里山林の植物相の保全と活用. 代表者

丹波地域の貴重種の探索と保全活動. 代表者

乾燥種子標本の収集・活用. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 野生木本植物の個体群生態学的研究

2. 貴重種の保全生態学的研究

■研究発表

藤井俊夫, 長谷川匡弘・横川昌史, 外来生物調査プロジェクト(ProjectA). 2017.3. 近畿地方におけるアメリカオニアザミの分布 (予報). 地域自然史と保全研究発表会. 関西自然保護機構. ポスター発表. 大阪自然史博.

■学会役員など

近畿植物同好会, 顧問.

多紀連山のクリンソウを守る会, 顧問

三重生き物と自然の会, 顧問

ささやま自然の会, 顧問

■助成を受けた研究

津波攪乱域に新規に出現した希少植物群の保全遺伝学的研究—地域固有性の解明と保全—, 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (B), 研究分担者 (2016年度 15万円/総額 2000万).

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016.4-2017.3, 植物標本収集. 兵庫県, 大阪府, 京都府, 奈良県, 和歌山県, 三重県, 滋賀県, 岡山県.

■整理同定担当資料

種子標本.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

藤井俊夫, 2016. 4. 一般セミナー「マツバラン観察会」, たつの市. (3名)

藤井俊夫, 2016. 5. 一般セミナー「春日山原始林

観察会」, 奈良市. (6名)

藤井俊夫, 2016. 6. 一般セミナー「有馬富士公園の植物観察会」, (15名)

藤井俊夫, 2016. 7. 一般セミナー「公園の街路樹(深田公園)」, (6名)

藤井俊夫, 2016. 8. 一般セミナー「武田尾の植物観察会」, (22名)

藤井俊夫, 2016. 9. 一般セミナー「ため池の植物観察会(鴨池)」, (17名)

藤井俊夫, 2016. 10. 一般セミナー「加西市のため池観察会(逆池)」, (15名)

藤井俊夫, 2016. 11. 一般セミナー「ノジギク植物観察会」(7名)

藤井俊夫, 2016. 10. オープンセミナー「ドングリの観察」(25名)

藤井俊夫, 2016. 11. オープンセミナー「飛ぶタネの観察」(25名)

藤井俊夫, 2016. 12. 一般セミナー「カヤツリグサ科勉強会」(18名)

藤井俊夫, 2016.6. 特注セミナー「春日山の植物とシカ」, クラーク記念国際高校. (42名)

藤井俊夫, 2016.8. 特注セミナー「雑草の特性」, 宝塚市教育委員会. (39名)

藤井俊夫, 2016.10 特注セミナー「どんぐりころころ」, 西宮市立津門小学校3年生. (94名)

藤井俊夫, 2016.8. 特注セミナー「植物標本の作り方と利用」, 神河町教育委員会. (45名)

藤井俊夫, 2016.10. 高校連携セミナー「植物生態学入門」, (有馬高校). (48名)

藤井俊夫, 2016.10. 特注セミナー「種子散布の生態学」, 大阪シニア自然大学緑組. (37名)

藤井俊夫, 2016.10. 特注セミナー「種子散布の生態学」, 大阪シニア自然大学風組. (54名)

藤井俊夫, 2016.10. 特注セミナー「種子散布の生態学」, 大阪シニア自然大学星組. (54名)

藤井俊夫, 2016.10. 特注セミナー「タネの世界」, 兵庫教育大学附属小学校3年生. (93名)

藤井俊夫, 2017.2. 特注セミナー「植物の冬越し」, 川西市市立東谷小学校3年生. (121名)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2016.6, 三田市立富士中学校 (1名)、ゆりのき台中学校 (1名).

講師派遣

藤井俊夫, 2016.5, 「近畿植物同好会第648回観察会(山陰海岸)」, 近畿植物同好会, 竹野, 浜坂. (25名)

藤井俊夫, 2016.6, 「近畿植物同好会第649回観察会(泉佐野丘陵緑地)」, 近畿植物同好会, 泉佐野. (35名)

藤井俊夫, 2016.9, 「近畿植物同好会第652回観察会(くろんど池自然公園)」, 近畿植物同好会, 生駒. (25名)

2. シンクタンク事業

■行政等支援

相談・指導助言

来訪者 30 件, 50 名. 電話・FAX 相談 43 件, メール
相談 56 件.

大谷 雅人 OHTANI, Masato

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ / 生涯学習推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 准教授.

昭和54年神奈川県生. 東京大学大学院農学生命科学研究所生圏システム学専攻修士課程修了. 農学博士. 日本生態学会, 日本植物分類学会, 日本森林学会, 森林遺伝育種学会所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 事業推進部門 生涯学習推進室

展示担当 (常設展示の補修, 企画展示のコーディネート等)

2. プロジェクト

文科省博物館ネットワークにおけるレガシー事業. 分担者

ミュージアムボックスおよび4Fひとはくサロンの整備. 分担者

館内の壊れた箇所をチマチマ修理するプロジェクト. 分担者

共生のひろば. 分担者

棚倉町里山再生・活用プロジェクト. 分担者

乾燥種子標本の収集・活用. 分担者

生物多様性保全に資するジーンバンク事業の展開. 分担者

植物・植生映像資料データベースの充実化と有効活用. 分担者

ひとはく生物多様性の森を活用した市民活動・環境学習支援. 分担者

三田市南公園 まちなか里山保全プロジェクトの支援. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 草原性植物の地域性種苗としての活用に関する研究
2. 種内倍数性多型をもつ全寄生植物キヨスミウツボの系統地理に関する研究
3. オチフジ, カッコソウ等の絶滅危惧植物の遺伝的多様性および保全に関する研究

■論文・著書

後藤晋・高橋誠・大谷雅人 (2016) ブナ産地試験地の伐採後にみられた萌芽力の地理的変異. 森林遺伝育種 5: 121-126

岩泉正和・笹島芳信・磯田圭哉・那須仁弥・大谷雅人 (2016) 固有樹種シコクシラベの核 SSR マーカーに基づく遺伝的変異の評価. 森林遺伝育種 5: 172-179.

上野真義・大谷雅人・吉丸博志 (2016) 模擬実験を目的とした樹木からの DNA 抽出方法の改良と実

施. 森林総合研究所研究報告 15: 161-163.

Widiyatno, Indrioko S, Na'iem M, Uchiyama K, Numata S, Ohtani M, Matsumoto A, Tsumura Y (2016) Effects of different silvicultural systems on the genetic diversity of *Shorea parvifolia* populations in the tropical rainforest of Southeast Asia. *Tree Genetics and Genomes* 12:73.

■その他著作

指村奈穂子・池田明彦・池田史枝・大谷雅人・澤田佳宏・須貝杏子・内貴章世・古本良・横川昌史 (2016) 絶滅危惧種クロボウモドキの保全を目指した個体群構造・分布様式・遺伝構造の研究. 自然保護助成基金成果報告書 24: 49-65.

大谷雅人・三原菜美 (2016) 第648回例会 観察会 山陰海岸浜坂方面. 近畿植物同好会会報 123:24.

■研究発表

大谷雅人・満行知花・池田明彦・指村奈穂子・陶山佳久 (2017) 特異な分布を示す海浜性の絶滅危惧植物バシクルモンにおける地理的遺伝構造. 日本生態学会第64回大会, P2-O-419, 東京都新宿区.

Ohtani M, Iwaizumi MG, Miyamoto N, Yano K, Nasu J, Takahashi M (2016) Year-to-year variation in paternal and maternal reproductive successes of Momi fir trees in Abukuma Mountains, eastern Japan. IUFRO Abies2016: The 15th International Conference on Ecology and Silviculture of Fir, P-27, School of Agriculture, Hokkaido University, Sapporo.

Kimura KM, Ohtani M, Iwaizumi MG, Yano K, Takahashi M (2016) Changes in the population structure of *Abies firma* in a temperate mixed forest located in Fukushima Prefecture, eastern Honshu, Japan. IUFRO Abies2016: The 15th International Conference on Ecology and Silviculture of Fir, P-09, School of Agriculture, Hokkaido University, Sapporo.

Iwaizumi MG, Munehara-Kawai Y, Sasajima Y, Isoda K, Nasu J, Ohtani M (2016) Evaluation of genetic structure and diversity within and among populations of an endemic species, *Abies veitchii* var. *shikokiana* in Shikoku, Japan. IUFRO Abies2016: The 15th International Conference on Ecology and Silviculture of Fir, P-07, School of Agriculture, Hokkaido University, Sapporo.

井上奈津美・井上遠・松本斉・大谷雅人・吉田丈人・鷺谷いづみ (2016) 奄美大島の森林の樹洞における樹洞営巣性鳥類の利用可能性: 伐採履歴, 森林構成を踏まえて. 日本鳥学会 2016 年度大会, P078, 北海道札幌市.

■学会役員など

日本生態学会近畿地区会, 事務局庶務担当

■助成を受けた研究

里地・里山の生物多様性・生態系サービス指標および評価手法の開発. 文部科学省科学研究費基盤研究(B). 分担者 (2016 年度 60 万円 / 総額 200 万円)

兵庫県および近隣地域における草地生草本植物の遺伝構造分析: 緑地再生・創出における地域性種苗の積極的活用に向けて. 公益信託エスベック地球環境研究・技術基金. 代表者 (2016年度 60万円 / 総額 60万円)

河川争奪が兵庫県および近隣地域の草地生植物の遺伝構造におよぼした影響の解明. 平成28年度公立大学法人兵庫県立大学特別研究助成金. 代表者 (2016年度 15万円 / 総額 15万円)

兵庫県を代表する絶滅危惧植物オチフジの遺伝的現状の把握. 特色化推進費研究支援事業. 代表者 (2016年度 15万円 / 総額 15万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016.4-2017.3 里地・里山における植物および植生景観映像資料の収集 (三田市, 神戸市, 新温泉町, 洲本市, 淡路市, 南あわじ市, 福島県棚倉町等)

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

大谷雅人・藤井俊夫・三原菜美, 2016.5, 「武田尾溪谷の植物を観察しよう (第1回)」, 武田尾溪谷, 兵庫県宝塚市・西宮市. (48名)

大谷雅人・フロアスタッフ, 2016.6, 「はかせと学ぼう! ~サボテン・多肉植物の不思議~」, 博物館. (24名)

大谷雅人, 2016.6, 「ブイブイの森のキノコと草花を観察しよう (第1回)」, 南公園, 兵庫県三田市. (17名)

橋本佳延・大谷雅人, 2016.8, 「館外特注セミナー 里山調査実習」, 川西里山倶楽部, 妙見山, 兵庫県川西市. (10名)

大谷雅人・フロアスタッフ, 2016.8, ひとつはく探検隊「夏の植物の絵を描こう!」, 博物館. (20名)

大谷雅人, 2016.8, 「植物を絶滅から守るには: 保全生態学入門編」, 博物館. (のべ11名) 2021

橋本佳延・黒田有寿茂・大谷雅人, 2016.9, 「まちなか里山セミナー 第2回」, 南公園, 兵庫県三田市. (9名)

大谷雅人, 2016.10, 「イネ科植物観察会」, 博物館. (19名)

大谷雅人, 2016.10, 「武田尾溪谷の植物を観察しよう (第2回)」, 武田尾溪谷, 兵庫県宝塚市・西宮市. (20名)

大谷雅人, 2016.10, 「ブイブイの森のキノコと草花を観察しよう (第1回)」, 南公園, 兵庫県三田市. (19名)

館外講演

大谷雅人, 2016.4, 「桐生の誇り, カッコソウ~その遺伝的多様性を守る意義とは?~」, 講師, 桐生自

然観察の森, 群馬県桐生市. (30名)

大谷雅人, 2016.5, 「シニア自然大学校 武田尾勉強会」, 講師, 武田尾溪谷, 兵庫県宝塚市・西宮市. (25名)

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2016.6, 「ひとつはく Kids キャラバン in たなぐらまち」, 棚倉町立棚倉幼稚園, 福島県棚倉町. 分担者

2016.11, 「淡路うずしおフェスティバル 2016」, 国立淡路青少年交流の家, 兵庫県南あわじ市. 分担者

2016.11-12, 「日本文化を育んだ自然 Where culture meets nature」, 花洛庵, 京都府京都市中京区. 分担者

2017.3, 「兵庫ふるさとミュージアムプロジェクト」, うずしお科学館, 兵庫県南あわじ市. 分担者

■共催・協力・後援事業

2016.6, 環境学習プログラムー太陽光発電所の見学と在来野草による草原づくり体験ー, 株式会社ユーラスエナジー淡路, 淡路市. 分担者

■学校教育支援

トライやるウィーク

2016.5-6, 富士中学校 (1名), ゆりのき台中学校 (1名)

学校団体対応

2016.4, 兵庫県立大学附属中学校ガイダンスキャン「研究員の紹介とお話」, 兵庫県立大学附属中学校. (76名)

2016.6, 「里山林の生き物たち」, 京都府立綾部高等学校農芸化学科. (33名)

講師派遣

2016.7, 「成徳小学校構内の植物の観察 (※1)」, 尼崎市立成徳小学校 (57名)

■展示

2016.11-12, 館外展示「日本文化を育んだ自然 where culture meets nature」. 分担者

2017.2-4, ひとつはく研究員展 2017「ひとつはくの研究の今」. 分担者

2. シンクタンク事業

■受託研究

「平成28年度 大阪ガス株式会社姫路製造所等における生物多様性対応関連業務」, 大阪ガス株式会社 CSR・環境部, 研究分担者 (134.244万円)

「平成28年度淡路島太陽光発電事業地内の緑地地域性苗栽培業務」, 一般財団法人日本気象協会, 研究分担者 (34万円)

「ブイブイの森 (南公園) 里山保全・育成プロジェクト里山担い手養成業務」, 三田市, 研究分担者 (60万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

■行政等支援

委員会等 (計2件)

2015.4-, カッコソウ協議会委員, 桐生市市民生活部環境課.

2016.11-, 但馬牛博物館展示検討会構成員, 兵庫県農

政環境部農林水産局畜産課.

相談・指導助言

来訪者 3 件, 10 名. 電話・FAX 相談 5 件. (※2)

学会開催等支援

2016.12, 日本生態学会近畿地区会 2016 年度第 1 回総
会・例会.

※1 当日, 明瞭なタイトルを設定しなかった.

※2 暫定値.

黒田 有寿茂 KURODA, Asumo

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ／生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 講師。

昭和53年愛知県生。広島大学大学院理学研究科博士課程修了。博士(理学)。植生学会、日本生態学会等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 研究開発部門

資料担当

2. プロジェクト

山陰海岸における海浜植物・海浜植生の保全推進。代表者

名勝慶野松原の保全・再生。代表者

ひょうご植生ガイドの作成。代表者

北摂里山博物館構想の支援。分担者

たつの市鶏籠山の照葉樹林の保全。分担者

棚倉町里山再生・活用プロジェクト。分担者

乾燥種子標本の収集・活用。分担者

生物多様性保全に資するジーンバンク事業の展開。分担者

植生資料データベースの構築・公開。分担者

植物・植生映像資料データベースの充実化と有効活用。分担者

ひとはく生物多様性の森を活用した市民活動・環境学習支援。分担者

三田市南公園 まちなか里山保全プロジェクトの支援。分担者

兵庫県下市町の生物多様性地域戦略の策定・推進を目的とした行政支援。分担者

文科省博物館ネットワークにおけるレガシー事業。分担者

加東市との連携と環境学習事業への支援。分担者

「ドリームスタジオ・スペシャル」プロジェクト。分担者。

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 海岸植生の生物多様性保全に関する研究

2. 里山林の遷移と生物多様性保全に関する研究

3. 希少植物・絶滅危惧植物の生態に関する研究

4. シダ植物の生態に関する研究

5. 兵庫県の重要植物群落の保全に関する研究

■論文・著書

石田弘明・黒田有寿茂・岩切康二(2016) 宮崎市の公園緑地における半寄生植物オオバヤドリギの繁茂と樹木衰退。植生学会誌, 33: 15-32.

■その他著作

黒田有寿茂(2017) 海浜植物ウンランの保全に向け

て。ハーモニー, 96: 4.

■研究発表

Tetsu, S., Kuroda, A. & Ishida, H. (2014) Habitat conditions of the endangered species *Veronica ornata* (Plantaginaceae) in the Tango Sand Dune, Kyoto, Japan. 59th Annual Symposium of the International Association for Vegetation Science (June 12-17), Pousada dos Pireneus, Pirenópolis, Brazil.

黒田有寿茂・藤原道郎・澤田佳宏・服部 保(2016) 瀬戸内地方における海浜植物ウンランの保全・再生の可能性—植生調査、植栽試験、種子発芽試験による評価。植生学会第21回大会, 大阪産業大学。

澤田佳宏・黒田有寿茂(2016) 養浜工事によって持ち込まれた国内外来植物—淡路島慶野松原の事例—。植生学会第21回大会, 大阪産業大学。

黒田有寿茂(2016) 瀬戸内海沿岸における海浜植物ウンランの保全・再生の可能性。第13回環境人間学フォーラム, 兵庫県立大学。

■学会役員など

植生学会, 編集委員

■助成を受けた研究

海浜植生の生物多様性保全に向けた絶滅危惧植物数種における発芽・定着機構の解明。科学研究費助成事業 若手研究(B), 研究代表者(2016年度91万円/総額273万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016.4-2017.3 植物および植生の映像資料収集。川西市, 宝塚市, 南あわじ市, 洲本市, 美方郡新温泉町, 宍粟市, 朝来市, 篠山市, 明石市, 多可郡多可町, たつの市, 姫路市, 京都府, 愛知県, 青森県, 石川県, 奈良県, 新潟県, 宮崎県, 大分県, 福島県。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

黒田有寿茂, 2016.4, 一般セミナー「里地・里山で身近な植物を観察しよう 春編」, 宝塚市。(16名)

黒田有寿茂, 2016.4, オープンセミナー「ならそう草笛」, 博物館。(33名)

黒田有寿茂, 2016.6, 一般セミナー「里地・里山で身近な植物を観察しよう 夏編」, 宝塚市。(21名)

黒田有寿茂, 2016.8, 教職員・指導者セミナー「ひょうごの森と身近な樹木」, 博物館。(22名)

黒田有寿茂, 2016.8, 特注セミナー「ジーンファーム見学」, 安田女子高等学校, 博物館。(34名)

黒田有寿茂, 2016.8, オープンセミナー「わらで紙づくり」, 博物館。(78名)

黒田有寿茂, 2016.10, オープンセミナー「楽しい草あそび」, 博物館。(22名)

黒田有寿茂, 2016.11, オープンセミナー「マツ葉で

遊ぼう!」, 博物館. (30名)

黒田有寿茂, 2016.12, 一般セミナー「海岸の植物・植生と環境」, 博物館. (9名)

■館外講演

黒田有寿茂, 2016.10, 「第5回 北摂里山大学(分担者)」, 阪神北県民局, 有馬富士公園. (20名)

黒田有寿茂, 2016.10, 「猪ノ倉の植物ウォッチング」, 西谷自治会連合会, 宝塚自然の家周辺. (10名)

黒田有寿茂, 2017.2, 「海岸の植物・植生と環境」, 宝塚市社会福祉協議会, フレミラ宝塚(宝塚市立老人福祉センター). (33名)

黒田有寿茂, 2017.2, 「ため池の植物・植生と環境」, 宝塚市社会福祉協議会, フレミラ宝塚(宝塚市立老人福祉センター). (34名)

■兵庫県立大学・大学院教育

共生博物学(分担, 全学)

植物生態学特論(環境人間学研究科)

■共催・協力・後援事業

2016.6-7. 企画展「山陰海岸の植物」. 琴引浜鳴き砂文化館, 協力.

■担い手成長支援事業

■連携活動グループ・地域研究員

菊炭友の会(アドバイザー:副)

櫻守の会(アドバイザー:副)

■学校教育支援

■トライやるウィーク

2016.5-6, 三田市立富士中学校1名, 三田市立ゆりのき台中学校1名

■講師派遣

2016.7. 「フィールド科学実習」, 講師, 兵庫県立西宮今津高等学校2年生・3年生. (24名)

2016.10. 「楽しい草花あそび」, 講師, 西脇市立桜丘小学校3年生. (27名)

■展示

2016.11-12. 企画展「日本文化を育んだ自然 Where culture meets nature」, 花洛庵. 分担者

2. シンクタンク事業

■受託研究

「慶野松原維持のための林床植生適正化に関わるウンラン等栽培・管理研究業務」, 兵庫県立淡路景観園芸学校. 研究代表者. (24万円)

「皿池湿原植物調査支援業務」, 公益財団法人ひょうご環境創造協会. 研究分担者. (23万円)

「平成28年度大阪ガス株式会社姫路製造所等における生物多様性対応関連業務」, 大阪ガス株式会社. 研究分担者. (134万円)

■行政等支援

■委員会等(計4件)

2014.4. 生物多様性アドバイザー, 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課.

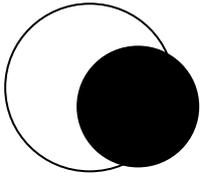
2014.6. 明石市環境審議会委員, 明石市.

2014.6. 加東市とひとはく協力協定連携推進会議委員, 加東市.

2015.7-. 希少野生動植物種保存推進員, 環境省自然環境局.

■相談・指導助言

来訪者5件, 15名. 電話・FAX相談5件.



個人別成果報告に関する資料

No. 7

●コミュニケーション・デザイン研究ユニット

高橋 晃 TAKAHASHI, Akira

自然・環境再生研究部

コミュニケーション・デザイン研究グループ

次長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 所長, 系統分類研究部門 教授.

昭和 29 年岐阜県生. 大阪大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学. 理学博士.

日本植物学会, 日本植物分類学会, 日本植生史学会, International Association of Wood Anatomists, ヒマラヤ植物研究会, 全日本博物館学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

4. プロジェクト

頌栄短期大学植物標本の登録・整理. 代表者

植物標本の資料整理とデータ公開. 代表者

日本産木材標本の収集保管. 代表者

ひょうごふるさとミュージアム・プロジェクト. 分担者

ゆめはくネットワークの推進. 代表者

Kids キャラバン. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 兵庫県内各地の植物の分類・地理学研究
2. 木本植物の組織形態学・解剖学的研究
3. 植物を素材とする自然史教育・環境学習の展開

■論文・著書

◎小館誓治・高瀬優子・古谷 裕・八木 剛・高橋 晃 (2016) 自然系博物館における幼児向け科学教育プログラム—身近な生きものを題材として. 博物館学雑誌, 42 (1), 37-45.

◎高橋 晃・八木 剛・小館誓治 (2016) 自然系博物館における自然素材を用いた展示物開発 —市民目線による展示物製作の実験的試行—. 博物館学雑誌, 42 (1), 55-64.

■その他著作

◎角谷由美子・高橋 晃 (2016) 兵庫県北部における伝統的な植物利用 —編組製品に着目して—. 人と自然 No. 27, 129-148.

■学会発表

◎小館誓治・高瀬優子・古谷 裕・八木 剛・塚本

健司・清水文美・高橋 晃 (2016) 自然系博物館と幼稚園との連携による体験型プログラムの実施事例—身近な生きものを題材として. 全日本博物館学会第 42 回研究大会, 明治大学, 東京.

◎高橋 晃・八木 剛・小館誓治 (2016) 自然素材を使って市民がつくる博物館展示. 全日本博物館学会第 42 回研究大会, 明治大学, 東京.

◎高橋 晃・高野温子 (2016) 兵庫県の植物相研究: 播磨の絶滅危惧種オチフジの秘められた生活史. 藤原ナチュラルヒストリー振興財団・神戸シンポジウム「ナチュラルヒストリー—これまでの貢献と今後への期待—」, 基調講演, 兵庫県民会館, 神戸.

◎高橋 晃 (2016) 子どもの生物多様性学習のための博物館的手法の開発. 第 13 回環境人間学フォーラム, 兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス, 姫路.

■学会役員など

査読: Journal of Plant Research, 2 件

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016. 5-10 種子植物, 香美町, 洲本市, 南あわじ市, 福島県, 鹿児島県

■受贈担当資料

2016. 7. 28 材鑑証拠さく葉標本 (2016 会津森林管理署管内), 森林総合研究所, 交換, 135 点.

2016. 8. 24 材鑑プレパラート標本 (茨城県森林管理署管内標本), 森林総合研究所, 交換, 196 点.

2016. 10. 25 材鑑標本 (2016 会津森林管理署管内), 森林総合研究所, 交換, 126 点.

2017. 1. 4 日本産植物標本, 人間環境大学, 交換, 102 点.

2017. 1. 12 材鑑証拠さく葉標本 (2016 鹿児島県北薩森林管理署管内標本), 森林総合研究所, 交換, 149 点.

2017. 3. 1 材鑑標本 (2016 北薩森林管理署管内標本), 森林総合研究所, 交換, 134 点.

2017. 3. 1 材鑑標本 (2016 所内伐採木標本), 森林総合研究所, 交換, 3 点.

■整理同定担当資料

種子植物 (日本産、外国産)、材鑑標本・プレパラート標本

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- ◎高橋 晃 2016.4 特注セミナー、「生物多様性とわたしたちの暮らし」、大阪大学理学部生物科学専攻1年生、博物館。(64名)
- ◎高橋 晃 2016.4 オープンセミナー、「春の花を見にいこう」、深田公園、博物館。(6名)
- ◎高橋 晃 2015.5 一般セミナー、「香美町の春の花を見にいこう ①ハチ北高原の春の花」、香美町・ハチ北高原自然協会・山陰海岸ジオパーク談話会共催、香美町村岡区。(14名)
- ◎高橋 晃 2015.5 一般セミナー、「香美町の春の花を見にいこう ②小代の滝をめぐって花を見よう」、香美町・山陰海岸ジオパーク談話会共催、香美町小代区。(21名)
- ◎高橋 晃 2015.6 特注セミナー「道端の植物に親しむ」、シニア自然大学校「緑組」、博物館。(34名)
- ◎高橋 晃 2015.7 博物館実習ガイダンスセミナー「ひとはく資料と収蔵庫について」、収蔵庫見学、博物館。(16名)
- ◎高橋 晃・小館誓治 2015.7-8 博物館実習「自然素材を使った親子向けプログラムの企画・実施に関する実習」、博物館。(2名)
- ◎山内健生・橋本佳明・高橋 晃・布野隆之 2016.8 オープンセミナー、「生物系収蔵庫ツアー」、博物館。(34名)
- ◎高橋 晃・長谷川太一・レモンリーフ 2016.10 一般セミナー、「植物画を描こう1・2」、博物館。(10名)
- ◎高橋 晃 2016.10 特注セミナー「生物多様性とわたしたちの暮らし」、イオン明石チアーズクラブ、博物館。(12名)
- ◎橋本佳明・高橋 晃・布野隆之 2016.11 オープンセミナー、「生物系収蔵庫ツアー」、博物館。(21名)
- ◎高橋 晃 2015.11 一般セミナー「淡路・三熊山に登って植物を見てみよう」、洲本市。(15名)
- ◎高橋 晃・橋本佳明・布野隆之 2017.3 オープンセミナー、「生物系収蔵庫ツアー」、博物館。(35名)

館外講演など

- 高橋 晃 2015.6.14 「嬉野台の植物」、うれしの学園生涯大学、嬉野台生涯教育センター、加東市。(35名)
- 高橋 晃 2016.11.13 「①西脇の植物、②外来生物の脅威と現状」、西脇かんきょう大学、西脇市教委、西脇市。(40名)

兵庫県立大学・大学院教育

- 2016.7 環境人間学研究科担当科目「生物多様性特別演習」、(主任)
- 2016.4-2017.3 環境人間学研究科運営委員会委員
- 2016.4-2017.3 環境人間学研究科将来計画委員会委員
- 2016.4-2017.3 県立大学教育研究審議会委員

- 2016.4-2017.3 県立大学学部長等連絡会議委員
- 2016.4-2017.3 県立大学コンプライアンス推進会議委員
- 2016.4-2017.3 県立大学改革推進本部任期制教員制度検討部会委員
- 2016.4-2017.3 県立大学自己評価委員会委員
- 2016.4-2017.3 県立大学附属学校委員会委員

非常勤講師

- 2016.5 「博物館特論」、大阪学院大学国際学部。

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

- 2016.5 うれしの春のフェスティバル、嬉野台生涯教育センター、加東市。(主担当)
- 2016.9 キッズキャラバン、篠山市立たき幼稚園、篠山市、40名。(副担当)
- 2016.10 科学する子どもの集い、但馬文教府、豊岡市。(副担当)
- 2016.11 うずしおフェスティバル、国立淡路青少年交流の家、南あわじ市。(副担当)
- 2016.12 キッズキャラバン、赤穂市立赤穂幼稚園、赤穂市、120名。(主担当)

■共催・協力・後援事業

- 2016.4-2017.3 平成28年度六甲山環境整備協議会「二つ池環境学習林」の指導者派遣、六甲山記念碑台周辺、六甲山を活用する会/アドバイザー
- 2016.4-2017.3 平成28年度「六甲山魅力再発見市民セミナー」、六甲山自然保護センター、六甲山を活用する会/アドバイザー

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

- GREEN GRASS, 主担当(アドバイザー, 主催事業等運営支援)
- 一般社団法人ハチ北高原自然協会, 主担当(アドバイザー, 自然案内人運営支援)
- 山陰海岸ジオパーク談話会, 主担当(アドバイザー, ジオセミナー等の支援)
- 六甲山を活用する会, 主担当(六甲山環境整備協議会アドバイザー)
- 地域研究員: 福岡忠彦, 主担当(アドバイザー)
- 地域研究員: 西野雅満, 主担当(アドバイザー)
- 地域研究員: 西野眞美, 主担当(アドバイザー)
- 地域研究員: 林 美嗣, 主担当(アドバイザー)
- 地域研究員: 増井啓治, 主担当(アドバイザー)
- 地域研究員: 松岡成久, 主担当(アドバイザー)
- 地域研究員: 布施静香, 主担当(アドバイザー)
- 地域研究員: 法西 浩, 副担当(アドバイザー)
- 地域研究員: 牛島清治・牛島富子, 副担当(アドバイザー)

成果発表

- 2017.2 第12回共生のひろば、「植物画一葉を描く」、田地川和子・貴島せい子・肥田陽子(GREEN GRASS). 指導助言

■学校教育支援

学校団体対応

2015. 5 「世界一の木の話」, 伊丹市立昆陽里小学校 4
年生, 博物館 (93名)
2015. 7 「生物多様性とわたしたちの暮らし」, 徳島県
立富岡中学校2年生, 博物館 (80名)
2016. 12 「生物系収蔵庫見学」, 加古川東高校1年生,
博物館 (60名)
2017. 1 「中学校理科自由研究発表会・講評」, 伊丹市
教育委員会, 伊丹市. (80名)

■研修生等の受入

博物館実習

2016. 7-8 琉球大学理学部学生 1 名, 甲南女子大学人
間科学部学生1名

■展示

2016. 4-5 セミナー成果発表展「Gallery Hyohon
Bako 雑貨屋さん風ミュージアム」. (責任者)

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

- 生物系収蔵庫の案内 7回, 110人

■行政等支援

委員会等 (計5件)

2016. 4- 日本の絶滅のおそれのある野生生物 (維
管束植物) 環境省版レッドデータブック兵庫県主
任調査員, 環境省自然環境局.
2016. 4- 希少野生動植物種保存推進員, 環境省自
然環境局.
2016. 4- 生物多様性アドバイザー, 兵庫県農政環
境部環境創造局自然環境課.
2016. 4- 三田市環境審議会会長, 三田市市民生活
部環境共生室環境衛生課.
2016. 4- 県立やしろの森公園評議員, やしろの森
公園協会.

相談・指導助言

- 電話・メール等による相談 15件(10名)
来訪者 10件 (5名)

三谷 雅純 MITANI, Masazumi

自然・環境再生研究部

コミュニケーション・デザイン研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門 准教授

昭和29年香川県生 京都大学大学院動物学研究科博士後期課程修了。理学博士。日本福祉のまちづくり学会, 日本コミュニケーション障害学会, 日本霊長類学会, International Primatological Society, 日本熱帯生態学会, 日本アフリカ学会, 全日本博物館学会, 日本哺乳類学会, 日本生態学会, 兵庫県政学会所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 研究シンクタンク推進室

研究紀要「人と自然 (Humans and Nature)」編集委員長

2. プロジェクト

言語音がわかりにくい高次脳機能障がい者とともに作る生涯学習施設の放送音声。代表者
アフリカ中央部 (カメルーン、コンゴ共和国など) の既存収集品の整理。代表者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 人間行動科学から見たヒトのコミュニケーション行動の研究
2. ユニバーサル・ミュージアムの視点から見た生涯学習のあり方の研究

■共同研究

1. Indonesia, Java 島の Pangandaran NR におけるシルバールトン (霊長類) 個体群の長期調査と森林動態

■その他著作

三谷雅純 (2017) ゆっくりと、じっくりと、社会の主人公になる。日本失語症協議会全国大会事務局 (編)。第31回日本失語症協議会全国大会インひょうご報告書, 三田, pp. 17-21.

■ブログへの情報提供

9件

三谷雅純 (2016) 和地 俊さんの『私のサクセス』(あるいは『私とサクセス』)。ユニバーサル・ミュージアムをめざして 80, ひとくブログ (10月12日)

[http://www.hitohaku.jp/blog/2016/10/post_2228/]

三谷雅純 (2016) 「私だけ」のものと「あなたたち」。ユニバーサル・ミュージアムをめざして 81, ひとくブログ (10月25日)

[http://www.hitohaku.jp/blog/2016/10/post_2233/]

三谷雅純 (2016) 言葉でない〈ことば〉を「通訳」すること。ユニバーサル・ミュージアムをめざして 82, ひとくブログ (11月16日)

[<http://www.hitohaku.jp/blog/2016/11/82/>]

三谷雅純 (2016) 人は人の〈ことば〉を待っている。

ユニバーサル・ミュージアムをめざして 83, ひとくブログ (11月29日)

[http://www.hitohaku.jp/blog/2016/11/post_2257/]

三谷雅純 (2016) 「わがまま」の境界。ユニバーサル・ミュージアムをめざして 84, ひとくブログ (12月13日)

三谷雅純 (2017) ヒトが地球に残す跡。ユニバーサル・ミュージアムをめざして 85, ひとくブログ (1月6日)

三谷雅純 (2017) インフォームド・コンセント (十分に説明を聞いた上での同意)。ユニバーサル・ミュージアムをめざして 86, ひとくブログ (1月6日)

[http://www.hitohaku.jp/blog/2017/01/post_2280/]

三谷雅純 (2017) アートと哲学。ユニバーサル・ミュージアムをめざして 87, ひとくブログ (1月27日)

[http://www.hitohaku.jp/blog/2017/01/post_2281/]

三谷雅純 (2017) 水木しげるさんの「幸福の七カ条」。ユニバーサル・ミュージアムをめざして 88, ひとくブログ (2月17日)

[http://www.hitohaku.jp/blog/2017/02/post_2283/]

■学会役員など

人と自然 Humans and Nature, 査読者

人と自然 Humans and Nature, 編集委員長

■助成を受けた研究

言語音がわかりにくい高次脳機能障がい者とともに作る生涯学習施設の放送音声。科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) (基盤研究(C)), 日本学術振興会, 研究代表者 (120万円/290万円)

言語音がわかりにくい高次脳機能障がい者に適した放送音声の工夫。平成28年度研究助成, JR西日本あんしん社会財団, 研究代表者 (141万円)

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎三谷雅純, 2016.4, 特注セミナー「道具を使うチンパンジー」, ガッツクラブ, 博物館. (99名)

◎三谷雅純, 2016.5, 「霊長類学 頭の体操 2016年版」, 博物館. (9名)

◎三谷雅純, 2016.5, 特注セミナー「道具を使うチンパンジー」, 高槻市立南平台小学校 5年生, 博物館. (66名)

◎三谷雅純, 2016.6, 「<こころ>と<ことば>を科学する 2016年版」, 博物館. (5名)

◎三谷雅純, 2016.8, 夏期教職員セミナー「『障害』のある子どもたちが感じていること」, 博物館. (21名)

◎三谷雅純, 2015.8, 特別セミナー「道具を使うチンパンジー」, 神河町教育委員会, 博物館. (51名)

◎三谷雅純, 2016.11-2017.1, 「霊長類学が描くヒトの姿—われわれは何者か?」(県立有馬高等学校連携セミナー), 博物館. (全2回, 80名)

館外講演

三谷雅純、2016.10, 招待講演「ゆっくりと、じっくりと、社会の主人公になる」, 第31回日本失語症協議会全国大会インひょうご(神戸芸術センター) (567名)

三谷雅純、2016.11, 「霊長類学 頭の体操」, さんだ生涯学習カレッジ大学院(自然環境コース)有馬富士自然学習センター。(40名)

兵庫県立大学・大学院教育

2016.5~6. 平成28年度西地区共通教育科目「人と自然の共生」(霊長類学の立場から), 姫路書きキヤンパス, (全3回, 210名)

■地域研究員養成事業

連携グループ等

市民団体「サイエンス・サロン」(主催)

■学校教育支援

学校団体対応等

2016.4, ガッツクラブ, 99名

2016.5, 高槻市立南平台小学校5年生, 66名

2016.8, 神河町教育委員会. 51名

2016.11, 兵庫県立有馬高等学校1年生. 40名

2017.1, 兵庫県立有馬高等学校1年生. 40名

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等(計3件)

2016.4-2017.3, Primate Specialist Group, member, The World Conservation Union (IUCN).

2016.4-2017.3, Species Survival Commission, member, The World Conservation Union (IUCN).

2016.4-2017.3, 青少年育成事業団, 理事, (財)関西テレビ青少年育成事業団.

相談・指導助言

来訪者10件, 40名. メール相談200件.

2016.4- 高次脳機能障がい者のアクティビティについて.

2016.4- 障がい児のキャンプを中心とした野外活動について.

小館 誓治 KODATE, Seiji

自然・環境再生研究部

コミュニケーション・デザイン研究グループ 研究員
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門
助教。

昭和 37 年福岡県生。神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了。学術博士。森林立地学会、植生学会、日本ペドロロジー学会、全日本博物館学会等所属。

<事業部での配属室の仕事>

1. プロジェクト

Kids サンデープロジェクト。代表者

「深田公園植物情報」展示等による演示プログラムの
試行プロジェクト。代表者

年配者と地域の子どもをつなぐプロジェクト。代表者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 森林群落における植生と土壌に関する研究
2. 博物館教育に関する研究

■論文・著書

- ◎小館誓治・武田義明（2016）アカマツ林小面積皆伐初期におけるアカマツの定着・成長と土壌環境。人と自然 27号：33-41.
- ◎小館誓治・高瀬優子・古谷 裕・八木 剛・高橋 晃（2016）自然系博物館における幼児向け科学教育プログラム—身近な生きものを題材として。博物館学雑誌 42（1）：37-45.
- ◎高橋 晃・八木 剛・小館誓治（2016）自然系博物館における自然素材を用いた展示物開発—市民目線による展示制作の実験的試行。博物館学雑誌 42（1）：55-64.

■その他著作

- ◎小館誓治・古谷 裕・八木 剛・高瀬優子（2016）科学技術コミュニケーション推進事業機関連携推進「ネットワーク形成先進的的科学館連携型」平成 23 年度採択企画「ゆりかごから科学を—幼少時からの体験に基づいた科学的好奇心育成の基盤構築と実践」終了報告書：1-44.
- 小館誓治（2017）「地元の子どもに、身近な自然を伝える」活動を支える。宝塚の自然 創立 40 周年記念特集 31 号：11.

■ブログへの情報提供

10 件

■研究発表

- ◎小館誓治・高瀬優子・古谷 裕・八木 剛・塚本健司・清水文美・高橋 晃（2016）自然系博物館と幼稚園との連携による体験型プログラム実施事例—身近な生きものを題材として。全日本博物館学会第 42 回研究大会，明治大学 駿河台校舎。
- ◎小館誓治・高瀬優子・古谷 裕・八木 剛・高橋 晃

（2016）年配者と子どもの世代間交流の推進 ～ひととはくのアウトリーチ教育の実践と課題。平成 28 年度兵庫自治学会研究発表大会分科会，兵庫県立大学 神戸商科キャンパス。

- ◎高橋 晃・八木 剛・小館誓治（2016）自然素材を使って市民がつくる博物館展示。全日本博物館学会第 42 回研究大会，明治大学 駿河台校舎。
- ◎小館誓治（2017）自然系ミュージアムにおける子ども向けプログラムの工夫と反応「研究交流会 in SENDAI 2017 地域で育つ子どもたちのために、ミュージアムがなすべきこと。こどもひかりプロジェクト，仙台国際センター。
- ◎小館誓治・武田義明（2017）アカマツ林小面積皆伐初期におけるアカマツの定着・成長と土壌環境。日本ペドロロジー学会 2017 年度大会，和歌山県民交流プラザ。

■助成を受けた研究

被災した子ども達が大人になるまで—博物館こそができる長期継続型支援システムの構築 文部科学省科学研究費 基盤研究(C) 研究分担者 (10 万円/380 万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016.4-2017.3 植物・植生・景観などの写真撮影・資料収集。神戸市，芦屋市など。

■整理同定担当資料

土壌断面映像資料。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- ◎小館誓治，2016.4，オープンセミナー「はかせと学ぼう！ちょっと観察！この植物（春）」，博物館・深田公園（17 名）。
- ◎小館誓治，2016.4，「芦屋市奥山地域で春の植物観察」，芦屋市（9 名）。
- ◎小館誓治，2016.5，「六甲山「森の植物」観察会（春）」，六甲山（8 名）。
- ◎小館誓治，2015.6，「太山寺周辺の樹林で多様性を知る」，神戸市・太山寺（16 名）。
- ◎小館誓治，2016.7，「森と土の観察会（再度山編）」，神戸市・再度山（5 名）。
- ◎小館誓治，2016.5，オープンセミナー「run♪run♪さんぽ クスノキみつけよ！」，博物館・深田公園（12 名）。
- ◎小館誓治，2016.6，オープンセミナー「run♪run♪さんぽ ちいさいお花をみつけよ！」，博物館・深田公園（18 名）。
- ◎小館誓治，2016.8，オープンセミナー「たねタネ おえかきくなつやさいへん」，博物館（15 名）。
- ◎小館誓治，2016.8，教職員・指導者セミナー「小さな子どもの指導者向け 身近な植物の観察の

仕方」, 博物館・深田公園 (30名).

- ◎小館誓治, 2016.9, 「里山林の保全・復元・再生」, 博物館 (17名).
- ◎小館誓治, 2016.10, オープンセミナー「run♪run♪さんぽ どんぐり みつけよ!」, 博物館・深田公園 (27名).
- ◎小館誓治, 2016.10, オープンセミナー「はかせと学ぼう! ちょっと観察! この植物 (秋)」, 博物館 (12名).
- ◎小館誓治, 2016.11, 「芦屋市奥山地域の樹林で多様性を知る」, 芦屋市 (8名).
- ◎小館誓治, 2016.11, オープンセミナー「みんなでドングリひろい」, 博物館 (25名).
- ◎小館誓治, 2017.2, オープンセミナー「はかせと学ぼう! ちょっと観察! この植物 (冬)」, 博物館 (13名).
- ◎小館誓治, 2017.3, オープンセミナー「ねっこの観察」, 博物館・深田公園 (21名).
- ◎小館誓治, 2017.3, オープンセミナー「ひとつはく探検隊 『早春の植物を観察しよう!』」, 博物館・深田公園 (26名).
- ◎小館誓治, 2016. 5-2017. 3, フレミラ宝塚しぜんクラブ定例「小さな子どもの指導者 向け講座」 (全11回), 宝塚市 (207名).

館外講演

- ◎小館誓治, 2016.6, 「有馬富士公園で植物観察」, 宝塚市立老人福祉センター, 講師, 三田市. (18名).
- ◎小館誓治, 2016.6, 地域の自然を学ぶI「地域の植生・植物を知る (自然の見方)」, 阪神シニアカレッジ, 講師, 三田市. (26名).
- ◎小館誓治, 2015.7, 地域の自然を学ぶII「地域の植生・植物を知る (生育環境・遷移)」, 阪神シニアカレッジ, 講師, 三田市. (26名).
- ◎小館誓治, 2016.9, 「六甲山の植物観察とその手法を学ぶ」, 六甲山自然案内人の会, 講師, 神戸市. (43名).
- ◎小館誓治, 2016.9, 現地調査II『地域の自然を知る』「里山林の自然観察」, 阪神シニアカレッジ, 講師, 三田市. (17名).
- ◎小館誓治, 2016.10, 「植物図鑑と植物について」, 兵庫県立図書館, 講師, 明石市. (12名).
- ◎小館誓治, 2016.10, 「第4回ビオトープ観察会『ドキドキ! わくわく! 植物のふしぎなミクロの世界!』」, こうべ環境未来館, 講師, 神戸市. (23名).
- ◎小館誓治, 2016.11, 「植物の観察方法 (役に立つ植物と怖い植物)」, 宝塚市立老人福祉センター, 講師, 宝塚市. (27名).
- ◎小館誓治, 2016.11, 「中山寺周辺で植物の見分け方実習」, 宝塚市立老人福祉センター, 講師, 宝塚市. (22名).
- ◎小館誓治, 2017.2, 「エコバスツアー『地味でもス

ゴイ! 冬の植物ウォッチング』」, 宝塚市環境政策課, 講師, 宝塚市. (18名).

- ◎小館誓治, 2017.3, 「山野草を観察して、ヨモギだんごをつくろう!」, 宝塚市立老人福祉センター, 講師, 宝塚市. (42名).

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

- 2016. 7 ひとつはく Kids キャラバン in 赤穂 (サイエンス寺子屋), 赤穂市立海洋科学館, 赤穂市. 主担当
- 2016. 7 マツの木のふしぎ 「『しぜんとあそぼう』ムシと葉っぱのワクワク大発見!!」 (フレミラ宝塚), 宝塚市. セミナー担当

■共催・協力・後援事業

- 2016.4-2017.3 「自然観察サポーターチーム活動への支援事業」. NPO 法人北播磨市民活動支援センター, 小野市他. 共催/主担当 (全5回)
- 2016.7 「しぜんとあそぼう 2016」. 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市. 共催/主担当
- 2016.9-10 「おおふなとしぜんかわらばん 2016」. 大船渡市立博物館, 岩手県大船渡市. 共催/主担当
- 2016.10 「秋祭り作品展『昆虫・植物標本展示コーナー』」. 湊川短期大学附属北摂中央幼稚園, 三田市. 共催/主担当
- 2016.10 公立図書館の子ども読書活動支援モデル事業「明石公園をたんけんして、葉っぱのミニずかんをつくろう!」. 兵庫県立図書館, 明石市, 共催/主担当.
- 2016.11 「オープンスクール日歩で遊ぼう!」. 神戸市立長尾幼稚園, 神戸市. 共催/主担当
- 2016.12 「昆虫標本展示」. 湊川短期大学附属キッズポート保育園, 三田市. 共催/主担当

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

- 北播磨自然観察サポーターチーム「おおばこの会」 (アドバイザー)
- フレミラ宝塚「しぜんクラブ」 (アドバイザー)
- 増井啓治 (地域研究員アドバイザー副担当)

成果発表

- 2017. 2, 共生のひろば「おおばこの会 10年のあゆみ ~わたしたちのフィールド小野市での活動~」, 北播磨自然観察サポーターチーム「おおばこの会」, 指導
- 2017. 2, 共生のひろば「宝塚市で子どもたちに自然や生き物のおもしろさを伝える ~しぜんクラブの活動 2016」, フレミラ宝塚「しぜんクラブ」, 指導

■学校教育支援

トライやるウィーク

- 2016.11 神戸市立有野中学校. 2名, 神戸市立北神戸中学校. 1名.

学校団体対応

- 2016.4 兵庫県立大学附属中学校1年生 (77名).
- 2016.6 小野市立小野東小学校3年生 (125名).

- 2016.7 神戸大学附属中等学校1年生(125名).
2016.7 兵庫県立長田高等学校1年生(9名).
2016.10 兵庫県立農業高等学校1年生(42名).
2016.11 篠山市立多紀小学校・篠山市立城東小学校2年生(29名).

講師派遣

- 2016.9, 「葉っぱでビンゴ(植物の観察のしかた)」, 小野市立小野東小学校3年生, 講師, 小野市.(128名).
2016.10 「開魂園の池の生きものと森の生きもの観察(秋)」, 講師, 加東市立東条西小学校3年生, 加東市(15名).
2016.11 「植物の観察の仕方について」, 講師, 神戸市立長尾幼稚園教諭, 神戸市(6名).
2016.11 「どんぐりとなかよくなるう!(秋の植物観察)」, 講師, 神戸市立長尾幼稚園年長とその保護者, 神戸市(99名).
2016.12 「葉っぱを知ろう!葉っぱでアート(秋の植物観察)」, 講師, 小野市立小野東小学校3年生, 小野市(133名).
2016.12 「開魂園の池の生きもの、森の生きもの観察(冬)」, 講師, 加東市立東条西小学校3年生, 加東市(18名).
2017.1 「第22回自由研究のつどい」, 講評, 伊丹市立小学校4~6年生, 伊丹市(伊丹市立総合教育センター)(7名).
2016.2 「植物の冬芽の観察(冬の植物観察)」, 講師, 小野市立小野東小学校3年生1・2組, 小野市(63名).
2016.2 「植物の冬芽の観察(冬の植物観察)」, 講師, 小野市立小野東小学校3年生3・4組, 小野市(57名).

■研修生等の受入

博物館実習

- 2016.7.31-8.11 京都女子大学人間科学部4年生1名.
2016.7.31-8.11 琉球大学理学部4年生1名.

■展示・イベント

- 2016.4-2017.3 展示「深田公園植物情報」(責任者).
2016.5-2017.3 ひとはくKidsサンデー(全9回)(責任者).

2. シンクタンク事業

■行政等支援

相談・指導助言

電話・FAX・メール等の相談30件.

鈴木 武 SUZUKI, Takeshi

自然・環境再生研究部

コミュニケーション・デザイン研究グループ研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 助教.

昭和37年千葉県生. 東京大学大学院理学研究科博士課程単位修得退学. 理学博士. 日本植物学会, 日本植物分類学会, 日本土壌動物学会等所属.

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 市民参加による生物分布調査の方法と効果の研究
2. 絶滅危惧植物の遺伝子多様性の保全の研究

■論文・著書

鈴木武・高田良二(2017) 国内外来種コハクオナジマイマイの鳥取県での初記録. 山陰自然史研究 14: 36-38.

◎鈴木武・樋口清一・小林禎樹(2017) 篠山市における絶滅危惧種ヒメムカゴシダ群落のシカ除けネットの設置. 兵庫生物 13(2):

◎鈴木武・宮井卓人・高田良二(2017) コウロマイマイの殻の色帯の地理的変異. 兵庫生物 13(2):

◎北村太一・岩井いづみ・鈴木武(2017) 姫路市内で初発見の昆虫オオシラホシハゴロモ. 兵庫生物 13(2):

■研究発表

◎鈴木武 (2016). 身近な生き物から地域の特徴を知る～市民参加型調査の手法と成果. 兵庫自治学会研究発表大会, 兵庫県立大学神戸商科キャンパス.

石井省伍・鈴木武・綿野泰行 (2017) 日本における雑種性タンポポの戻し交雑に関する遺伝的検証. 日本植物分類学会第16回大会, 京都大学, 京都市.

中村剛士・地職恵・鈴木武・坪田博美・森田竜義・西野貴子 (2017) 中国地方東部における黄花型、白花型倍数体タンポポの実態～ヤマザトタンポポとキビシロタンポポは花色で見分けられるか～. 第16回大会, 京都大学, 京都市.

■学会役員など

兵庫県生物学会, 事務局.

兵庫植物誌研究会, 理事,

2. 資料収集・整理

■資料収集

2015.4-2016.3 兵庫県内のシダ植物の収集. 豊岡市市, 丹波市など.

2016.4-2017.3 兵庫県内外のタンポポ類の収集. 京都府, 朝来市など.

■整理同定担当資料

シダ植物.

<事業推進>

■生涯学習事業

館主催セミナー

◎鈴木武, 2016.5, オープンセミナー「カタツムリをさわってみよう」, 博物館 (60名)

◎鈴木武, 2016.6, 一般セミナー「三熊山のシダを見る」, 洲本市三熊山. (20名)

◎鈴木武, 2016.5, 特注セミナー「デンデンムシとダンゴムシ」 兵庫県私立小学校連合会社会部会 (14名)

◎鈴木武, 2016.6, 特注セミナー「カタツムリとダンゴムシ」 亀岡市地球環境子ども村 (38名)

◎鈴木武, 2016.7, オープンセミナー「カタツムリをさわってみよう」, 博物館 (70名)

◎鈴木武, 2016.7, 一般セミナー「ダンゴムシを育ててみよう」, 博物館 (14名)

◎鈴木武, 2016.7, オープンセミナー「カタツムリをさわってみよう」, 博物館 (70名)

◎鈴木武, 2016.8, 教職員・指導者セミナー「カタツムリとダンゴムシ」 博物館 (31名)

◎鈴木武, 2016.9, ひとく探検隊「ダンゴムシの観察」 博物館 (21名)

◎鈴木武, 2016.10, 一般セミナー「宝塚市西谷のシダを見る」 宝塚市西谷の森公園 (14名)

◎鈴木武, 2016.11, 一般セミナー「加西市畑町のシダを見る」 奥加西市畑町 (20名)

◎鈴木武, 2016.11, オープンセミナー「ダンゴムシをさわってみよう」, 博物館 (70名)

◎鈴木武, 2017.3, オープンセミナー「ダンゴムシをさわってみよう」, 博物館 (70名)

館外講演

鈴木武, 2016.4, 「亀岡のタンポポ観察」 亀岡市地球環境子ども村, 亀岡市地球環境子ども村 (22名)

鈴木武, 2016.4, 「綾部市のタンポポ観察会」 綾部市立天文科学館パオ, 綾部市立天文科学館パオ (35名)

鈴木武, 2016.4, 「人と自然の博物館について」 芦屋市民センター, 芦屋川カレッジ大学院 (110名)

鈴木武, 2016.6, 「宝塚のシダ植物」 宝塚フレミラ, 宝塚フレミラ (33名)

鈴木武, 2016.6, 「山本駅～最明寺滝のシダ類観察」 宝塚市最明寺滝周辺, 宝塚フレミラ (34名)

鈴木武, 2016.6, 「神戸にちなむ生き物/六甲山のシダ植物」 六甲山自然保護センター, 六甲山自然案内人の会 (35名)

鈴木武, 2016.7, 「箕面のシダ植物観察」 箕面市箕面滝周辺, シニア自然大学 (29名)

鈴木武・恩地実, 「2016, 六甲山の生き物」 神戸市立森林植物園, 神戸市立森林植物園 (16名)

鈴木武, 2016.8, 「ダンゴムシの迷路実験」 神出少

年自然の家, 神戸市立小学校理科部会(18名)
鈴木武, 2016. 9, 「市島町のシダ植物観察」 丹波市市島町内, 青垣いきものふれあいの郷(12名)
鈴木武, 2017. 1, 「タンポポ調査・西日本～みんなで調べてわかったこと～」平成 28 年度自然史学会連合講演会, 群馬県立自然史博物館(60名)
鈴木武, 2017. 2, 「赤穂・上郡の貴重な生き物～千種川流域の生物多様性保全のために」産業廃棄物最終処分場建設反対赤穂市民の会, 赤穂市有年公民館(120名)
鈴木武, 2017. 2, 「丹波の植物 最近の話題～シダとタンポポ～」, 「源流の里」環境保全の集い 2017, 丹波市立柏原住民センター(40名)
鈴木武, 2017. 2, 「タンポポいろいろ タンポポ調査から見えてきたこと」, ひょうご森の倶楽部フォレスト, (ひょうご森の倶楽部事務局(20名)
鈴木武, 2017. 3, 「タンポポ観察会」伊丹市昆虫館, 伊丹市昆虫館(8名)

兵庫県立大学・大学院教育

人と自然の共生 (分担)

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2016.6 小さい学校キャラバン, 丹波市立船城小学校, 副担当.
2016.7 小さい学校キャラバン, たつの市立揖保川中学校, 副担当.
2016.8 「吹田市立博物館企画展示」, 吹田市立博物館, 大阪府吹田市. 主担当
2016.8 「さんふらわくルージング」, フェリーさんふらわ, 神戸市東灘区. 主担当
2016.9. 小さい学校キャラバン, 淡路市立釜口小学校. 主担当
2017.1. サイエンスフェア, 兵庫県立大ポーアイキャンパスなど. 主担当

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

希少山野草研究会, 主担当 (指導)
川東丈純, 担当 (指導・協働)

■学校教育支援

トライやるウィーク

神戸市立有馬中学校 3 名

学校団体対応

2016.4, 「タンポポとカタツムリ」, 県立宝塚北高等学校 1 年.
2016.5, 「ダンゴムシ・生き物のお話」, 神戸市立春日台小学校 2 年.
2016.6, 「収蔵庫見学」大阪府立大農学部.
2016.7, 「兵庫のカタツムリ」鳥羽児童クラブ
2016.10, 「カタツムリとダンゴムシ」大阪桐蔭中学校・高等学校生物部.
2016.10, 「博物館について」岡山理科大学.
2016.10, 「植物と昆虫」芦屋市立宮川小学校 3 年生.
2016.11, 「博物館について」甲南大学博物館実習

2016.12, 「カタツムリとダンゴムシ」県立加古川東高等学校 1 年

2016.12, 「博物館について」大阪青山大学博物館.

2016.12, 「博物館について」愛知教育大学.

講師派遣

鈴木武, 2016. 4, 「神戸を特徴づける生き物」神戸市立六甲アイランド高等学校 2 年(62名)
鈴木武, 2016. 5, 「六甲山の生物文化史」県立神戸高等学校 1 年(30名)
鈴木武, 2016. 6, 「研究について」滝川二中学校 3 年(108名)
鈴木武, 2016. 7, 「ダンゴムシについて」滝川二中学校 2 年(54名)
鈴木武, 2016. 7, 「ダンゴムシについて」滝川二中学校 2 年(54名)
鈴木武, 2016. 11, 「タンポポの話」西宮市立苦楽園中学校 1 年(172名)
鈴木武, 2016. 11, 「ダンゴムシの話」西宮市立苦楽園中学校(214名)
鈴木武, 2016. 12, 「神戸を特徴づける生き物」神戸市立六甲アイランド高等学校 1 年(52名)

■研修生等の受入

博物館実習

2名 (龍谷大、甲南大)

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 5 回, 50 名.

■行政等支援

委員会等 (計 5 件)

2011.7- 神戸市立六甲アイランド高等学校 スーパーサイエンススクール検討委員会、委員.
2011.10- 神戸市生き物調査検討委員会、委員.
2012.4- ささやまの森公園運営協議会、委員.
2015.8. スーパーサイエンスハイスクール全国生徒発表会、審査員.
2016.1- マルバテイショウソウ野生復帰実施計画検討会、委員

相談・指導助言

来訪者 10 件, 20 名. 電話・FAX 相談 30 件, メール相談 10 件.

八木 剛 YAGI, Tsuyoshi

自然・環境再生研究部

コミュニケーション・デザイン研究グループ

主任研究員

昭和 43 年大阪府生. 神戸大学大学院農学研究科修士課程修了. 日本昆虫学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 事業推進部門

生涯学習推進室・副室長

2. プロジェクト

キッピー山プロジェクト (三田市有馬富士自然学習センタープログラム運営事業), 代表者

ゆめはくプロジェクト, 分担者

キッズひとはく推進プロジェクト, 分担者

ミュージアムキッズプロジェクト, 代表者

NPO 法人こどもとむしの会との連携 (佐用町昆虫館), 代表者

棚倉町里山プロジェクト. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 博物館における学びのデザインに関する研究

2. 昆虫の分布に関する研究

■その他著作

八木 剛 (2016) 虫好きの中学生が学び合い育ち合う場, そこから広がる活躍の場. 別冊 昆虫と自然 55-59.

■ブログへの情報提供

数件

■助成を受けた研究

被災した子ども達が大人になるまで一博物館こそができる長期継続型支援システムの構築 文部科学省科学研究費 基盤研究(C) 研究代表者 (110 万円/380 万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2016.4- 10, 各種昆虫類. 神戸市, 香美町, 福島県棚倉町.

■整理同定担当資料

昆虫 (双翅目, 蛾類, トンボ類, 直翅類).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎八木 剛, 2016.4-2017.3. 一般セミナー「ユース昆虫研究室」. 再度公園・ハチ北高原・博物館. (全 12 回, 150 名)

ひとはく連携活動グループ run♪ run♪ plaza, 2015.7-8.

一般セミナー「ひとはく博士と行くハチ北高原昆

虫サマースクール」, 博物館, ハチ北高原. (27 名)

八木 剛, 2016.8. オープンセミナー「むしむしたいけん」, 博物館, (8 日間 1,679 名)

八木 剛・run♪ run♪ plaza, 2016.7. オープンセミナー「run♪run♪さんぽ アメンボ みっつけよ!」, 博物館・深田公園, (57 名)

八木 剛・run♪ run♪ plaza, 2016.9. オープンセミナー「run♪run♪さんぽ バッタみっつけよ!」, 博物館・深田公園, (60 名)

八木 剛, 2016.12. オープンセミナー「チビクワガタ みっつけよ!」, 博物館・深田公園, (52 名)

八木 剛・フロアスタッフ, 2017.1. オープンセミナー「ひとはく探検隊「冬のむしとりペナントレース」, 博物館・深田公園, (46 名)

館外講演

八木 剛, 2016.6. 「ホタルの夕べ」, 北摂里山子ども探検隊. 兵庫県阪神北県民局・北摂里山博物館運営協議会, 三田市有馬富士自然学習センター・有馬富士公園.

八木 剛, 2016.6. 「ヒメボタルを生かしたまちづくり」, 山陽小野田市観光協会, 竜王山オートキャンプ場.

八木 剛, 2016.6. 「目からウロコのホタルの話〜ホタルの常識・非常識〜」, 棚倉町立図書館, 棚倉町.

八木 剛, 2016.9, 「秋の鳴く虫」, フレミラ宝塚.

八木 剛, 2016.9, 「ミヤマアカネリサーチ」, フレミラ宝塚, 逆瀬川.

八木 剛, 2016.10. 「ホタルとなかよくなるために」, 第 14 回おかやまホタルフォーラム, (公財) おかやま環境ネットワーク, 岡山県美咲町.

八木 剛, 2016.11, 「ヒメボタル幼虫の観察調査」, 伊丹市, 伊丹生きものマイスター講座, 猪名川河川敷.

八木 剛, 2016.11, 「伊丹のホタル」, 伊丹市, 伊丹生きものマイスター講座, 下河原自治会館・猪名川河川敷.

八木 剛, 2016.12, 「つながるミュージアム」, 文化庁ミュージアムマネジメント研修, 東京国立博物館附属黒田記念館.

八木 剛, 2016.2. 「学芸員がすべてをクリエイトする」, 魚津市 3 館学芸員勉強会, 魚津市役所 (20 名)

八木 剛, 2016.3. 「ヒメボタルの特徴と保全」, 第 13 回おかやまホタルフォーラム, (公財) おかやま環境ネットワーク, 岡山市.

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2016.5, 展示 オープン記念イベント, 国営明石海峡公園 (藍那地区), 主担当.

2016.6, ミュージアムキッズ! 全国フェア, 仙台卸商センターサンフェスタ, 主担当.

2016.7, あさご夏の昆虫展:出張むしむしたいけん,

- あさご芸術の森美術館, 主担当.
- 2016.7, 小さな学校キャラバン, たつの市立揖保川中学校, 主担当.
- 2016.7, 夏休み特別企画 昆虫標本展, 瑞宝園, 主担当.
- 2016.7, Kids キャラバン, すくすくキッズ保育園, 主担当.
- 2016.7, あさご夏の昆虫展:出張むしむしたいけん, あさご芸術の森美術館, 主担当.
- 2016.8, Kids キャラバン, 日光認定こども園, 主担当.
- 2016.9, Kids キャラバン, 篠山市立たき幼稚園, 分担者.
- 2016.9, ひよこミュージアム, ルネサンス棚倉, 主担当.
- 2016.9, 小さな学校キャラバン, 神河町立越知谷小学校, 分担者.
- 2016.10, 小さな学校キャラバン, 猪名川町立大島小学校, 分担者.
- 2016.10, Kids キャラバン, すぐり保育園, 主担当.
- 2016.10, ミュージアムキッズ! フェア in みなみそうま, 南相馬市博物館, 主担当.
- 2016.10, Kids キャラバン, 日ノ本幼稚園, 分担者.
- 2016.10, 学校キャラバン, 大阪市立榎本小学校, 主担当.
- 2016.11, ミュージアムキッズ Pj, サンリアショッピングセンター, 分担者.
- 2016.11, 小さな学校キャラバン, 神戸市立箕谷小学校, 分担者.
- 2016.12, Kids キャラバン, 相生市立中央幼稚園, 主担当.
- 2017.1, Kids キャラバン, 三木市立志染保育所, 主担当.
- 2017.2, Kids キャラバン, 湊川短期大学附属神陵台幼稚園, 主担当.
- 共催・協力・後援事業
- 2016.4, 六甲山系のチョウの変遷 50年 ~平尾榮治コレクションを中心に~, 兵庫県神戸県民センター, 神戸市. 共催/主担当.
- 2016.4, 小学4年生による「ステンドグラス風」授業作品 -私はちょう-, 小林聖心女子学院小学校, 博物館. 共催/主担当.
- 2016.5, 企画展「山陰海岸の植物」あさご夏の昆虫展 むしむし大集合!, あさご芸術の森美術館, 朝来. 共催/主担当.
- 2016.5, いながわ ひめぼたる ういーく 2015, 猪名川流域ひめぼたるネットワーク, 伊丹市. 共催/主担当.
- 2016.5, 「場のヒントのマチマナビ vol.6」~ひとく昆虫博士と行く! 大しんかいち昆虫捜査網, 神戸アートビレッジセンター・湊川公園, 神戸市. 共催/主担当.
- 2016.7, 「しんかいち セミナリエ」, 神戸アートビレッジセンター・湊川公園, 神戸市. 共催/主担当.
- 2016.9, 昆虫クエスト大作戦 2016, 花と緑の博覧会協会, 大阪. 共催/主担当.
- 2016.10, 300人の昆虫大捜査線 in はりちゅう(播磨中央公園), 播磨中央公園, 加東市. 共催/主担当.
- 2017.2, 研究交流会 in SENDAI 2017, 地域で育つ子どもたちのために、ミュージアムがなすべきこと, こどもひかりプロジェクト, 仙台国際センター, 仙台市. 共催/主担当.
- 担い手成長支援事業
- 連携活動グループ・地域研究員
- NPO 法人人と自然の会 (アドバイザー: 主)
- run♪run♪ plaza (アドバイザー: 主)
- テネラル (アドバイザー: 主)
- あかねちゃんクラブ (ミヤマアカネ生態研究会) (アドバイザー: 主)
- 鳴く虫研究会きんひばり (アドバイザー: 副)
- 猪名川流域ひめぼたるネットワーク (アドバイザー: 主)
- さんぼクラブ (アドバイザー: 主)
- 地域研究員: 吉田浩史 (アドバイザー: 主)
- 佐用町昆虫館 (連携施設) (主担当)
- 成果発表
- 2016.2 第11回共生のひろば, 「こども植物画教室のとりくみ」, 岸本美季・中嶋恵子・中瀬美絵 (レモンリーフ). 指導助言
- 学校教育支援
- トライやるウィーク
- 2016.6, 三田市立上野台中学校1名, 三田市立狭間中学校1名
- 学校団体対応
- 2016.5. 「みやまあかねのおはなし」, 博物館, 宝塚市立西山小学校 (4年生 114名)
- 2016.5. 「昆虫に関する話」, 博物館, 神戸市立星和台中学校校 (1年生 102名)
- 2016.6. 「虫とりペナントレース」, 博物館 (深田公園), 三田市立狭間小学校 (3年生 43名)
- 2016.6. 「虫とりペナントレース」, 博物館 (深田公園), 明石市立朝霧小学校 (3年生 127名)
- 2016.9. 「虫とりペナントレース」, 博物館 (深田公園), 芦屋市立岩園小学校 (3年生 139名)
- 2016.9. 「虫とりペナントレース」, 博物館 (深田公園), 稲美町立天満小学校 (3年生 120名)
- 2016.9. 「虫とりペナントレース」, 博物館 (深田公園), 高砂市立荒井小学校 (3年生 136名)
- 2016.10. 「虫とりペナントレース」, 博物館 (深田公園), 稲美町立天満東小学校 (3年生 63名)
- 2016.10. 「トンボとりペナントレース」, 博物館 (深田公園), 西宮市立段上西小学校 (3年生 127名)
- 2016.10. 「虫とりペナントレース」, 博物館 (深田公園), 猪名川町立楊津小校 (15名)
- 2016.10. 「昆虫について」, 博物館, 神戸市立有野小学校 (3年生 123名)

■研修生等の受入

博物館実習

2016.8 岡山大学1名、岡山理科大学1名、南九州大学1名

2016.9 愛媛大学1名

■展示

2016.7-8. 再度公園の昆虫展、神戸市立森林植物園森林展示館、責任者

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内 数回

■行政等支援

委員会等（計5件）

2015.4-、加古川市環境審議会、委員、加古川市.

2015.4- 希少野生動植物種保存推進員、環境省自然環境局.

2015.4- 生物多様性アドバイザー、兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課.

2015.2-、生物多様性神戸プラン2020 推進委員会、委員、神戸市.

2016- 但馬牛博物館のあり方検討会座長、兵庫県畜産課.

相談・指導助言

2016.4- チョウ類の保全について、西日本高速道路株式会社.

2016.4- 猪名川上流広域ゴミ処理施設組合.

2016.11- ヒメボタルの保全について、豊中市公園みどり課.

2016.12- ヒメボタルの保全について、兵庫県宝塚土木事務所.

2017.2. 博物館ボランティアについて、兵庫県立考古博物館.

2017.3 淡路島公園の昆虫について、兵庫県公園緑地課.

視察対応

九州国立博物館ほか